一　朝鮮ニ於ケル相續ニ關スル慣習ハ全道同一ナルヤ地方ニ依リ慣習ヲ異ニスルヤ

二　朝鮮ニ於テ長男ハ絶對ニ他人ノ養子トナルコトヲ得サルヤ

三　兄弟三人アリ次兄カ嗣子ナキ場合ニ末弟ノ長子ヲ養子トナスコトヲ得ルヤ

四　朝鮮ニ於テ慣習ニ反スル養子緣組ハ絶對ニ無效ナルヤ

○回　答

一　朝鮮ニ於ケル相續ニ關スル慣習ハ各地同一ナルモ唯他ノ地方ニ於テハ亡戶主ニ遺腹ノ胎兒アルトキハ其ノ出生ニ至ルマテ養子ヲ爲ササルニ拘ラス咸鏡南北、平安南北及江原道等ノ一部ノ地方ニ於テハ胎兒アルトキト雖モ養子ヲ爲シ男子出生セハ罷養スル慣習アリ

二　朝鮮ニ於テハ長男ハ他家ノ養子ト爲スコトヲ得サルヲ本則トスルモ支家ノ子ヲ宗家ノ養子ト爲ス場合ニハ必ス長男タルコトヲ要シ又弟ノ子ヲ兄ノ養子ト爲ス場合ニハ長男ト雖モ妨ケナキ慣習ナリ

三　末弟ノ長男ヲ次兄ノ養子ト爲スコトハ慣習ノ認ムル所ナリ

【一二三】相續權竝戶主權喪失等ニ關スル件

（大正三年六月十八日平壤覆審法院民事部裁判長照會）
（同　年同月三十日參第五〇號政務總監回答）

○要　旨

一　祭祀相續人出家シテ僧侶トナリタルトキハ其ノ資格ヲ喪失ス

二　戶主出家シテ僧侶トナリタルトキハ其ノ地位ヲ喪失ス

三　戶主出家シテ僧侶トナリ其ノ家ニ祭祀相續人ナキトキハ其ノ母出家戶主ノ先代ノタメニ養子ヲ爲シ之ヲシテ祭祀及戶主ノ地位ヲ承繼セシム

○照　會

一　家督相續人カ家ヲ出テテ僧侶トナリタルトキハ相續權ヲ喪失スルヤ

二　既ニ相續ヲ爲シ戶主ト爲リタル後其家ヲ出テテ僧侶ト爲リタルトキハ戶主權ヲ喪失スルヤ

三　前項ノ場合ニ於テ戶主權ヲ喪失スルモノトシ其家ニ相續人ナキトキ母が他人ヲ養子ニ定メ相續ヲ爲サシムル事ヲ得ルヤ

○回　答

一　祭祀相續人（朝鮮人ノ相續慣習ニハ家督相續ト名クヘキモノナク隨テ家督相續人ト稱スヘキモノアルコトナシ而シテ民法ノ家督相續人ニ略ホ相當スルモノハ其家ニ於ケル祖先ノ祭祀者タル地位ヲ承繼スルト同時ニ戶主ノ地位ヲ承繼スヘキ祭祀

相續人ナルヲ以テ照會ニ家督相續人トアルハ祭祀相續人ト看做シ回答ス）カ其家ヲ出テテ僧侶トナリタルトキハ祭祀相續人タル資格ヲ失フ

二　戸主カ其家ヲ出テテ僧侶トナリタルトキハ戸主ノ地位ヲ失ヒ隨テ戸主ノ有スル權利ヲ失フ

三　戸主カ出家シテ僧侶トナリ戸主ノ地位ヲ失ヒタル場合ニ於テ其家ニ祭祀相續人ナキトキ出家シタル戸主ノ母アルトキハ其ノ母ニ於テ出家シタル戸主ノ先代ノタメニ其ノ子ノ列ニ當ル者ヲ養子トナシ祭祀相續ヲ爲サシムルコトヲ得ヘク而シテ其ノ養子ハ當然戸主ノ地位ヲ承繼スルモノトス

【一二四】賜牌地ニ關スル件

（大正三年七月二日京城覆審法院民事部裁判長照會）
（同　年同月二十三日參第五二號政務總監回答）

○要　旨

一　舊韓國時代ニ於テ一定ノ區域ヲ定メテ土地ヲ賜牌シタル場合ニ其ノ區域内ニ在ル民有地ハ賜牌ヲ受ケタル者ノ所有ニ移ラズ

○照　會

一　舊韓國時代ニ於テ一定ノ區域ノ地所ヲ私人ニ賜牌スルトキハ其區域内ニ在ル私有地モ亦當然賜牌ヲ受ケタル者ノ所有ニ歸セシモノナリヤ若シ所有ニ歸スルモノトセハ從來其ノ内ニ存シタル前所有者所管ノ墳墓ハ如何ナル影響ヲ蒙ルヤ

○回　答

一　舊韓國ノ時代ニ於テ區域ヲ定メテ土地ヲ賜牌シタル場合ニ於テ其區域内ニ民有地ヲ包含セサルトキハ全部賜牌ヲ受ケタル者ノ所有ニ歸セシモ若シ民有地アルトキハ其部分ハ賜牌ヲ受ケタル者ノ所有ニ移ラス隨テ其區域内ニ他人所有ノ墓地アルトキモ亦其所有權ニ移動ヲ生セサリシモノトス

【一二五】次養子ノ相續資格ニ關スル件

（大正三年七月七日高等法院長照會）
（同　年八月十一日參第五三號政務總監回答）

○要　旨

一　次養子ハ養家ノ祭祀擧行者タルニ止マリ祭祀ヲ承繼セズト雖遺産ハ次養子ニ男子出生スルマデ一時之ヲ承繼ス被相續人ハ養親ナリトス

二　次養子ニ男子出生セバ其ノ男子ハ當然ニ養家ノ祭祀者トナリ次養子ガ一時

承繼シタル遺産ハ當然ニ其ノ子ニ歸ス

○照　會

一　次養子ハ其養家ノ家督相續ヲ爲スモノナルヤ若シ家督相續ヲナスモノナリトセハ其被相續人ハ何人ナルヤ

二　次養子ニ男子出生スルトキハ出生ト同時ニ其男子家督相續ヲ爲シ次養子ハ當然其家督相續權ヲ喪失スルヤ

○回　答

一　次養子ハ養家ノ祭祀者タル地位ヲ承繼セス單ニ其ノ攝行者タル地位ニ立ツノミ故ニ祭祀ニ付テハ次養子トノ間ニ相續行ハレス然レトモ養親ノ遺産ニ付テハ次養子ニ男子出生スルマテ一時之ヲ承繼スルヲ以テ此ノ點ニ付テハ相續行ハレ被相續人ハ卽チ養親ナリトス

二　次養子ニ男子出生セハ之ト同時ニ其ノ男子ハ養家ノ祭祀者トナリ次養子ハ養家ニ於ケル祭祀攝行者タル地位ヲ去リ又次養子カ一時承繼シタル養親ノ遺産ハ當然其子ニ歸スルモノトス

【一二六】寺院房主ニ關スル件

（大正三年二月十二日高等法院長照會同年七月十一日參第五四號政務總監回答）

○要　旨

一　寺院ニ於ケル房主トハ山內末寺ノ主僧ヲ云フ平安南北道及黃海道ニ於テハ小寺ノ住持ヲモ房主ト稱ス

二　寺刹令施行前ニ於テ房主一人在住スル寺ノ田土ヲ處分スルニハ本寺ノ承認ヲ經ルコトヲ要シタリ

○照　會

一　寺院ニ於ケル房主トハ尼ノ專稱ナルヤ

二　寺刹令發布以前房主一人ノミ在住スル場合ニ於テ其ノ寺院ノ支出スヘキ必要ノ費途ヲ生シタルトキハ之ニ充ツル爲房主ハ單獨ニテ該寺院ニ屬スル田土ヲ賣却シ得ルヤ

○回　答

一　寺院ニ於ケル房主トハ尼ノ專稱ニ非スシテ一般ニハ山內末寺ノ主僧ヲ房主ト稱スルモ平安南北道及黃海道地方ニテハ小寺ノ住持ヲモ房主ト稱ス

二　寺刹令施行前ニ於テ房主一人ノミ在住スル場合ニ該寺ニ屬スル田土ヲ處分スルノ必要アルトキハ本寺ノ承認ヲ經ルコトヲ要シタル慣習ナリ

【一二七】特種小作ニ關スル件

（大正三年七月八日平壤地方法院新義州支廳裁判長照會同年八月十三日參第五五號政務總監回答）

○要　旨

一　平安北道中鴨綠江沿岸其ノ他ノ地方ニ地主ト契約シ土地ヲ開墾シタル者ガ永久ノ小作權ヲ取得スル慣例アルモ之ヲ畓主權トハ稱セズ又果實十分ノ九ヲ取得スル慣例ナシ

二　前項ノ小作權ハ地主ニ於テ之ヲ買收スルニ非ザレバ永久ニ存續ス

三　右ノ小作權ハ慣習上一種ノ物權ナリ

四　右ノ小作慣例ハ私有地ニ限リ存ス

○照　會

一　平安北道地方ニハ古來他人ノ所有ニ係ル土地ヲ開墾シタルモノハ其土地ニ對シ畓主權トシテ權利ヲ取得シ其土地ヨリ收取スル果實ニ付テハ十分ノ九ヲ取得スル慣習アルヤ

二　右畓主權ナルモノハ地主ニ於テ畓主權ヲ買收シ又ハ畓主ニ於テ地主ノ所有權ヲ買收シ地主權ト畓主權トカ混セラルルニアラサレハ永久ニ存續シ得ルモノナルヤ

三　右畓主權ト云フ借地權ハ朝鮮ノ慣習ニ依ル一種ノ物權ニシテ何人ニモ對抗シ得ラルルモノナリヤ

四　畓主權ハ土地所有者ナルト將又國有地ノ利用權者ナルトニ依リ何等ノ區別ナキヤ

○回　答

一　平安北道中鴨綠江沿岸其ノ他一部ノ地方ニハ地主ト契約ノ上他人ノ土地ヲ開墾シタル者カ永久ノ小作權ヲ有スル慣例アルモ其小作人ノ權利ヲ畓主權トハ稱セス且小作人カ其土地ヨリ收取スル果實ノ十分ノ九ヲ取得スル慣例ナシ右ノ外平安北道ニ於テ問ノ如キ借地慣例アルコトヲ聞カス

二　前項ノ小作權ハ地主ニ於テ之ヲ買取ルニ非サレハ永久ニ存續スヘキモノトス

三　此小作權ハ慣習上一種ノ物權タル性質ヲ有シ小作人ハ之ヲ以テ何人ニモ對抗スルコトヲ得

四　此ノ種ノ小作慣例ハ私有地ニ限リ國有地利用ノ場合ニハ存セス

【一二八】次養子復籍ノ場合ニ於ケル身分回復ニ關スル件

（大正三年七月二十九日京城地方法院長照會）
（同年八月二十二日參第六〇號政務總監回答）

○要　旨

一　次養子ノ生家戸主死亡シ養子ヲ爲シタルトキハ次養子生家ニ復歸スルモ戸主タル養子ノ地位ニ變更ヲ來スコトナシ

二　前項ノ養子ハ一般罷養ノ原因アル場合ニ限リ門中協議ノ上罷養スルコトヲ得

三　右養子ノ戸主タル地位ガ判決等ニ依リ定マリタル後ト雖之ヲ罷養スルニ妨ゲナシ

○照　會

一　甲男次養子トシテ他家ニ入リタル後生家ノ戸主死亡シタル爲甲男ハ乙男ヲ收容シテ生家ヲ嗣カシメタリ其ノ後十數年ヲ經テ甲男生家ニ復歸シタル場合ニ於テ已ニ戸主ト爲リタル乙男ノ地位ニ變更ヲ來スヤ否ヤ

二　前項已ニ戸主ト爲リタル乙男ヲ甲男若クハ其ノ他ノ親族ニ於テ罷養スルコトヲ得ルヤ若シ罷養シ得ルモノトスレハ其手續如何

三　右乙男ノ戸主タル地位ハ判決等ニ因リテ定マリタル後ニ於テモ尙前項罷養手續ヲ有效ニ遂行シ得ルヤ否ヤ

○回　答

一　甲男次養子トシテ他家ニ入リタル後生家ノ戸主死亡シタルタメ乙男ヲ亡戸主ノ養子ト爲シ生家ヲ繼カシメタル場合ニ於テハ假令其後生家ニ復歸スルモ已ニ戸主トナリタル乙男ノ地位ニ變更ヲ來スコトナシ

二　前項已ニ戸主トナリタル乙男ハ家產ヲ蕩盡スル虞アルトキ、不孝ナルトキ、重罪ヲ犯シタルトキ、惡疾又ハ癲狂ニテ繼後ニ適セサル等一般罷養ノ原因アル場合ニ限リ

門中協議ノ上之ヲ罷養ヲ爲スコトヲ得ルモ甲男單獨ニテ之カ罷養ヲ爲スコトヲ得ス

罷養ニ付テハ特別ノ手續ナシ

三　乙男ノ戸主タル地位カ判決等ニ依リ定マリタル後ト雖モ之ヲ罷養スルニ妨ナシ

【一二九】於音ニ關スル件（大正三年八月十二日高等法院長照會同年八月二十六日參第六一號政務總監回答）

○要　旨

一　舊韓國手形條例ニ依ツテ於音ノ發行與授ヲ禁ジタル後モ慣習上尙ホ有效ニ之ヲ發行スルヲ得タリ

○照　會

一　舊韓國手形條例第三十五條ニ於テ於音ノ發行與授ヲ爲スコトヲ得サル旨規定セルモ實際ニ於テ同條例施行後有效ニ於音ノ發行與授ヲ爲シタル慣習アリヤ

○回　答

一　舊韓國手形條例ニハ於音ノ發行與授ヲ爲スコトヲ得サル旨規定セシモ實際ニ於

テハ同條例施行後ト雖モ慣習上有效ニ於音ノ發行流通ヲ爲スコトヲ得タリ

【一三〇】洑水使用料ニ關スル件（大正三年九月一日平壤地方法院民事部裁判長照會同年九月十一日參第六八號政務總監回答）

○要　旨

一　**洑水ノ使用料ハ慣習上一定セルモノナシ**

○照　會

一　洑水ノ使用ニ關シ作畓シタル第一ケ年ニ於テハ灌漑主ヨリ地主ニ對シ洑水使用料ハ收穫物全部ノ四分ノ一、第四ケ年ニ於テハ五分ノ一、第八ケ年ニ於テハ六分ノ一トシテ此ノ例ニ依リ漸次遞減シテ十分ノ一迄爲ス慣習及灌漑料ニ關スル一般ノ慣習

○回　答

一　洑水ノ使用料ハ洑主ト灌漑蒙利者トノ特約ニ依リテ定マルモノニシテ慣習上一定セル所ナシ

【一三一】特別代理人ニ關スル件（大正三年九月八日高等法院長照會同年九月十八日參第七一號政務總監回答）

○要　旨

一　**朝鮮ニ於テハ親權者ト親權ニ服スル者トノ間ニ利益相反スル行爲ニ付特別代理人ヲ選任スル慣習ナシ**

○照　會

一　朝鮮ニ於テ親權者ト親權ニ服スル者トノ間ニ利益相反スル行爲アルトキハ其ノ親權ニ服スル者ノ爲メニ特別代理人ヲ選任シタル慣習アリヤ又其ノ特別代理人ハ訴訟行爲ヲモ併セテ行ヒタル慣習アリヤ

○回　答

一　朝鮮ニ於テハ問合ノ如キ慣習ナシ

【一三二】妾ノ養子ニ關スル件（大正三年十月八日平壤覆審法院民事部裁判長照會同年十月十四日參第七六號政務總監回答）

○要　旨

一　**女ハ同姓ト異姓トヲ問ハズ養子ヲ爲スコトヲ得ズ**

○照　會

一　夫妾ノ間ニ男子出生シ後夫妾關係ヲ絶チ妾ハ一家ヲ創立シ子モ又其父ノ相續ヲナシテ戸主トナリタリ斯ル場合ニ妾カ更ニ他姓ノ男子ヲ養子トナスヲ得サルヤ

○回　答

一　朝鮮ノ慣習ニ於テハ養子ヲ爲スコトヲ得ル者ハ男ニ限リ女ハ養子ヲ爲スコトヲ得ス故ニ妾ハ同姓ト他姓トヲ問ハス養子ヲ爲スコトヲ得ス

【一三三】收養子ニ關スル件

（大正三年十月二十九日京城地方法院長照會同年十一月十日參第八一號政務總監回答）

○要　旨

一　收養子ハ祭祀及財産ヲ相續スル資格ナシ然レドモ收養父死亡シ他ニ遺産ヲ承繼スベキ者ナキトキハ自然收養子ノ有ニ歸スルヲ例トス

○照　會

一　收養子ハ絕對ニ相續權ヲ有セサル者ナルヤ

二　直系ノ卑屬親タル子女ナク又同本同姓ニシテ養子トヲ以テ他家ノ子乙男ヲ收養子トシテ入籍セシメタル後死亡セリ此ノ場合ニ於テ右收養子タル乙男ハ亡養親甲男ノ財産相續ヲ爲シ得ル慣習アリヤ否ヤ（但右甲男ニハ數十年前他家ニ改嫁シタル實母ノ外近親ナシ）

三　前項收養子ニ財産相續權ナキモノトスレハ甲男ノ遺産ハ何人ニ歸屬スヘキヤ

○回　答

一　收養子ハ祭祀相續及財産相續ノ資格ヲ有セス故ニ收養父死亡シ子女ナク且養子ト爲スヘキ適格者ナキ場合ニ於テモ收養子ハ其遺産ヲ相續スルコトヲ得ス而シテ繼後ノ目的ヲ以テ收養シタル者ト否トニ因リ異ナルコトナシ然レトモ收養父ノ近親（改嫁シタル實母ハ收養父ノ親族ニ非ス）ナク他ニ其ノ遺産ヲ承繼スヘキ者ナキトキハ自然收養子ノ有ニ歸スルヲ例トス

【一三四】江華屯ニ關スル件

（大正三年十月九日平壤覆審法院民事部裁判長照會同年十一月十日參第七八號政務總監回答）

○要　旨

一　江華屯トハ訓鍊都監稚餉廳ニ屬スル屯土ノ內、江華島ニ在ルモノヲ謂フ

私有地ハ稚餉廳ニ於テ收稅ス

公課缺逋ノ爲江華留守ノ沒入シタルモノヲモ江華屯ト稱セリ缺逋完納ニ依リ還付セラレタル後モ江華屯ノ名ヲ存スルコトアリ

○照　會

一　江華屯ト稱スル土地ハ國有私有何レナリヤ若シ二種ヲ包含スルモノトセハ其ノ區別

○回　答

一　從前江華屯ト稱セシハ訓練都監粮餉廳ニ屬スル屯土ノ中江華島ニ在ルモノヲ謂ヒ初メ同島所在ノ閑曠地又ハ籍沒田畓ヲ以テ之ニ充テシカ其ノ後又同島所在ノ私有地ヲモ之ニ編入シタリ然レトモ私有地ニ付テハ單ニ粮餉廳ヲシテ之カ收稅ヲ爲サシメタルニ過キス其ノ土地ハ依然個人ノ所有タリシモノトス

又二百餘年前江華府ニ納ムヘキ公課ノ一種タル白木ヲ缺逋シタル爲メ江華留守ニ於テ私有地ヲ沒入シ之ヲ江華屯ト稱セシコトアリ此等ノ土地ハ一旦國有トナリシモ其ノ缺逋ヲ完納シタル者ニ對シテハ之ヲ還付シタルヲ以テ現今尙江華屯ノ名ヲ稱スルモ既ニ個人ノ所有トナレルモノ勘カラス

【一三五】洑ノ所有ニ關スル件

（大正三年十月十二日京城覆審法院民事第一部裁判長照會同年十二月十日參第七九號政務總監回答）

○要　旨

一　築洑者ガ蒙利者ヨリ灌漑地ノ一部ヲ受ケタル場合ノ效力ニ付テハ慣習上定マレル所ナシト雖洑ハ蒙利者ノ共有トナルモノト解セラル

二　起墾地ガ國有ナルト築洑者ノ所有ナルトニ因リ異ルコトナシ

○照　會

一　築洑者カ築洑後一定ノ時期國有草生地ヲ起墾シ該洑ニ依リ灌漑ヲ爲シタル農民等ヨリ水稅ヲ徵收シ來リタルニ其後畓四分ノ一ノ分與（分畓）ヲ受ケタルトキハ（築洑當時ハ勿論分畓當時ニ於テモ洑其ノモノニ對スル權利ニ付當事者何等ノ特約ナキ場合）築洑者ノ洑ニ對スル權利ハ農民等ニ移轉シ農民等ノ所有トナルヤ若シクハ築洑者單獨ノ權利トシテ存續スルヤ若クハ兩者ノ共有トナルヤ卽農民カ如此場合ニ分畓スルハ單ニ水稅ヲ免ルル爲ナリヤ又ハ其以上ニ洑其モノニ對スル權利者トナル爲ナリヤ

二　若シ以上ノ場合ニ草生地カ築洑者ノ所有ナルトキハ慣習ヲ異ニスルヤ否ヤ

○回　答

一　築洑者カ蒙利者ヨリ既灌地ノ一部ヲ受ケタル場合ノ效力ニ付テハ慣習上定マレル所ナク概ネ契約ニ依ルモノナルモ問合ノ如キ場合ニ於テハ築洑者カ蒙利者ニ對シ單ニ水稅ヲ免除シタルモノト看做サス該洑カ其共有ニ歸スルモノト解スルヲ朝鮮人一般ノ觀念トス

二　蒙利地カ國有草生地ヲ起墾シタルモノナルト築洑者ノ所有地ヲ開墾シタルモノ

ナルトニ因リ異ル所ナシ

【一三六】江落地ノ所有権ニ關スル件

（大正三年九月二十九日平壤覆審法院民事部裁判長照會）
（同年十二月九日參第七四號政務總監回答）

○要旨

一　土地ガ江落シタルトキハ其ノ所有權ヲ失フ

二　前項ノ所有權ノ喪失ハ江落後引續キ納稅ヲ爲スト否トニ因リ異ルトコロナシ

三　江落地ニ再ビ泥生地ヲ生ジタルトキハ其ノ所有權ハ江落地ノ所有者ニ歸ス

○照會

一　朝鮮殊ニ平安北道ニ於テ私有地カ江落シ二十數年間ヲ經過シタル時ハ所有者ハ其所有權ヲ喪失スルモノナリヤ

二　前項ノ場合ニ於テ前所有者カ江落後引續キ納稅スルト否トニ依リ相違アリヤ

三　江落地カ再ヒ泥生シタル場合ニ於テ前所有者以外ノ者カ之ヲ耕作納稅シタルトキハ其者ニ於テ所有權ヲ取得スルヤ

○回答

一　朝鮮從前ノ慣習ニ於テハ土地カ江落スルトキハ其所有權ヲ失ヒタルモノトス

二　前項江落後引續キ納稅ヲ爲スト否トニ因リ異ナル所ナシ

三　江落地ニ再ヒ泥生地ヲ生シタルトキハ其所有權ハ江落地所有者ニ歸シ他人カ之ヲ耕作シ納稅スルモ其所有權ヲ獲得スルコトナシ

【一三七】幼者ノ代理人ニ關スル件

（大正三年十一月九日平壤地方法院照會）
（同年十二月九日參第八三號政務總監回答）

○要旨

一　幼者ノ妻父ガ家事ヲ管理セル場合ニ於テモ堂內親族ノ協議ニ依リタルニ非ザレバ之ヲ保護者ト看做サズ

○照會

一　十三歲ナルモノ（朝鮮人）妻ヲ娶リ其妻父ト同居シ居ル場合ニ其妻父事實上護後人トシテ家事ヲ管理シ他ニ近親ナキ時ハ（但シ父方ノ親族トシテ五寸及ヒ六寸親アリ）其妻父ハ護後人（後見人ト同一ノ意味ナリ）トシテ當然其婿ノ法律上代理人トナリ得ルヤ否ヤ

二　若然ラストセハ斯ノ如キ幼年者ニハ如何ナル者ヲ法律上ノ代理人ト認ムヘキヤ

卽チ親族會ニ於テ後見人ヲ選任スヘキモノナルヤ又親族會ヲ招集スル能ハサル時ハ事實上ノ後見人ヲ以テ法律上ノ代

理人ト認メ差支ナキヤ
右ニ關スル朝鮮ノ慣習如何

○回　答

一　幼者カ妻父ト同居シ近親ナキタメ妻父カ家事ヲ管理セル場合ニ於テモ堂内親族ノ協議ニ依リ其任ニ當レルニ非サレハ之ヲ慣習上ノ代理人タル保護者ト看做サス

【一三八】相續人廢除ニ關スル件

（大正三年十二月十七日京城覆審法院刑事部裁判長照會）
（同　年十二月十九日參第八八號政務總監回答）

○要　旨

一　長男暗愚ニシテ家事ヲ繼グニ不適當ナルトキト雖之ヲ廢除シ次男又ハ三男ヲシテ相續セシムルコトヲ得ズ

○照　會

一　朝鮮從來ノ慣習上長男暗愚ニシテ家ヲ繼クニ不適當ナル場合ニ於テ被相續人ノ意思ニ因リ長男ノ相續權（戸主、祭祀、財產）ヲ奪ヒ次男又ハ三男ヲシテ全部ノ相續ヲ爲サシムルコトヲ得タルモノナリヤ

ニ　若シ得タルモノトセハ被相續人獨斷ニテ之ヲ實行スルヲ得タリヤ

○回　答

一　朝鮮ノ慣習ニ於テハ長男暗愚ニシテ家ヲ繼クニ不適當ナルトキト雖モ被相續人ノ意思ニ因リ之ヲ相續人ヨリ廢除シ次男又ハ三男ヲシテ相續ヲ爲サシムルコトヲ得ス

【一三九】養子ニ關スル件

（大正三年十二月二十三日高等法院長照會）
（同　四年一月十四日參第六號政務總監回答）

○要　旨

一　法制ニ於テハ庶子アルトキハ養子ヲナスコトヲ許サズト雖慣習上尚行ハルニ　庶子アル場合ニ爲シタル養子ト雖相續ニ關シテハ嫡出ノ男子ト同一ノ權利ヲ有ス

○照　會

一　庶出ノ男子アル場合ニ其父ハ尚ホ他ヨリ男子ヲ貰ヒ之ヲ自己ノ養子ト爲シ得ヘキ慣習アリヤ否ヤ

ニ　若シ右ノ慣習アリトセハ相續ニ關シ其養子ノ權利ハ嫡出ノ實男ト同一ナルヤ否ヤ（以上平安南道安州郡地方ニ於ケル鮮人間ノ慣習）

○回　答

一　朝鮮ノ法制ニ於テハ庶子アル者ハ養子ヲ爲スコトヲ得サリシモ實際ニ於テハ庶流ヲ卑ムヨリ家系ヲ重スル者門閥アル者等庶出ノ男子アルニ拘ラス養子ヲ爲ス者往々ニシテアリ慣習上之ヲ無效トセス開國五百三年ニ至リ議案ヲ以テ嫡妾共ニ子ナキ場合ニ始メテ養子ヲ許ス規定ノ勵行ヲ圖リシモ行ハレス今日ニ於テハ此ノ如キ場合ニ養子ヲ爲ス者極メテ稀ナリト雖モ未タ全ク其跡ヲ絕ツニ至ラス慣習上之ヲ無效ト視ルコトヲ得サル狀態ニ在リ

二　庶子アル場合ノ養子ハ相續ニ關シ嫡出ノ男子ト同一ノ權利ヲ有ス（平安南道安州郡ニハ此點ニ關シ特別ノ慣習存セス）

【一四〇】遺產相續ニ關スル件

（大正三年十一月十七日平安南道長官照會）
（同　四年一月十八日參第七號政務總監回答）

○要　旨

一　戶主ノ長男死亡シ子ナキトキハ其ノ遺產ハ父タル戶主ニ歸シ戶主死亡シ分家ノ次男ガ祭祀相續ヲ爲シタルトキハ亡長子ノ遺產ハ其ノ寡婦ニ歸ス

○照　會

一　戶主甲ナルモノ長男乙ニ不動產若干ヲ分與セリ然ルニ其後乙ハ死亡シタルモ子ナキヲ以テ乙ノ妻丙ハ乙ノ甲ヨリ分與ヲ受ケタル財產ヲ管理セリ而シテ其後甲死亡シタルニ由リ甲ノ次男丁（分家セリ）ハ祭祀ノ相續ヲ爲シ甲ノ家ニ入リ戶主トナリタリ右ノ場合ニ於テハ乙ノ遺產タル不動產ノ相續權ハ丙丁何レニ在リヤ

○回　答

一　問合ノ場合ニ於テハ長男乙ノ遺產ハ乙ノ死亡ト同時ニ其父タル戶主甲ニ歸シ甲ノ死亡後ハ乙ノ妻丙ニ歸スル慣習ナリ

【一四一】次養子ニ關スル件

（大正四年一月十四日咸興地方法院北青支廳照會）
（同　年二月十六日參第八號政務總監回答）

○要　旨

一　戶主ノ既婚長男死亡シ嗣子ナキトキハ其ノ再從弟ヲ戶主ノ次養子ト爲スコトヲ得

二　次養子ハ祭祀ヲ擔行シ遺產及戶主ノ地位ヲ一時相續ス

三　次養子ニ男子出生セバ其ノ男子ハ直ニ祭祀戶主及財產ノ相續ヲ爲シ次養子ハ實家ニ復歸スベキモノナルモ其ノ子ノ相當年齡ニ達スルヲ待ツコトアリ復

歸ニ付テハ何等ノ形式ナシ

四　次養子ハ戸主ノ養子ニシテ其ノ出生男子ハ亡長男ノ養子ナリ

五　次養子ノ生ミタル男子ニ對シ親權ヲ行フ者ハ亡長男ノ妻ナリ

六　次養子アル場合ニハ更ニ養子ヲ爲サザルヲ通例トスルモ若次養子ガ子ヲ擧ゲル見込ナキニ至リタルトキハ亡長男ニ養子ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

○照　會

一　戸主ノ長男嗣子ナクシテ死亡シタルトキ其同列（六寸ノ弟）ノ男子ヲ次養子トスルハ慣習上認ムル處ナルカ如キモ長男タル者ノ未婚者ナルト否トニ依リ區別ナキヤ

二　次養子ハ相續權アリヤ若シナシトスレハ次養子トシテノ身分上ノ權利義務如何

三　次養子ハ男子出生スルト共ニ實家ニ歸スルノ慣習ナルカ如シ此場合ニ於テ若シ次養子ニ相續權アリトセハ出生兒ノ相續開始ノ時期及次養子ノ實家復歸ノ時期及形式如何

四　次養子トハ長男ノ養子ニアラスシテ戸主ノ所謂次養子ナルヘキモ出生兒ハ當然戸主ノ長男ノ養子トナルヘキヤ

五　右出生兒ノ親權者如何卽チ戸主及長男ハ既ニ死亡シ戸主ノ妻及長男ノ妻生存スル場合

六　次養子アル場合ニ（男子出生前）子ノ列ニ在ル者ヲ養子ト爲シ得ルヤ

○回　答

一　既婚者タル戸主ノ長男死亡シ嗣子ナキ爲メ其ノ同列六寸弟ヲ戸主ノ次養子ト爲シタル場合ハ慣習上有效ナリ而シテ若シ其亡長男カ未婚者ナルトキハ戸主ハ子ノ列ヨリ普通ノ養子ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

二　次養子ハ養家ノ祭祀者タル地位ヲ承繼セス單ニ其ノ攝行者タル地位ニ立ツノミナルカ故ニ祭祀ニ付テハ次養子トノ間ニ相續行ハレサルモ養親ノ遺產及戸主ノ地位ニ付テハ次養子ニ男子出生スル迄一時之ヲ承繼スルヲ以テ此點ニ付テハ相續行ハル

三　次養子ニ男子出生セハ其出生兒ハ直ニ祭祀戸主及財產ノ相續ヲ爲シ次養子ハ實家ニ復歸スヘキモノナリト雖モ實際ニ於テハ出生兒ノ相當年齡ニ達スルヲ待ツコトアリ其時期一樣ナラス又復歸ニ付テハ何等ノ形式ナシ

四　次養子ハ戸主ノ養子ニシテ其出生兒ハ當然亡長男ノ養子トナルモノトス

五　出生兒ニ對シ親權ヲ行フ者ハ亡長男ノ妻ナリ

六　次養子アル場合ニハ通例更ニ養子ヲ爲スコトナシト雖モ若シ次養子ニ子ヲ擧ケル見込ナキニ至リタルトキハ亡長男ノ養子ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

【一四二】國有未墾地利用ニ關スル件

（大正四年二月三日京城地方法院長照會）
（同　年三月二十五日參第一一號政務總監回答）

○要　旨

一　國有未墾地利用法發布前舊韓國政府ノ許可ヲ得テ國有未墾地ヲ開墾シタルトキハ開墾者ハ既墾部分ニ付テハ當然其ノ所有權ヲ取得ス

二　政府ヨリ陞總ヲ命ゼラレタルトキハ其ノ土地ノ所有權ヲ取得シタルモノト認メ得ベシ

三　干潟地利用ノ許可ヲ受ケ堤防ヲ築キ海水ノ浸入ヲ防止シタルトキト雖有主ノ陳田ハ利用者ノ所有ニ歸スルコトナシ

○照　會

一　國有未墾地利用法發布前ニ於テ舊韓國政府ヨリ國有未墾地利用ノ許可ヲ受ケタル者カ開墾シタルトキハ既墾ノ部分ハ當然其ノ土地ノ所有權ヲ取得スルヤ（特ニ明治三十八年頃ニ於ケル事例如何）將タ政府ヨリ付與拂下ヲ受クルニ非サレハ所有權ヲ取得セサルヤ

二　政府ヨリ陞總（納稅）ヲ命セラレタルトキハ付與アリタリト認メ得ヘキヤ

三　前項ノ場合ニ於テ國有未墾地（干潟地）利用許可ヲ受ケタルモノカ堤防ヲ建設シテ海水ノ浸入ヲ防止スル設備ヲ爲シタルトキ海水ノ浸入ヲ免レタル干潟地附近ニ在ル陳田（ムクンノン）ハ當然右利用者ノ所有ニ歸屬スルヤ

○回　答

一　國有未墾地利用法發布前（明治三十八年頃）舊韓國政府ヨリ國有未墾地利用ノ許可ヲ受ケタルモノカ開墾シタルトキハ既墾ノ部分ハ特ニ政府ヨリ付與拂下ヲ受ケスシテ當然其ノ土地ノ所有權ヲ取得シタリ

二　政府ヨリ陞總ヲ命セラレタルトキハ其土地ノ所有權ヲ取得シタルモノト認ムルコトヲ得ヘシ

三　前項ノ場合ニ於テ國有未墾地（干潟地）利用許可ヲ受ケタル者カ堤防ヲ建設シテ海水ノ浸入ヲ防止スル設備ヲ爲シタルトキト雖モ海水ノ浸入ヲ免レタル未墾地（干潟地）附近ニ在ル有主ノ陳田カ當然利用者ノ所有ニ歸屬スル如キ慣例ナカリシモノトス

【一四三】傾斜地ノ所有權ニ關スル件

（大正四年一月十八日土木局長照會）
（同　年三月三十日參事官回答）

○要　旨

一　國有地ノ上下ニ傾斜地アル場合ニ於テ傾斜地ガ上下共ニ國有ニ歸屬スル慣習ナシ

二　普通ハ下方ニ在ル傾斜地ハ其ノ上方ニ在ル土地ニ屬ス

○照　會

一　別紙參考圖ノ通リ國有地上下ニ於テ傾斜地アル場合該上下ノ傾斜地ハ朝鮮内一般ニ國有地ニ屬スヘキモノナリトノ舊慣アリヤ

○回　答

一　國有地ノ上下ニ傾斜地アル場合ニ於テ其ノ傾斜地カ上下共國有ニ屬スル慣習アルコトハ未タ聞カサル所ニシテ若シ實際ニ於テ何人モ此ノ如ク承認スル事例アリトセハ其傾斜地カ普通隣接地トノ間ニアルモノニ比シ面積ヲ有シ之ヲ隔テテ上下ニ在ル土地ト別個ノ土地トシテ觀察スルコトヲ得ル場合ナルヘク之ヲ法制上ヨリ言ヘハ所謂間曠地ニ屬シ國有タルモノナリ

二　普通ノ場合ニ在リテハ土地ノ上下ニ在ル傾斜地ハ土地ノ狀況ニ因リ其所屬ヲ決スルノ外ナキモ多クノ場合ニ於テハ下方ニ在ル傾斜地ハ其ノ上方ニ在ル土地ニ屬シ上方ニ在ル傾斜地ハ更ニ其ノ上方ニ在ル土地ニ屬スルモノト認定スヘキカ如シ而シテ之ヲ決スル標準ハ其傾斜地カ別個ノ土地ト視ルヘキヤ否ヤ及別個ノ土地ト視ルコトヲ得サル場合ニ於テハ孰レノ土地ト關係最モ深キカ(例ヘハ之ヲ崩壞スルトキハ延テ其ノ土地ニ損害ヲ及ホスカ如キ)ヲ視テ其ノ所屬ヲ決スルモノトス

【一四四】未成年者ノ保護者ノ權限ニ關スル件

(大正四年三月九日臨時土地調査局長照會)
(同　年四月十三日參第二四號政務總監回答)

○要　旨

一　伯父ノ家ニ入リ其ノ養育ヲ受ケタル未成年者ノ所有不動産ヲ伯父ガ處分シタルトキハ其ノ處分ガ姪ノ爲ニ爲シタルモノナルトキハ有效ナリ

○照　會

一　父ナキ未成年者タル姪カ伯父家ノ民籍ニ姪トシテ入籍シ(母ハ父ノ死後他ニ再嫁セリ)伯父ニ依リテ養育中伯父カ其ノ姪ノ所有不動産ヲ處分シタル事實アリ右伯父ノ處分行爲ハ本人ノ爲ニシタルト否トヲ問ハス朝鮮從來ノ慣習上有效ト認ムヘキモノナリヤ否ヤ

但シ未成年者ノ有服親トシテハ伯父父子ノ外ナク又其ノ處分行爲ノアリタルハ明治四十三年陰六月卽チ韓國併合以前ナリ

○回　答

一　明治四十三年韓國併合前伯父ノ民籍ニ姪トシテ入籍シ其ノ養育ヲ受クル未成年者ノ不動産ニ付キ伯父ニ於テ處分ヲ爲シタル事實アリトセンニ其ノ處分カ姪ノタメニシタルモノナルトキハ慣習上有效ナルモ否サルトキハ效力ナシ

【一四五】陷落地ノ所有權ニ關スル件

（大正四年二月二十四日釜山地方法院民事部裁判長照會）
（同　年四月十三日參第二四號政務總監回答）

○要　旨

一　河岸ノ土地ガ陷落シタル場合ニハ其ノ所有權消滅シ後ニ至リ其ノ地域ニ泥生地ヲ生ジタルトキハ泥生地ハ陷落地ノ所有者ノ所有ニ歸ス

○照　會

一　江岸殊ニ洛東江岸ノ土地陷落シタル後年々流下シ來ル土砂ノ自然ニ堆積シ復タ同一箇所ニ砂洲生シ土地トシテ利用シ得ラルル狀態ヲ形成セルトキハ其ノ間ノ年數ノ多少ニ拘ハラス其土地ハ陷落前ノ所有者ニ歸屬スル習慣ナリヤ然リトセハ其權利ハ引續キ前權利ヲ保有シタルモノト看做サルルモノナリヤ將又前權利ハ陷落ノトキ一旦消滅シ新ニ所有權ヲ取得シタルモノト看做サルルモノナリヤ斯ル習慣ハ現存スルヤ既ニ消滅シタリトセハ何時マテ行ハレタルヤ

○回　答

一　慣習ニ於テハ江岸ノ土地陷落シタル場合ニハ其ノ所有權消滅シ再ヒ其ノ地域ニ泥生地ヲ見ルニ至リタルトキハ陷落ノ時ヨリ泥生ノ時ニ至ル年數ノ如何ヲ問ハス陷落地ノ所有者ノ所有ニ歸スルモノトス末段ニ付テハ朝鮮民事令ノ解釋ニ屬スルヲ以テ省略ス

【一四六】養子及相續ニ關スル件

（大正四年三月二日平壤地方法院定州支廳照會）
（同　年四月十九日參第一八號政務總監回答）

○要　旨

一　未婚ニシテ死亡シタル者ノ爲ニハ養子ヲ爲スコトヲ得ズ養子ガ其ノ先代ト昭穆ノ關係ニアル者ナルトキハ先代ノ養子ナリトス

一　未婚ニシテ死亡シタル戶主ノ遺産ハ養子ヲ爲スマデハ其ノ母ニ於テ承繼ス從テ其ノ所有ニ屬スル間ニ爲シタル遺産ノ賣却ハ有效ナリ

○照　會

一　戶主李鎭宅カ未婚者且十三歲ニテ大正二年七月八日死亡シタルニ付キ李鎭昌ハ大正三年六月二十日養子トナリタリ

右李鎭昌ノ養子トナリタルハ李鎭宅ノ前戸主李垢培ノ直接養子タル意味ニシテ李鎭宅ノ養子トナリタルモノニアラサルヤ換言セハ朝鮮ニ於テハ戸主カ未成年男子且未婚ニテ死亡シタル時ハ其ノ死亡者ノ養子ヲ爲スコトヲ得サルモノナリヤ

二　果シテ然ラハ死亡者李鎭宅ニ於テ財產ヲ所有シタル時ハ李鎭昌カ養子トナラサル間其母鄭氏ニ於テ相續シ得ヘキヤ將タ單ニ保管責務アリヤ

三　鄭氏カ相續スルヲ得スシテ養子ノ定マルマテ保管責務アリトセハ李鎭昌カ養子トナリタル以上ハ直ニ其保管不動產ヲ李鎭昌ニ引渡スヘキモノナルヤ

四　然ルニ鄭氏ハ大正三年四月二十一日附ヲ以テ李鎭宅死亡ニ因リ相續シタル旨ノ理由ヲ以テ土地所有權保存證明ヲ受ケ之ヲ他ニ賣却シタリ右賣却ハ無效ナリヤ

○回　答

一　朝鮮ニ於テハ未婚者タル死者ノタメニ養子ヲ爲スコトヲ得ス故ニ戸主李鎭宅ノ死後李鎭昌ヲ養子ト爲シタルハ若シ其ノ親族關係カ前戸主李垢培ノ子列ニ當ル男系血族ナルトキハ李垢培ノ養子トナリタルモノナルヘシ

二　亡戸主李鎭宅ノ遺產ハ養子ヲ爲ス前ニ於テハ其ノ母鄭氏ニ於テ承繼シ隨テ自己ノ所有ニ屬スル間ニ爲シタル賣却ハ有效ナリ

【一四七】同事員ノ責任ニ關スル件

（大正四年三月十九日平壤地方法院裁判長照會同年四月十九日參第二六號政務總監回答）

○要　旨

一　同事ヲ組織シ營業ヲ爲ス場合ニ營業ノ爲ニ借入レタル金員ニ付テハ同事員ハ皆辨濟ノ責ニ任ズ同事員ノ一人ガ自己ノ爲ニ借入レタル金員ニ付テハ他ノ同事員ニ辨濟ノ責ナシ

○照　會

一　同事業者ノ一人カ爲シタル金員ノ借入レハ其ノ營業ノ爲メニスルト將タ自己單獨ノ爲メニスルトヲ問ハス且ツ該借入レカ同事營業帳簿ニ記載アルト否トヲ論セス他ノ同事業者ハ其ノ辨濟ノ責ニ任スヘキモノナリヤ

右朝鮮ニ於ケル一般慣習又ハ平安南道ニ於ケル慣習

○回　答

一　同事ヲ組織シ營業ヲ爲セル場合ニ其營業ノ爲メニ借入レタル金員ニ付テハ同事員皆辨濟ノ責ヲ負ヒ之ヲ營業帳簿ニ記入シタルト否トハ必スシモ其ノ責任ノ有無ヲ決スル標準トナラス同事員カ自己ノ爲ニ借入レタル金員ニ付テハ縱令營業帳簿ニ記入アル場合ト雖他ノ同事員ニ辨濟ノ責ナシ

右ハ平安南道ニ於テモ異リタル慣習存セス

【一四八】協議離婚ニ關スル件

（大正四年四月六日京城覆審法院民事第一部裁判長照會）
（同年四月十九日參第三一號政務總監回答）

○要　旨

一　協議離婚ニハ夫ノ父母ノ同意ヲ要ス妻ノ父母ノ同意ヲ要セズ

○照　會

一　行爲能力アル夫婦カ協議上離婚ヲ爲サント欲シ而シテ其當事者何レニモ父母存スル場合ニハ當事者ノ年齡如何ニ拘ラス其ノ兩親ノ同意ヲ得ルニアラサレハ有效ニ離婚ヲ爲シ得サルヤ

二　若シクハ行爲能力アルモノナル以上ハ絕對ニ其父母ノ同意ヲ要セサルヤ

三　若シ其當事者ノ年齡如何ニヨリ父母ノ承諾ヲ得ルト否トノ別アルトキハ其年齡如何

○回　答

一　朝鮮ニ於テハ夫婦カ協議ノ上離婚ヲ爲ス場合ニ夫ノ父母アルトキハ其ノ同意ヲ得ルコトヲ要シ年齡及行爲能力ノ如何ヲ問フコトナシ然レトモ妻ノ父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要セス

【一四九】差人同事ニ關スル件

（大正四年三月一日京城地方法院長照會）
（同年四月二十四日參第一七號政務總監回答）

○要　旨

一　一人出資シ一人業務執行者トナリテ營業ヲ爲ス場合ハ之ヲ差人同事ト稱シ出資者ヲ物主、業務執行者ヲ差人ト稱ス

二　差人同事ノ場合ニ於テハ物主ノ出資金額ニ對スル利息ヲ收益金中ヨリ控除シタル上其ノ損益ヲ計算シ物主ト差人トノ間ニ之ヲ平分スルヲ通例トス

三　同事ヲ解クコトヲ罷掌ト稱ス

同事ヲ解キタル場合ニ於テ同事營業ニ因リ生ジタル差人ノ第三者ニ對スル權利義務ニ付テハ物主モ其ノ權利ヲ行フコトヲ得ルト同時ニ其ノ義務ヲ履行スベキ責アルモノトス

○照　會

一　甲カ商業ノ資本主トナリ乙カ營業ノ實行者トナリ商業ヲ營ム關係ヲ同事業ト稱シ甲者ヲ物主ト稱シ乙者ヲ差人ト稱スル乎

二　同事業者ニ於テハ物主ノ出資金額ニ一定ノ利子ヲ計算シ其ノ結果ニヨリ損益ヲ定メ其ノ損益ハ物主ト差人トノ平均分配トナスヤ

三　同事業カ廢止セラルル場合ヲ罷掌ト稱スル乎右ノ場合ニ

イ、物主ハ自己ノ差人ノ第三者ニ對スル義務ノ全部ヲ負擔スル乎

ロ、物主ハ自己ノ差人ノ第三者ニ對スル權利ヲモ之ヲ行使スルコトヲ得ル乎

○回　答

一　一人資本ヲ出シ一人業務執行者トナリテ營業ヲ爲ス場合ニ於テハ之ヲ差人同事ト稱シ資本ヲ出ス者ヲ物主、業務ヲ執行スル者ヲ差人ト稱スルコトアリ

二　差人同事ノ場合ニ於テハ物主ノ出資ニ對シ利息ヲ差引タル上損益ノ計算ヲ爲シ物主ト差人トノ間ニ之ヲ平分スルヲ通例トス

三　同事ヲ解クコトヲ稱シテ罷掌トモ云フ同事ヲ解キタル場合ニ同事ノ營業ニ因リテ生シタル差人ノ第三者ニ對スル權利義務ニ付テハ物主ハ其ノ權利ヲ行フコトヲ得ヘク又義務ヲ履行スヘキ責アルモノトス

【一五〇】賜牌田ノ區別ニ關スル件

（大正四年三月二十四日海州地方法院民事部裁判長照會）
（同年四月二十六日參第二七號政務總監回答）

○要　旨

一　李朝肅宗時代ニ於ケル宮房賜牌ニハ結數賜牌ト田土賜牌トアリ前者ハ結數ノミヲ賜與スルヲ以テ之ヲ無土賜牌ト謂ヒ後者ハ田土ヲ賜與スルヲ以テ之ヲ有土賜牌ト謂フ

二　結數賜牌ニハ本人ノ一代ヲ限リ賜給スルモノト四代ヲ限リ賜給スルモノトアリ

三　田土賜牌ヲ受ケタル宮房ハ其ノ田土ヲ賣却其ノ他處分スルコトヲ得結數賜牌ハ之ヲ處分スルコトヲ得ズ

○照　會

一　舊韓國肅宗王時代ニ於ケル各宮房ノ賜牌ハ單ニ結稅賜牌ノミ行ハレタルモノニ過キサルヤ將タ田土賜牌モ併セテ行ハレタルモノナリヤ若シ併行サレタリトセハ兩者ハ如何ナル名稱ヲ以テ區別サレ居リシヤ（例ヘハ永賜牌、結賜牌、田土賜牌ト云フカ如ク）其ノ結稅賜牌ト田土賜牌ハ其間如何ナル區別アリヤ

二　結稅賜牌ハ年限ノ定メアルモノナリヤ

三　田土賜牌ヲ受ケタル各宮ハ其ノ田土ヲ又結稅賜牌ヲ受ケタル各宮ハ其ノ權利ヲ何レモ自由ニ他ニ賣却其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得ヘキモノナリヤ

○回　答

一　朝鮮肅宗ノ頃ニ於ケル宮房賜牌ニハ結數賜牌ト田土賜牌トアリ前者ハ一ニ無土賜牌ト云ヒ後者ハ又有土賜牌ト云フ但シ永賜牌・結稅賜牌等ノ稱ハ多ク聞カサル所ナリ而シテ結數賜牌ハ單ニ結稅ノミヲ賜與シ田土賜牌ハ土地ヲ賜與スル點ニ於テ異ナレリ

二　結數賜牌ニハ本人ノ一代ヲ期限トスルモノ四代ヲ期限トスルモノ等アリ

三　田土賜牌ヲ受ケタル宮房ハ其ノ田土ニ付賣却其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得ヘク又結數賜牌ヲ受ケタル場合ハ之ヲ處分スルコトヲ得ス唯實際ニ於テハ內密ニ之ヲ賣却シ稅額ヲ受領スルニハ受牌者ノ名ヲ以テスルコトアリタリ

【一五一】相續人曠缺ノ場合ニ於ケル再生地所有權ノ歸屬ニ關スル件（大正四年四月七日高等法院長照會同年四月二十六日參第三二號政務總監回答）

○要　旨

一　承繼者ナキ死者ノ遺產ハ動產ト不動產トヲ問ハス其ノ者ノ住セル里ノ所有ニ歸スルモノトス

二　江落地ノ所有者ガ死亡シ相續人曠缺ノトキ泥生地ヲ生ジタル場合ニ於ケル泥生地ノ歸屬ニ付テハ確タル慣習ナシ

○照　會

一　相續人曠缺ノ場合死者ノ遺產タル不動產ハ其所在地ナル里洞ノ所有ニ歸スル慣習アリヤ

二　甲者ノ所有地カ落江シ次テ甲者死亡シ其相續人曠缺セリ其後ニ至リ同一場所ニ新ニ寄洲ヲ生シタルトキハ右新ニ生シタル土地ノ所有權ハ何人ニ屬スル慣習ナリヤ

（以上特ニ平安南道安州郡附近ニ於ケル慣習）

○回　答

一　承繼者ナキ死者ノ遺產ハ動產ト不動產トヲ問ハス其ノ者ノ住セル里ノ所有ニ歸スルヲ慣習トス

二　二項ノ場合ニ付テハ確タル慣習ナキカ如シ

【一五二】親權ノ喪失ニ關スル件（大正四年二月二十四日京城地方法院長照會同年四月二十八日參第一六號政務總監回答）

○要　旨

一　親權ヲ喪失セシムル慣習ナキモ母ガ子ノ財產ヲ管理スル場合祖母ガ之ヲ制

限シ又ハ管理ヲ爲サシメザル慣習アルモ舊時ニ於テハ之ヲ裁判所ニ訴求スルコトヲ許サズ

○照　會

一　親權及財產管理權喪失ノ宣言ヲ裁判所ニ訴求シ得ル慣習アリヤ

二　若シ斯ル慣習アリトセハ親權及財產管理權喪失ノ原因事例竝ニ請求權者如何

○回　答

一　朝鮮ニハ親權ヲ喪失セシムル慣習ナキモ母カ子ノ財產ヲ管理セル場合ニ祖母カ之ヲ制限シ又ハ其ノ管理ヲ爲サシメサルコトヲ得ル慣習アリ但之ヲ裁判所ニ訴求スルカ如キハ舊時ニ於テハ許ササリシ所トス

二　前項記載ノ如ク親權又ハ財產管理權ノ喪失ヲ裁判所ニ訴求スルコトナカリシヲ以テ其ノ原因事例竝ニ請求者ニ付キ定例ナシ

【一五三】幼年戶主ノ保護ニ關スル件

（大正四年三月三日平壤地方法院定州支廳照會
同年四月二十九日參第二一號政務總監回答）

○要　旨

一　未成年ノ男戶主ト實母ト同一ノ家ニ在ル場合ニハ實母當然其ノ保護者トナル

二　未成年ノ男戶主ト祖母ト同一ノ家ニ在ル場合ニハ祖母當然其ノ保護者トナル

三　未成年者ガ養子ナルトキト雖生家ニ在ル實父ハ當然其ノ保護者トナルモノニ非ズ

四　保護者タル祖母ガ孫ニ對シ訴訟ヲ提起スルガ如キ事例ハ舊時ニ於テハ全ク存セズ

○照　會

一　十歲ノ男戶主ト實母トアル場合ニハ其ノ母カ親權ヲ行フヘキモノナリヤ

二　十歲ノ男戶主ト祖母トアル場合ニハ祖母ハ當然後見人タルモノナルヤ又ハ親族協議ノ上選定セサル以上ハ祖母ハ後見人タルヲ得サルヤ將タ又女子タルモノハ絕對ニ後見人タル資格ナキモノナリヤ

三　十歲ノ男戶主（他ヨリ養子トナリタル上戶主トナレリ）ト祖母トノミアリ實家（拾歲ノ男戶主ノ）ニハ實父アル場合ニ於テハ當然實父カ後見人トナリ別段親族ノ選定ヲ要セサルヤ

（慣習調查報告書三三五丁參照）

四　十歲ノ男戶主ト祖母トアル場合ニ祖母カ其孫タル未成年戶主ニ對シテ民事訴訟ヲ

起サントスルニハ如何ナル方法ヲ盡スヘキモノナルヤ

○回　答

一　十歳ノ男戸主ト實母ト同一ノ家ニ在ル場合ニハ實母當然之カ保護者トナル

二　十歳ノ男戸主ト祖母ト同一ノ家ニ在ル場合ニハ祖母當然其ノ保護者トナル

三　前項ノ場合ニ其ノ戸主カ養子ニシテ生家ニ實父アルトキト雖モ實父ハ當然其ノ保護者トナルモノニ非ス

四　保護者タル祖母カ孫ニ對シ訴訟ヲ提起スルカ如キ事例ハ舊時ニ於テハ全ク存セサリシ所ナルヲ以テ孫ノ代表等ニ付キ特ニ定マリタル慣習ナシ

【一五四】寡女再嫁ノ方式ニ關スル件

（大正四年三月十七日京城地方法院長照會）
（同　年四月三十日參第二五號政務總監回答）

○要　旨

一　寡婦ガ再嫁スル場合ニハ式ヲ擧ゲル者殆ンドナシ

○照　會

一　朝鮮人間ノ婚姻成立ニハ擧式ヲ要件トスルコト疑ヲ容レスト雖モ寡女再嫁ノ場合ニハ往々婚姻ノ式ヲ擧ケス只民籍上婚姻ノ屆出ヲナシ多數ノ子女ヲ有スル者モ少カラス斯ル場合ニ於テハ擧式ノ缺缺ニヨリ其ノ婚姻ヲ不成立ト看做スヘキヤ將タ例外トシテ民籍ノ屆出ニヨリ當事者合意ノ確證アル場合ハ婚姻ノ成立ト見做スヘキヤ

○回　答

一　朝鮮ニ於テハ往時寡女ノ再嫁ヲ禁シ後其ノ禁ヲ解キシモ一般ニ之ヲ賤シムヲ以テ再嫁ノ場合ニハ式ヲ擧クル者殆トナシ故ニ縱令式ヲ擧ケサル者ト雖モ事情ニ因リ婚姻ノ成立アリタルモノト認ムヘキ場合アルヘシ

【一五五】養子及相續ニ關スル件

（大正四年四月二十三日平壤地方法院定州支廳照會）
（同　年四月三十日參第三五號政務總監回答）

○要　旨

一　戸主死亡シ養子アル場合ニ於テ他ニ改嫁シタル亡戸主ノ母ガ爲シタル遺産ノ處分ハ無效ナリ

○照　會

一　亡戸主李鎭宅母鄭氏ハ大正三年三月二十六日他家ニ婚姻入籍シ右李鎭宅ノ遺産ナル不動産ハ大正三年五月二日ニ至リ

他ニ賣却シタルモノナリ

右ノ如ク他家ニ婿嫁シタル以後ニ於テ其遺產ヲ賣却シタルハ有效ナリヤ

二　戶籍面ニ據レハ李奎銀ナル者大正三年三月一日養子大正三年六月二十一日罷養トアリテ養子トナルト同時ニ李奎銀ニ於テ遺產ヲ相續シタルモノト認ムヘク母鄭氏ニ於テ大正三年五月二日ニ至リ（李奎銀養子中）之カ賣却ヲ爲ス權利ナキモノニアラスヤ

○回　答

一　問合ノ如キ場合ニ於テハ其ノ賣却ハ效力ナシ

【一五六】妾及未成年者ノ行爲能力ニ關スル件

（大正四年三月一日平壤地方法院定州支廳照會）
（同　年四月三十日參第一九號政務總監回答）

○要　旨

一　夫ト同居セル妾ガ訴訟ヲ提起シ又ハ訴訟ノ相手方トナルニハ夫ノ許可ヲ要ス

二　夫ト同居セル妾ガ不動產ヲ買受クルニハ夫ノ許可ヲ要ス

三　前項ノ場合ニ於テ妾ガ獨斷ニテ不動產ヲ買受ケタルトキハ夫ハ取消スコトヲ得ルモ無效ニ非ズ

四　民法第十九條ニ規定セルガ如キ慣習存セズ

○照　會

一　夫ト同居セル妾カ訴訟ヲ起スニ夫ノ許可ヲ要スヘキモノナルヤ

二　夫ト同居セル妾カ訴訟ノ相手方トナリタルトキハ夫ノ許可ヲ要セサルヤ

三　夫ト同居セル妾カ不動產ヲ買受クルニハ其夫ノ許可ヲ要スヘキモノナルヤ

四　若シ右ノ場合ニ許可ヲ得スシテ買受ケタリトセハ其賣買ハ無效ナリヤ將タ單ニ取消シ得ヘキモノナリヤ

五　意思能力アル未成年者（例ハ十三歲）カ法定代理人ノ許可ヲ得スシテ其所有不動產ヲ賣渡シタルトキハ其法定代理人ハ之ヲ取消スコトヲ得ヘキコト慣習調查報告書一四・一五丁ニ記載アルモ右ノ場合ニ買主タル相手方ハ日本民法第十九條ノ如キ權利ヲ有スルヤ

○回　答

一　夫ト同居セル妾カ原告トナリ訴訟ヲ提起スルニハ夫ノ許可ヲ要シ又訴訟ノ相手方トナリタルトキニ於テモ自ラ訴訟行爲ヲ爲ス

二　夫ト同居セル妾カ不動產ヲ買受クルニハ夫ノ許可ヲ要ス

三　右ノ場合ニ妾カ獨斷ニテ不動產ヲ買取リタル場合ニハ夫ニ於テ之ヲ取消スコトヲ得ルモ無效ニ非ス

【一五七】同事員ノ責任ニ關スル件

（大正四年五月十三日京城地方法院民事部照會）
（同　四年六月二十四日朝樞發第八八號政務總監回答）

○要　旨

一　同事營業ニ於テ同事員ノ一人ガ營業ノ爲負擔シタル債務ハ全員ニ於テ分擔ス若シ同事員中ニ辨濟ノ資力ナキ者アルトキハ其ノ者ノ負擔部分ハ殘餘ノ者ニ於テ分擔スル慣習ナリ

○照　會

一　同事營業ヲ爲ス者ハ其ノ中一人ニ於テ負擔シタル債務ト雖營業ノ爲負擔シタルモノナル以上ハ同事營業者全員ニ於テ連帶返濟ヲ爲スノ慣習アリヤ否ヤ

○回　答

一　同事營業ノ場合ニ於テハ其ノ中一人カ負擔シタル債務ト雖モ營業ノ爲ニシタルモノハ全員ニ於テ若シ之ヲ辨濟スル資力ナキ者アルトキハ殘餘ノ者ニ於テ之ヲ分擔スヘキモノニシテ連帶ノ責任ヲ認ムル慣習ナシ

【一五八】妻出家ノ場合ニ於ケル再娶ノ效力ニ關スル件

（大正四年五月一日京城地方法院長照會）
（同　年六月二十四日朝樞發第八九號政務總監回答）

○要　旨

一　舊時ニ於テ兩班ノ妻ガ無斷家出シ兩三年所在不明ナリシ爲他女ト婚姻シタルトキハ之ニ因リ前妻ヲ離婚シタルモノト視ル慣習ナリ

二　前項ノ慣習ハ常民ニ付テモ異ルコトナシ

三　右前妻ノ不在中其ノ父母ガ婚書ヲ夫家ニ返還シタルトキハ離婚ヲ認容シタル證左ト視ルコトヲ得ベシ

○照　會

一　道光二十年頃ニ於テ或兩班ノ正妻カ無斷出家シテ所在不明ナルコト兩三年ニ及ヒタルトキ其ノ夫カ離婚ノ手續ヲ爲サスシテ更ニ他女ヲ式ヲ擧ケテ娶リタル後、一兩年ニシテ前妻歸リ來リ爾來其ノ夫ハ前妻及後妻ト同時ニ夫婦ノ實ヲ續行セリ右ノ場合ニ於テ

イ、前妻後妻孰レカ正妻ナリヤ

ロ、其ノ夫カ常民ナリシトキハ其ノ慣習異ル所アリヤ
ハ、前妻所在不明中其ノ父又ハ母カ婚書紙ヲ夫家ニ返還シタルトキハ婚姻解消ト認メ得ルヤ

○回　答

一　道光二十年頃ニ於テ兩班ノ妻無斷家出ヲ爲シ所在不明ナルコト兩三年ニ及ヒタル爲其ノ夫カ特ニ離婚ノ手續ヲ爲サスシテ更ニ式ヲ擧ケテ他女ヲ娶リタル後一兩年ニシテ前妻歸家シ爾來同棲セル場合ニ於テハ其ノ再娶ニ因リ前妻ヲ離婚シタルモノト視ル慣習ナリシヲ以テ特ニ離婚ノ手續ヲ爲シ更ニ後妻ヲ娶リタル場合ト異ルコトナシ故ニ後妻ノミ妻タルコト言フヲ俟タス

二　右ノ場合夫カ常民ナリシトキト雖モ異リタル慣習ナシ

三　前妻ノ不在中其ノ父又ハ母カ婚書ヲ夫家ニ返還シタル場合ハ妻ノ父母ニ於テモ離婚ヲ認メタル證左ト視ルコトヲ得ヘシ

【一五九】家族死亡ノ場合ニ於ケル遺産相續ニ關スル件

（大正四年五月二十二日平壤地方法院民事部裁判長照會）
（同年六月二十四日朝福發第九〇號政務總監回答）

○要　旨

一　家族死亡シ妻及女アル場合ハ其ノ遺産ハ妻ニ於テ相續ス

○照　會

一　甲乙アリ乙ハ甲戶主ノ家族トシテ同居中特有財產ヲ遺シ死亡シタリ然ルニ乙ハ實母及戶主タル兄甲ノ外妻ト一女子トヲ有セリ此ノ場合何人カ遺產相續ヲ爲スヘキモノナルヤ若シ數人之カ相續ヲ爲ストセハ其ノ相續分如何
但シ右母ハ兄甲ノ庶母ニシテ甲ノ戶籍內ニ在ラサルモノナリ

○回　答

一　家族死亡シ兄タル戶主・母・妻及女アル場合ニ於テハ其ノ遺產ハ妻ニ於テ相續スヘキモノトス

【一六〇】荒蕪地ノ小作ニ關スル件

（大正四年五月十三日京城覆審法院民事第一部裁判長照會）
（同年六月二十四日朝福發第九一號政務總監回答）

○要　旨

一　地主ノ承諾ヲ得テ荒蕪地ヲ開墾シタルトキハ三年間ハ無料ニシテ之ヲ使用シ得ル慣習アリ其ノ後ハ普通小作ト異ルコトナシ

二　小作ハ一耕作期毎ニ契約ヲ解除シ得ベク又小作料ノ增額ヲ爲スコトヲ得

三　前記ノ慣習ハ其ノ土地ガ內需司ノ所有ニ屬スル場合ニ於テモ異ルコトナシ

○照　會

一　承諾ヲ得テ他人所有ノ荒蕪地ヲ開墾シテ土地使用權ヲ得タル場合ニ於テ當事者間特約ナキトキハ其ノ使用權ハ永小作權ナリヤ將タ賃借權ナリヤ

二　同上ノ開墾者カ土地ノ賃料トシテ年々土地收穫ノ四分ノ一ヲ地主ニ納付スルトキハ其使用權ハ永小作權ナリヤ

三　永小作關係ニ付キ土地ノ狀況ニ變更ナキトキト雖モ秋收終了後翌年ノ小作始期ノ間ニ於テハ地主ハ單獨ニ小作料ニ付相當ノ增額ヲ爲ス事ヲ得ルヤ將タ小作料ノ增額ハ裁判上ノ確定ヲ要スルヤ若シ地主ニ於テ土地ニ對シ修築改良工事ヲ施工シ土地ノ收穫增加シタル場合ニハ如何

四　以上ノ事項ニ付土地カ內需司ノ所有ニ屬スル場合ニハ差異アリヤ

○回　答

一　他人所有ノ荒蕪地ヲ其ノ承諾ヲ得テ開墾シタル場合ニハ三年間無料ニテ使用ヲ爲スコトヲ得ル慣習アリ然レトモ其ノ後引續キ使用ヲ爲スハ普通ノ場合ニ於ケル小作ト異ルナキヲ以テ素ヨリ永小作ニアラス隨テ此ノ如キ場合ニ借地者カ普通ノ小作料ニ比シ少額ノ小作料ヲ支拂フコトアリトスルモ明約又ハ其ノ約旨ヲ推定シ得ヘキ事情アルニ非サレハ直ニ永小作ナリト解スヘキ理由トナラス

二　前項ノ場合ニ於テハ地主及小作人ハ普通ノ例ニ依リ一耕作期毎ニ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ルヲ以テ小作料ノ增額ヲ爲スコトヲ得ルハ勿論ナリ然レトモ借地者カ之ヲ承諾スルト否トハ其ノ任意ナルヲ以テ若シ之ヲ欲セサルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得ヘシ

三　其ノ土地カ內需司ノ所有ニ屬スル場合ト雖モ差異アルコトナシ

【一六一】賭地權ノ賣買ニ關スル件

（大正四年六月五日平壤地方法院照會）
（同　年七月七日朝樞發第九八號政務總監回答）

○要　旨

一　賭地權ヲ典當ト爲シタルトキハ之ヲ第三者ニ賣却スルコトヲ得ズ

○照　會

一　賭地權ヲ抵當ニ差入レタル場合ニ賭地權者ト第三者トノ間ニ爲シタル賭地權ノ賣買ハ無效ナリヤ否ヤ

○回　答

一　賭地權ヲ典當ト爲シタル場合ニ之ヲ第三者ニ賣買スルコトハ慣習ノ認メサル所

ナリ

【一六二】身元保證義務ノ相續ニ關スル件

（大正四年六月十二日慶尚北道長官照會）
（同年九月十八日朝樞發第一三三號政務總監回答）

○要旨

一　身元保證債務ノ相續ニ因ル承繼ニ付テハ明確ナル慣習存セズ

○照會

一　朝鮮人ノ親族相續ニ關シテハ慣習ニ依ルヘキ儀ニ有之候處他人ノ身元保證ヲ爲シタル者死亡シタル場合ニ於テ其ノ相續人ハ當然被相續人ノ身元保證ノ義務ヲ繼承スヘキ慣習有之候哉

○回答

一　朝鮮ニハ身元保證ノ義務ニ付キ相續人ニ於テ承繼スヘキモノナルヤ否ヤ明確ナル慣習存セスト雖モ面吏員ノ缺逋ニ對スル身元保證義務ノ如キハ被相續人ノ生存中既ニ事實發生セルモノハ相續人ヲシテ其ノ義務ヲ履行セシメ若シ被相續人ノ死後ニ生シタルモノナルトキハ相續人ニ履行ノ責ナキモノト解スルヲ妥當トスヘシ

【一六三】獨子ヲ養子ト爲ス場合ニ關スル件

（大正四年六月二十四日平壤地方法院照會）
（同年七月七日朝樞發第九七號政務總監回答）

○要旨

一　獨子タル長男ハ本家相續ノ場合ニ限リ他家ニ養子トナルコトヲ得

○照會

一　慣習上人ノ長男ニシテ獨子息ナルモノカ實父ノ從弟ニ當ルモノ死亡シタル場合ニ養子トナル事能ハサルヤ

○回答

一　獨子タル長男ハ他家ノ養子トナルコトヲ得サルモノナルモ本家相續ノ場合ニ限リ他家ノ養子トナルコトヲ得ル慣習ナリ

【一六四】代襲相續ニ關スル件

（大正四年七月九日海州地方法院民事部裁判長照會）
（同年九月四日朝樞發第一二四號政務總監回答）

○要旨

一　相續人タル父相續開始前ニ死亡シ嫡子ナキトキハ庶子ハ當然承重ニ因リ相

續ス

二　前項ノ場合ニ於テ戸主タル祖父ガ亡父ノ爲養子ヲ指定シ若ハ祖父ノ死後直ニ亡父ノ妻・親族等ニ於テ養子ヲ爲シタルトキハ庶子ハ相續人タルコトヲ得ズ

○照　會

一　父カ相續開始前ニ死亡シ其ノ嫡出子ナク庶子ノミアルトキハ其ノ庶子ニ於テ何等ノ手續ヲ要セス當然父ニ代リテ祭祀相續ヲ爲スコトヲ得ヘキモノナリヤ（所謂代襲相續）若シ手續ヲ爲ササレハ其ノ相續人トナルコト能ハストセハ如何ナル手續ヲ爲スヘキモノナリヤ

二　又若シ右ノ場合ニ於テ祖父カ其ノ生前代襲相續人トシテ子（庶子ノ亡父）ノ養子ヲ指定シ又ハ祖父死亡後直ニ庶子ノ父ノ妻及親族等ニ於テ代襲相續人ト爲スヘキ爲亡父ノ養子ヲ爲シタル場合ニ於テハ庶子ハ其ノ代襲相續ヲ爲スコト能ハサルモノナリヤ

以上ハ今ヨリ十九年若クハ三十三年前ノ黄海道地方ニ於ケル慣習

○回　答

一　相續人タル父相續開始前ニ死亡シ嫡子ナク庶子ノミアルトキハ其ノ庶子ハ承重ニ因リ當然相續ヲ爲シ何等ノ手續ヲ要セス

二　右ノ場合ニ於テ戸主タル祖父カ亡父ノ養子ヲ指定シ若クハ祖父ノ死後直チニ亡父ノ妻・親族等ニ於テ亡父ノ養子ヲ爲シタルトキハ庶子ハ相續ヲ爲スコトヲ得ス

【一六五】柴場及薪炭賜牌ニ關スル件

（大正四年七月十四日農商工部山林課照會）
（同　年九月十五日朝樞發第一二九號中樞院回答）

○要　旨

一　**柴場トシテ賜牌・立案又ハ完文ヲ受ケタル者ハ其ノ土地ノ所有權ヲ得タルモノトス**

二　**薪炭賜牌ハ柴場賜牌ト同一ニシテ山地ヲ定給ス**

○照　會

一　柴場トシテ賜牌、立案又ハ完文等ヲ受ケタルモノハ其ノ地ノ所有權ヲ得タルモノト解スヘキヤ將タ該地ヨリ燃料等ヲ採取スル權利ノミヲ得タルモノト解スヘキヤ又火田トシテ此ノ權利ヲ得タル場合ハ如何

二　或ル土地ニ對シ薪炭賜牌ト稱スルモノアリ之ハ如何ナル權利ヲ與ヘタルモノナルヤ

○回　答

一　柴場トシテ賜牌・立案又ハ完文ヲ受ケタル者ハ其ノ地ノ所有權ヲ得タルモノト解スヘキナリ

二　薪炭賜牌ト稱スルハ柴場賜牌ト同一ニシテ山地ヲ定給セルモノナリ

【一六六】賣買仲介手數料ニ關スル件

（大正四年九月二十一日京城地方法院長照會同年十月十四日朝樞發第一五〇號政務總監回答）

○要　旨

一　賣買仲介ノ口錢ハ京城ニ於テハ布木ニ付テハ賣主ヨリ代價ノ百分ノ一ヲ支拂ヒ土地家屋ニ在リテハ賣主、買主各代價ノ百分ノ一ヲ支拂フ慣習ナルモ其ノ他ノ物ニ付テハ當事者ノ協定ニ依ル又地方ニ於テハ大抵代價ノ百分ノ一乃至ニノ範圍ニ於テ定マレリ

○照　會

一　賣買仲介ノ手數料額（口錢）ニ付キ當事者間ニ於テ定メナカリシ場合ニハ賣買代金百分ノ二ノ口錢ヲ交付スヘキ慣習アリヤ否ヤ

○回　答

一　賣買仲介ノ口錢ハ京城ニ在リテハ布木ニ付テハ賣主ヨリ代價ノ百分ノ一土地家屋ニ付テハ賣主及買主ヨリ各百分ノ一ヲ支拂フ慣例ナルモ他ノ物品ニ付テハ百分ノ一乃至二ノ間ニ於テ協定スルヲ例トス又他ノ地方ニ在リテハ其ノ額區々ナルモ大抵代價ノ百分ノ一乃至二ノ範圍ニ於テ定マレリ

【一六七】扶養ニ關スル件

（大正四年十一月五日平壤地方法院民事部裁判長照會同年十一月十八日朝樞發第一八五號政務總監回答）

○要　旨

一　妻ガ懷姙中離婚ヲ爲シ分娩後之ヲ連子トシテ改嫁シタル場合ニ於テモ實父ハ其ノ子ニ對シ扶養ノ義務アリ

○照　會

一　婦カ懷姙ノ際離婚ヲ爲シ分娩後之ヲ連子トシテ他ニ結婚シタル場合ニ實父ニ於テ扶養ノ義務アリヤ之ニ對スル慣習

○回　答

一　婦カ懷姙中離婚ヲ爲シ分娩後之ヲ連子トシテ改嫁シタル場合ニ於テモ實父ハ扶養ノ義務アリ

【一六八】遺産相續ニ關スル件

（大正四年十一月二十二日大邱地方法院尙州支廳照會同年十二月二十五日朝樞發第二〇八號政務總監回答）

○要　旨

一　男子ナキ戸主死亡シ一女アリシモ出嫁シ養子ヲ爲サザルトキハ戸主ノ兄弟及其ノ子孫アリト雖其ノ家ハ斷絶シ遺産ハ出嫁女ニ歸シ更ニ祭祀者ニ移スヲ例トス

前項ノ場合ニ於テ亡戸主ノ祭祀ハ出嫁女ノ指定シタル外孫指定ナキトキハ外長孫之ニ當ル

○照　會

一　今ヨリ凡ソ三百年前頃或ル家ノ戸主死亡シ家ニ男子ナク一人娘ハ他家ニ嫁シ四男ヲ擧ケタリ尙他面ニ於テ其ノ戸主ノ兄弟及子其ノ孫アル場合ニ其戸主ノ遺産ヲ相續シ祭祀ヲナス權義ヲ有スル者ハ何人ナルヤ及其ノ順位ニ付キ當時ノ習慣卽チ他家ニ嫁シタル戸主ノ娘先ツ相續シ然ル後其子相續スルヤ或ハ直チニ戸主ノ外孫タル娘ノ子カ遺產相續ヲナシ且ツ祭祀ノ權利義務ノ關係發生スルヤ或ハ外孫相續ストスルモ外長孫カ先ツ當然單獨ニ相續スルヤ或ハ外孫全部ニテ共同相續スルヤ或ハ戸主ノ娘先ツ相續スル場合アリトセハ其ノ指定ニヨリテ相續人定マルコトアリヤ否ヤ或ハ外長孫カ自己ノ家及親族ノ家ノ祭ヲナスコトヲ得サル習慣アリシヤ或ハ外次孫カ其戸主ノ家ノ祭ヲナスノ習慣アリシヤ

○回　答

一　戸主死亡シ家ニ男子ナク一人ノ女子出嫁シ養子ヲ爲ササルトキハ縱令出嫁シタル女ニ男子アリ又亡戸主ノ兄弟及其ノ子孫アリト雖モ其ノ家ハ斷絶シ而シテ此ノ如キ場合ニ於テハ遺產ハ出嫁女ニ歸シ更ニ祭祀者ニ移スヲ例トシ亡戸主ノ祭祀ハ出嫁女ノ指定ニ依リ外孫中之ニ當リシモ特ニ指定ヲ爲ササルトキハ外長孫之ニ當リシモノトス

【一六九】宗山ニ關スル件

（大正四年十一月三十日農商工部長官照會）
（同　年十二月二十四日朝樞發第二〇六號政務總監回答）

○要　旨

一　宗族ノ設墓採草ノ目的ヲ以テ宗家ニ於テ林野ヲ買入レ使用區域ヲ定メ宗族ヲシテ管理セシメ其ノ處分權ガ宗家ニ留保スル例アリ宗族ノ使用セル區域ヲ處分スルニハ宗族ノ協議ヲ經ルコトヲ要ス

○照　會

一　宗族ノ設墓採草等ノ目的ニ依リ宗家ニ於テ林野ヲ買收シ其ノ使用收益ノ區域ヲ定メテ宗族ヲシテ之ヲ管理セシメ處分權ハ宗家之ヲ有ス（京畿道振威郡（元平澤郡）西面地方）

○回　答

一　宗族ノ設墓採草等ノ目的ヲ以テ宗家ニ於テ林野ヲ買入レ其ノ使用收益ノ區域ヲ定メ宗族ヲシテ之ヲ管理セシメ宗家其ノ處分權ヲ有スルコト實例ナキニ非ス但シ宗家ニ於テ宗族ノ使用セル區域ヲ處分スルニ付テハ宗族ノ協議ヲ經ルヲ慣例トス京畿道振威郡西面地方ニ於テモ之ト異リタル慣習ノ存スルコトヲ聞カス

【一七〇】土地所有權移轉ノ方式ニ關スル件

（大正四年十二月三日高等土地調査委員會照會）
（同　年十二月二十五日朝樞發第二〇九號政務總監回答）

○要　旨

一　不動産ノ所有權ヲ移轉スルニハ新文記ニ舊文記ヲ添ヘ授受スルヲ通例トセシモ舊文記ノミノ授受ニ因リ所有權移轉スルコトアリ

○照　會

一　朝鮮ニ於テハ單ニ舊文券ノ授受ノミヲ以テ（卽チ新文券ノ交付ヲ爲サス）直ニ所有權ノ移轉ヲ來ス慣習アリシヤ

○回　答

一　土地所有權ノ移轉ノ方式ニ關スル舊來ノ慣習ハ賣買ノ場合ニアリテハ新ニ文記ヲ作成授受スル例トシ舊文記ノ授受ヲ以テ所有權ノ移轉ノ證トシタリ然レトモ山間僻陬ノ地其ノ他親近ノ間ニ在リテハ單ニ舊文記ノミノ授受ニ因リ所有權ノ移轉ヲ爲シ新文記ヲ作成セサルコト絶無ナリトセス又贈與ノ場合ニ在リテハ單ニ舊文記ノ授受ノミヲ爲シ新文記ヲ作成セサルヲ普通トス故ニ舊文記ノ授受ナキトキハ所有權ノ移轉ナキモノト認ムルコトヲ得ルモ新文記ノ作成授受ナキ一事ヲ以テ所有權ノ移轉ナシト云フコトヲ得ス而シテ交換ノ場合ハ賣買ノ形式ニ依ルヲ例トシタリ

【一七一】賜牌地ニ關スル件

（大正四年十二月九日大邱覆審法院民事第二部裁判長照會）
（同　五年二月二十五日朝樞發第六二號政務總監回答）

○要　旨

一　田土賜牌ノ樣式ハ皆一樣ニシテ田何結ヲ賜フト記スルヲ例トセシモ實際ニ於テハ賜與スベキ土地ナキ場合ハ其ノ結數ニ相當スル結稅ヲ給シタルコトアリ土地ヲ給スル場合ハ普通土地ノ賜牌ト謂ヒ結稅ノミヲ給スル場合ヲ結ノ賜牌ト謂ヘリ

二　結稅ヲ給スル場合ニハ之ヲ無土結賜牌ト稱スル場合ナシ

三　有土賜牌・無土賜牌ノ稱アリ

四　代盡還收ノ規定存セザルモ實際ニ於テハ結稅ヲ給シタル場合ニハ四代ヲ過グレバ之ヲ還收シタルコトアリ

五　賜牌ノ記載ハ土地ノ賜牌ト結ノ賜牌トノ間ニ區別ナシ

六・度支部田賦考中ニハ賜牌ニ付テノ記載例ナシ

○照　會

一　二百餘年前舊韓國皇室ヨリ其各宮ニ下賜セラレタル所謂賜牌ノ種類性質ニ關シ

（一）賜牌ニハ結ノ賜牌ト土地其ノモノノ賜牌アリヤ

（二）結ノ賜牌ニ有土結ノ賜牌ト無土結ノ賜牌アリシヤ其ノ性質如何

（三）有土結賜牌又ハ無土結賜牌ヲ單ニ有土賜牌又ハ無土賜牌トモ稱シ來リシヤ

二　賜牌ノ期限ニ關シ

（一）代盡還收ハ結ノ賜牌ニノミ適用セラレタル慣例ナルヤ

（二）代盡還收ノ適用ノ結果如何

三　舊韓國度支部ノ田賦考中賜牌ニ付テノ記載例ニ關シ

（一）結ノ賜牌ニ關スル場合ニ於ケル記載ノ慣例及文字ノ用例如何

（二）土地其ノモノノ賜牌ニ關シ其ノ土地ノ結數幾何ナルヤヲ示ス場合ニ於ケル記載ノ慣例及文字ノ用例如何

○回　答

一　田土賜牌ノ樣式ハ皆一樣ニシテ特ニ田何結ヲ賜フ旨ヲ記スヲ例トシタリ其ノ趣旨ハ土地ヲ賜與スルニ在ルモ事實ニ於テハ賜與スヘキ土地ナキ場合ニ其ノ結數ニ相當スル結稅額ヲ給シタルコトアリ其ノ土地ヲ受ケル場合ヲ普通ニ土地ノ賜牌ト稱シ結稅ヲ受クル場合ヲ結ノ賜牌ト稱シタリ

二　結稅ヲ給スル場合ニハ土地ヲ折給スルコトナキヲ以テ之ヲ無土結賜牌ト稱スルコトアルモ有土結賜牌ト稱スル場合ナシ

三　有土結賜牌又ハ無土結賜牌ト云フハ有土賜牌又ハ無土賜牌ノコトナルヘシ

四　代盡還收ノ規定ハ存セス然レトモ實際ニ於テ結稅ヲ給シタル場合ニハ四代ヲ過クレハ之ヲ還收シタルコトアリ而シテ還收ノ結果以後其支給ヲ受ケサルモノナルコト言ヲ俟タス

五　總テ賜牌ハ特ニ田何結ヲ賜フ旨ヲ記スモノニシテ土地ノ賜牌ト結ノ賜牌トノ間ニ區別ナキコト前示ノ如シ

【一七二】小作權ニ關スル件（大正四年十二月十四日京城地方法院長照會同年十二月二十八日朝樞發第二一九號政務總監回答）

○要　旨

一　內需司所管ノ未墾地ヲ築堰起墾シ收益ノ幾分ヲ小作料トシテ納付シ耕作權ヲ得，耕作者ニ於テ任意ニ其ノ權利ヲ處分シ得タリトセバ其ノ權利ハ慣習上物權的效力ヲ有シタルモノトス

二　前項ノ場合ニ於テハ新所有者ハ地稅ノ增加ヲ理由トシテ小作料ヲ增加スルコトヲ得ズ

從前ノ慣習ニ於テ前項ノ耕作權ハ善意ノ新所有者ト雖之ヲ否認スルコトヲ得ズ

○照　會

一　京畿道坡州郡（舊交河郡）炭縣面舊韓國內需司所管數百石落ノ未墾地ヲ其ノ附近住民數百名カ各自投資シテ築堰開墾ヲ爲シ其ノ得タル收益ノ十分ノ一ノ小作料ヲ契約上支拂ヒ耕作スル權利ヲ取得シテ今日ニ至リ且ツ地主ノ承諾ヲ要セスシテ其ノ耕作ヲ爲ス權利ヲ讓渡若クハ賃貸又ハ抵當ニ供スルコトヲ得タリ而シテ今ヲ距ル十餘年前右開墾セラレタリシ土地ハ一私人ノ所有ニ歸シ爾來私人間ニ該土地ヲ轉々賣買セラレタル事實アルモ各其ノ開墾耕作者ノ權利ハ從前ノ如ク享有シ來リタルノミナラス其ノ承繼者タル新地主等モ各其ノ開墾耕作者カ前示ノ如キ權利ヲ享有シ居ル事實ヲ知リ居タリ

（一）前示ノ如キ場合ニ於テ各其ノ開墾耕作者又ハ其ノ承繼者ノ權利ハ永小作權ナリト解スルヲ得ルヤ

（二）前示ノ如キ場合ニ於テ各其ノ開墾耕作者ノ權利ハ永小作權トシテ設定シタルモノト同一視スルコトヲ得ルヤ

（三）前示ノ如キ場合ニ於テ其ノ承繼者タル新地主ハ國稅增加ノ理由ヲ以テ其ノ舊地主及各其ノ開墾耕作者間ニ於テ既ニ契約上一定セラレタル小作料ヲ單獨ノ意思ヲ以テ增加セシムル權利アリヤ

二　若シ又新地主ニ於テ右耕作者カ前示ノ如キ權利ヲ有スル事實ヲ知ラスシテ該土地ヲ買受ケタルトキハ耕作者ハ新地主ニ對シテ之ヲ永小作權ナリトシテ對抗シ得サルヤ

○回　答

一　內需司所管ノ未墾地ヲ附近住民カ各自投資シテ築堰起墾シ收益ノ幾分ヲ小作料トシテ納付シ耕作權ヲ得且該司ノ許諾ヲ要セスシテ權利ヲ讓渡シ及土地ヲ賃貸又ハ抵當ニ供スルコトヲ得タリトセハ其ノ權利ハ從前ノ慣習ニ於テハ物權的效力ヲ有シ土地ノ所有者ニ變更アルモ之ニ對抗スルコトヲ得タルモノトス而シテ之ヲ民法ニ規定セル永小作權ト視ルヤ否ヤハ自ラ法令ノ解釋ニ屬ス

二　前項ノ場合ニ於テハ新所有者ハ地稅ノ增加ヲ理由トシ小作料ヲ增額スルコトヲ

得ス又新所有者カ小作人ノ權利ヲ了知セスシテ之ヲ買受ケタリトスルモ從前ノ慣習ニ於テハ耕作者ノ權利ヲ否認スルコトヲ得サリシモノトス

【一七三】祖先ノ墓地及相續ニ關スル件

（大正四年十二月十三日公州地方法院長代理照會）
（同　年十二月二十八日朝樞發第二一八號政務總監回答）

○要　旨

一　宗山ヲ賣却スルニハ宗支孫ノ協議ヲ要ス

二　戶主ノ長男相續開始前ニ死亡シ其ノ長子モ亦婚姻後子ナクシテ死亡シ次子亦夭折シ三男ト戶主ノ次男以下ノ者トアル場合ニ於テハ亡長子ノ三男戶主ヲ相續ス

三　戶主ノ長子ガ財產ノ分與ヲ受ケ別居シテ獨立ノ生活ヲ爲スコト久シキニ亘ルトキト雖相續權ヲ失フコトナシ

○照　會

一　舊韓國時代ニ於テ朝鮮人ハ門長宗孫ノ協議ノミニテ先祖ノ墳墓ノ地（宗山）ヲ賣却シ得ル慣習ノ有無

二　戶主某ハ三度妻ヲ迎ヘ第一妻トノ間ニ甲長男ヲ儲ク甲ハ其ノ妻（今尙生存）トノ間ニ乙丙丁ノ三男子ヲ儲ケタリ距今十七年前甲死亡シタル後甲ノ長男乙ハ妻ヲ迎ヘ（乙ノ妻ハ既ニ改嫁シ今日生存）子無クシテ死亡セリ甲ノ次男丙ハ夭折甲ノ三男丁（本年二十三歲卽チ訴訟ノ當事者）健在ス

戶主ノ第三妻ハ今尙生存戶主トノ間ニ戊男（本年十九歲卽チ訴訟ノ當事者）以下男女數人ヲ儲ケタリ

然ルニ右戶主某ハ大正四年九月死亡シタリ此ノ場合ニ於テ何人カ相續權ヲ有スヘキヤ丁若クハ戊ノ相續權ノ有無

三　戶主ノ長男カ戶主ヨリ財產ノ分與ヲ受ケ別家シ二十年ノ長日月ニ亙リタリ家政ヲ全然異ニシ別個ノ獨立經濟ヲ保持シ居タル事實アリタル場合ニ於テ右長男ハ相續權ヲ失フヘキヤ但右戶主ハ長男ト別家中第二ノ妻ヲ迎ヘ男子ヲ儲ケタリ

○回　答

一　朝鮮ノ慣習ニテハ門長及宗孫ノ協議ノミヲ以テ祖先ノ墓地（宗山）ヲ賣却スルコトヲ得ス宗支孫ノ協議ヲ經ルコトヲ要ス

二　戶主三度妻ヲ迎ヘ第一妻トノ間ニ長子甲ヲ儲ケ甲ハ其ノ妻トノ間ニ乙丙丁ノ三子ヲ儲ケ甲ノ死亡後乙ハ妻ヲ迎ヘ子ナクシテ死亡シ乙ノ妻ハ改嫁シ丙ハ夭折シ丁ハ存在シ又戶主ト第三妻トノ間ニ男女數人ノ子ヲ儲クルモ戶主ノ相續權ハ丁之ヲ有ス

三　戶主ノ長子ハ縱令財產ノ分與ヲ受ケ別居シテ獨立ノ生活ヲ爲スコト久シキニ亙ルモ之カ爲ニ其ノ相續權ヲ失フコトナシ

【一七四】同事ノ客主營業者ニ關スル件

（大正四年十二月十八日平壤地方法院照會）
（同五年一月十三日朝樞發第一二號政務總監回答）

○要　旨

一　客主が顧客ヨリ商品購入ノ爲金錢ノ寄託ヲ受クルハ其ノ營業ノ範圍ニ屬ス

二　同事組織ノ客主ニ於テ同事員ノ一人ガ顧客ヨリ送付シ來レル金錢ヲ消費シタルトキハ各同事員ハ之ヲ分擔賠償スル責任アリ若同事員中履行不能ノ者アルトキハ其ノ者ノ負擔部分ハ他ノ者ニ於テ分擔スルモノトス

○照　會

一　客主營業ヲ爲ス者カ顧客ヨリ商品購入（商品購入トハ顧客ノ指定ナク客主ノ意思ニ依リ適當ノモノヲ買入レルモノヲ云フ）ノ爲金錢ノ消費寄託ヲ受ケタル行爲ハ客主營業ノ部類ニ屬スルヤ否ヤ

二　數人カ同事ノ客主營業ヲ爲ス場合ニ顧客カ從來其ノ客主營業者ト商取引ヲ爲シタル處顧客カ第一問ニ表示セル依賴ヲ爲ス爲メ金員ヲ其ノ客主營業者ニ送付シ來リタルヲ客主營業者ノ一人カ之ヲ橫領消費シタル場合ニ他ノ同事營業者ハ之ヲ返還スヘキ連帶責任アリヤ否ヤ

右ニ關スル一般慣習及平安南道ニ於ケル地方慣習

○回　答

一　客主カ顧客ヨリ商品購入ノ爲金錢ノ寄託ヲ受クルハ其ノ營業ノ範圍ニ屬ス

二　同事組織ノ客主ニ對シ商品購入ノ爲顧客ヨリ送付シ來リタル金錢ヲ同事員ノ一人カ消費シタル場合ニハ各同事員平等ニ分擔シテ之ヲ賠償スル責任アリ若シ資力ナク或ハ所在不明等ノ爲履行ヲ爲ササル者アルトキハ殘餘ノ者ニ於テ分擔スヘキ慣例ニシテ連帶ノ關係ヲ認メス

平安南道ニ於テモ之ト異ル慣習ノ存スルコトヲ聞カス

【一七五】加捧子ノ養育料請求ニ關スル件

（大正五年一月十五日平壤地方法院裁判長照會）
（同　年二月二日朝樞發第四〇號政務總監回答）

○要　旨

一　妻ノ先夫ノ子ヲ任意ニ養育シタル場合ハ其ノ實父ニ對シ過去ノ養育料ヲ請求スルコトヲ得ズ

○照　會

一　朝鮮ニ於テ連子ヲ爲シタル女ノ夫カ其ノ子ノ實父ト特約ヲ爲サス連子ヲ養育シタル場合ニ右夫ヨリ其ノ實父ニ對シ過去ノ養育料ヲ請求シ得ヘキ慣習アリヤ

○回　答

一　妻ノ先夫ノ子ヲ任意ニ同居セシメ之ヲ養育シタル場合ニ於テハ慣習上其ノ子ノ實父ニ對シ過去ノ養育料ヲ請求スルコトヲ得ス

【一七六】寡婦ノ再嫁及庶子相續ニ關スル件

（大正五年二月一日京城覆審法院民事第二部裁判長照會）
（同　年二月十二日朝樞發第四九號政務總監回答）

○要　旨

一　李氏開國五百三年六月以後ハ寡婦ノ再嫁ハ自由ナリ

二　庶子ガ家ヲ繼グニハ祠堂ニ告グル例アリ之ヲ承嫡ト謂フモ必要ナル手續ニハ非ズ

三　未成年ノ庶子ガ家ヲ繼ギ其ノ家ニ嫡母ナキトキハ家ニ在ル生母親權ヲ行フ

○照　會

一　寡婦ハ嫁シテ妻ト爲ルコトヲ得ル慣習ナルヤ

二　庶出ノ男子ハ嫡出子無キトキ家督相續ヲ爲スコトヲ得ルヤ

右相續ニ付キテハ何等ノ手續ヲ要セサルヤ

三　家督相續ヲ爲シタル庶子カ未成年者ニシテ且家ニ嫡母無キ場合ニ於テ其生母ハ親權ヲ行フコトヲ得ルヤ

○回　答

一　李氏開國五百三年マテハ再嫁ヲ禁シタリシモ同年六月ノ議案ニ於テ其ノ禁ヲ解キシ以後再嫁ハ自由トナレリ

二　庶子カ家ヲ繼クニハ祠堂ニ告クル慣例アリ之ヲ承嫡ト云フモ敢テ必要ナル手續ニ非ス隨テ庶子ノ相續ニハ特別ノ手續ヲ要セス

三　未成年者タル庶子カ家ヲ繼キタル後其ノ家ニ嫡母ナキトキハ家ニ在ル生母親權ヲ行フモノトス

【一七七】親權ニ關スル件

（大正五年一月二十五日公州地方法院裁判長照會）
（同　年二月十六日朝樞發第五二號政務總監回答）

○要　旨

一　嫡母及生母ト家ヲ同フスル庶子ノ親權者ハ嫡母ナリ

二　家ヲ同フスルトハ同一家籍ニ在ルノ謂ナリ

○照　會

一　家族タル庶子ニ嫡母及生母アリ共ニ同一家ニ在ル場合ニ於テ庶子ノ親權者ハ嫡母ナルヤ生母ナルヤ

二　同一家ニ在ルトハ民籍簿ニ依リテ決スヘキカ又ハ同居ナル實際ノ事實ニ基ツキ決スヘキカ

○回　答

一　嫡母及生母ト家ヲ同シウスル庶子ノ親權者ハ嫡母ナリ

二　家ヲ同シウスルトハ同一家籍ニ在ルノ謂ニシテ此場合ニハ同一民籍ニ在ルヘキモノトス

【一七八】養子ノ離緣及離婚ニ關スル件

（大正五年一月二十五日公州地方法院裁判長照會）
（同　年二月十六日朝樞發第五三號政務總監回答）

○要　旨

一　養子ガ戶主トナリタル後ニ於テモ浪費ヲ爲シ家産ヲ危クスル虞アル場合、家名ヲ汚スベキ重大ナル罪ヲ犯シタル場合、不孝ノ甚シキ場合等ニハ離緣ヲ爲スコトヲ得

二　協議上ノ離婚又ハ離緣ヲ爲ス場合ニハ父母又ハ戶主ノ同意ヲ要スルノ外何等ノ手續ナシ

○照　會

一　戶主ノ死亡後養子トシテ入家シ民籍簿上既ニ戶主トシテ登錄セラレタルモノハ絕對ニ離緣ヲ許スヘカラサルヤ

二　離婚若クハ離緣ハ當事者合意ノ契約ニ因リ卽時其ノ效果ヲ發生スルモノト看做スヘキヤ或ハ右契約以外ニ一方ノ去家若クハ他ノ條件ヲ具備スルコトヲ要スルヤ

○回　答

一　戶主死亡後養子トナリ戶主トナレル者ト雖浪費ヲ爲シ家産ヲ危クスル虞アル場合、家名ヲ汚スヘキ重大ナル罪ヲ犯シタル場合、若クハ不孝ノ甚シキ場合等ニハ離緣ヲ爲スコトヲ得

二　協議ニ因ル離婚若ハ離緣ノ場合ニハ父母又ハ戶主ノ同意ヲ要スル外何等慣習上ノ手續ナシ

【一七九】遺產處分ニ關スル件

（大正五年三月十日內務部長官照會）
（同　年四月六日朝樞發第一〇五號中樞院書記官長回答）

○要　旨

一　相續人不明ノ行旅死亡者ノ遺留品ハ死亡地ノ里ニ於テ埋葬費・祭祀費ニ當テ相續人ナキコト分明トナリタルトキハ殘餘ハ里有ニ歸ス

二　相續人曠缺ノ場合ニ於ケル遺産ハ近親族ノ有ニ歸シ近親族ナキ場合ハ親族協議ノ上歸屬者ヲ定ム親族ナキトキハ里有ニ歸ス

○照　會

一　相續權利者又ハ受遺者等ノ有無判明セサル行旅死亡人ノ遺留金品處分ニ關スル慣例

二　相續人曠缺ノ場合ニ於ケル遺產處分ニ關スル慣例

○回　答

一　相續人又ハ受遺者ノ有無判明セサル行旅死亡者ノ遺留品ハ死亡シタル里ニ於テ之ヲ其ノ者ノ埋葬費ニ充テ殘餘ハ里ノ財產ト共ニ管理シ每年ノ祭祀費ニ充テ相續人又ハ受遺者ノ出テサルコト分明トナリタルトキハ里有ニ歸ス

二　相續人曠缺ノ場合ニ於ケル遺產ハ近親ノ有ニ歸シ近親ナキトキハ親族協議ノ上歸屬者ヲ定メ若シ親族ナキトキハ里有ニ歸ス

【一八〇】漢城府尹ノ立旨ニ關スル件

（大正五年三月二十三日農商工部山林課照會
同　年四月十二日朝樞發第一〇九號中樞院回答）

○要　旨

一　同一土地ニ付キ漢城府尹ノ與ヘタル立旨ト所轄觀察使又ハ郡守ノ與ヘタル立旨ト抵觸スル場合ニハ觀察使又ハ郡守ノ與ヘタル立旨ヲ以テ眞正ノモノトス

○照　會

一　漢城府尹ハ其ノ所轄外ノ土地ニ對シテ證明（立旨等）ヲ與フルコトヲ得シモノナルヤ

二　若シ與ヘ得トセハ當該觀察使及郡守等ノ與ヘタル證明ト符合セサルコト可有之（漢城府尹ハ實地ヲ知ラスシテ證明セルモノナルカ故ニ）右ノ場合ニハ何レノ證明ヲ眞ナリトスルヤ

○回　答

一　從前漢城府尹ハ其ノ所轄外ノ土地ニ對シ立旨（證明）ヲ與ヘタル事例アリタルモ素ヨリ越權ノ處分ナリ隨テ右立旨ト當該觀察使又ハ郡守ノ與ヘタル立旨ト符合セサルトキハ當該觀察使又ハ郡守ノ與ヘタル立旨ヲ眞正ノモノトス　ヘキコト勿論トス

【一八一】親權ニ關スル件（大正五年三月十八日平壤地方法院新義州支廳裁判長照會）（同年四月十四日朝樞發第一一六號政務總監回答）

○要　旨

一　親權者ガ親權ヲ濫用シ若ハ不行跡ノ行爲アルトキト雖財産ノ管理以外ニ於テハ親權ヲ制限シ若ハ之ヲ褫奪スルコトヲ得ズ

○照　會

一　朝鮮人タル親權者カ親權ヲ濫用シ若ハ著シク不行跡ヲ爲シ或ハ子ノ財産ヲ危クシタルトキハ親權ノ全部又ハ一部ヲ褫奪スル慣習アリヤ有リトセハ其ノ手續

○回　答

一　朝鮮人タル親權者カ親權ヲ濫用シ若クハ著シク不行跡ヲ爲シ子ノ財産ヲ危クシタルトキハ其ノ管理權ヲ制限シ得ルコトハ慣習ノ認ムル所ナルモ財産ノ管理以外ニ於テハ親權ニ制限ヲ加ヘ若クハ之ヲ褫奪スルコトヲ得ス

【一八二】養子選定ニ關スル件（大正五年三月十七日平壤地方法院定州支廳照會）（同年四月十四日朝樞發第一一七號政務總監回答）

○要　旨

一　戸主死亡シ其ノ妻及亡戸主ノ父ノ妾アル場合ニ於テハ亡戸主ノ妻ニ於テ養子ヲ選定スベキモノトス

二　分家ノ子ヲ本家ノ養子ト爲ス場合ニハ長子ト雖妨ゲナシ

○照　會

一　玆ニ甲戸主、同人妻乙、甲戸主ノ亡父ノ妾丙ノ三人アリタルニ甲戸主死亡シタル場合ニ養子ノ選定權ヲ有スルモノハ甲戸主ノ妻乙ナリヤ將又甲戸主ノ亡父ノ妾丙ナリヤ

二　右ノ場合ニ慣習上亡戸主ノ妻乙ニ養子選定權アリトシテ同人カ亡戸主ト六寸ノ關係アルモノノ長男丁ヲ選定スルコトヲ得ルヤ換言セハ長男ハ他家ノ養子タルコトヲ得ルヤ

○回　答

一　戸主ノ妻及戸主ノ亡父ノ妾アル場合ニ戸主死亡シタルトキハ其ノ妻ニ於テ養子ヲ選定スヘキモノトス

二　普通ノ場合ニハ他家ノ長子ヲ養子ト爲スコトヲ得サルモ分家ノ子ヲ本家ノ養子ト爲ス場合ニハ長子ナルトキト雖妨ナシ

【一八三】典當權ニ關スル件（大正五年二月二十五日平壤覆審法院民事部裁判長照會同年四月十九日朝樞發第一二三號政務總監回答）

○要　旨

一　不動産ノ典當權設定ニハ舊文券ノ授受ヲ必要トス

○照　會

一　朝鮮ニ於ケル從來ノ慣習上舊文券ノ授受ナキニ於テハ不動産（土地）ノ典當權ハ成立セサルヤ否ヤ

ニ　右典當權ニ付キ舊文券ノ授受ノ有無ハ第三者ニ對スル對抗力ニ付キ差異アリヤ否ヤ

○回　答

一　從前ノ慣習ニ於テハ土地ノ典當權設定ニ舊文券ノ授受ヲ必要トシ典當權ハ當然第三者ニ對抗スルヲ得ルモノトシタリ故ニ之カ授受ナキトキハ典當權ハ成立セス隨テ第三者ニ對抗スルコトヲ得サリシコト勿論トス

【一八四】田畓ノ賣買ノ場合ニ於ケル作物ノ歸屬ニ關スル件（大正五年四月四日京城地方法院長照會同年四月二十六日朝樞發第一三二號政務總監回答）

○要　旨

一　收穫前ニ賣買シタル田畓ノ作物ハ特約ナキ限リ白露前ナルトキハ買主ノ所有ニ歸シ白露後ナルトキハ賣主ノ所有ニ歸ス

○照　會

一　收穫前賣買シタル田畓ニ付其ノ作物ハ特約ナキ場合ニ於テハ白露ノ前後ニヨリ其ノ作物ノ所有權ノ歸屬ヲ異ニスル慣習アリヤ

○回　答

一　收穫前賣買シタル田畓ノ作物ニ付明示又ハ暗默ノ間ニ特別ノ契約ヲ爲シタルモノト解スルヲ得サル場合ニ於テハ白露前ナルトキハ買主ノ所有ニ歸シ白露後ナルトキハ賣主ノ所有ニ歸スル慣習ナリ

【一八五】慣習上ノ代理人ニ關スル件（大正五年五月十二日土木局長照會同年五月十六日朝樞發第一四四號中樞院書記官長回答）

○要　旨

一　祖父タル戸主ト實母トヲ有スル未成年者ノ行爲ニ付テハ慣習上祖父ニ於テ代理ス

○照　會

一　朝鮮人未成年者（滿十一歳）所有土地ヲ買收セントス賣買ニ關シテハ民法ノ各條項ニ據ルヘキモ朝鮮民事令ニ依レハ朝鮮人ノ能力、親族及相續ニ關シテハ慣習ニ依ル旨ヲ規定セリ

本件所有者ノ一家ハ戸主タル祖父、實母（父死亡）現存セリ此場合ニ於テ親權者又ハ後見人ノ職務ヲ行フヘキ者ハ如何ナル名稱ノ下ニ祖父之ヲ行フヘキモノナルヤ將又母之ヲ行フヘキモノナルヤ

○回　答

一　問合ノ場合ニ於テハ祖父ハ慣習上ノ代理人トシテ孫ノ行爲ヲ代理スルモノトス

【一八六】宗家相續ニ關スル件（大正五年四月二十五日大邱地方法院合議部裁判長照會同年六月七日朝樞發第一七〇號政務總監回答）

○要　旨

一、二　宗孫絶後ノ場合ニ於テハ其ノ次宗孫ニ於テ祭祀ヲ承繼シ其ノ次宗孫モ亦絶後トナリタルトキハ順次次弟ニ於テ宗家ヲ相續ス

三　宗家ヨリ出デテ他家ノ養子トナリタル者ハ生家絶後ノ場合ト雖離緣復歸シタル後ニ非ザレバ其ノ家ヲ相續スルコトヲ得ズ

四　生養家奉祀トハ他家ノ養子トナリタル者ガ養家ノ祭祀相續ヲ爲スト同時ニ事實上生家ノ祭祀ヲ行フ場合ヲ謂フ

○照　會

一　宗孫絶後ノ場合ニ於テハ其ノ次宗孫ニ於テ宗家ノ祭祀相續ヲ爲シ其ノ墳墓ヲ守護奉祀スル慣例ナルヤ否ヤ

二　次宗孫ニ於テ若シ宗孫家ノ祭祀相續ヲ爲スヘキ慣例アリトシテ之カ相續ヲ爲シタル場合其ノ次宗孫モ亦絶後トナリタルトキハ順次其次弟ニ於テ宗家ノ祭祀相續ヲ爲シ其墳墓ヲ守護奉祀スルノ慣例ナリヤ否ヤ

三　宗家ヨリ出テテ他家ノ養子トナリタルモノハ宗家絶後ノ場合ニ於テ生家タル宗家ヲ相續シテ其ノ墳墓ヲ奉祀スルノ慣例アリヤ否ヤ

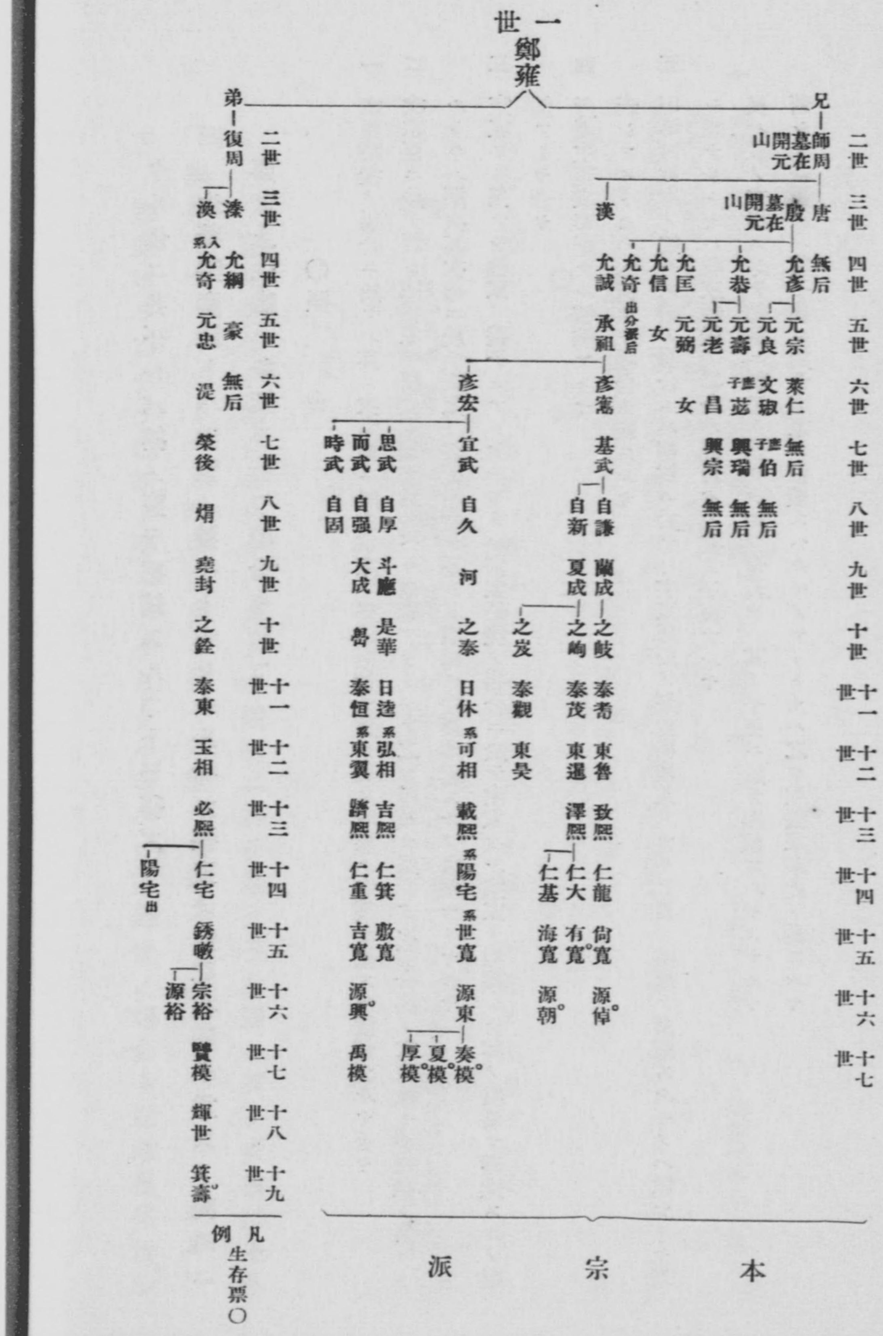
四　所謂生養家奉祀ナル慣例アリヤ

若シアリトセハ如何ナル場合ヲ稱スルヤ

五　甲第四號證ノ如キ系譜ノ場合ニハ朝鮮ニ於テハ宗家師周ノ祭祀相續人トナリテ其ノ墳墓ヲ奉祀スルモノハ殷ナリヤ若シ殷ナリトセハ殷家絶後ノ場合ハ漢若クハ其ノ子孫ナルヤ

又ハ殷ノ末男ニシテ他家ニ養子ト爲リタル允奇若クハ其ノ子孫ニ於テ相續スルモノナルヤ

若シ允奇若クハ其子孫ニ於テ宗家ヲ相續スヘキモノナリトセハ之ヲ生養家奉祀ト稱スルヤ



〇回　答

一、二　宗孫絕後ノ場合ニ於テハ其ノ次宗孫ニ於テ宗家ノ祭祀相續ヲ爲シ次宗孫モ亦絕後トナリタルトキハ順次其ノ次第ニ依リ宗家ノ相續ヲ爲スコトヲ得而シテ相續ヲ爲シタル者ハ當然其ノ家ノ墳墓ヲ守護シ及祖先ノ祭祀ヲ行フヘキモノトス

三　宗家ヨリ出テテ他家ノ養子トナリタル者ハ生家絕後ノ場合ト雖離緣復歸シタル後ニ非サレハ其ノ家ノ相續ヲ爲スコトヲ得ス

四　生養家奉祀トハ他家ニ養子トナリタル者カ養家ノ祭祀相續ヲ爲スト同時ニ事實生家ノ祭祀ヲ行フ場合ヲ云フ

五　甲第四號證ノ如キ場合ニ於テ宗家師周ノ祭祀相續人トナルヘキ者ハ殷ニシテ殷絕後ノ場合ニハ漢若クハ其ノ子孫ナリ

【一八七】未婚者ノ分家ニ關スル件（大正五年五月六日公州地方法院裁判長照會同年六月七日朝福發第一七一號政務總監回答）

〇要　旨

一　成年既婚ノ男子ニ非ザレバ分家ヲ爲スコトヲ得ズ但シ庶子ハ未婚未成年ノ

モノト雖父ノ死後ハ生母ト共ニ分家ヲ爲スコトヲ得

○照　會

一　朝鮮ニ於テハ長子以外ノ男子ト雖モ未婚ノ未成年者ハ絕對ニ分家ヲ爲シ得サル慣習ナリヤ將又長子以外ノ庶子ハ未婚未成年ナルニ拘ラス父ノ死亡後其生母ト共ニ分家ヲ爲シ得ルノ慣習アリヤ

○回　答

一　朝鮮ノ慣習ニ於テハ成年既婚ノ男子ニ非サレハ分家ヲ爲スコトヲ得サル慣例ナルモ庶子（長庶子ヲ除ク）ハ未婚未成年ナルニ拘ラス父ノ死亡後ハ生母ト共ニ分家ヲ爲スコトヲ得ヘシ

【一八八】作百契ニ關スル件

（大正五年五月二十六日京城地方法院長照會同　年六月十五日朝樞發第一七九號政務總監回答）

○要　旨

一　作百契ノ貸金ハ其ノ經營者ノ貸金ニシテ其ノ返還請求ハ經營者ニ於テ爲スベキモノトス

作百契ハ富籤類似ノモノニシテ公安上認容スベカラザル慣習ナリ

○照　會

一　作百契ニ於テ金員ヲ貸付シタル場合ニ其ノ契ノ業務執行者（任員）ヨリ其ノ返還ヲ請求シ得ヘキ慣習アリヤ否ヤ

○回　答

一　作百契ニ於テ金員ヲ貸付ケタル場合ハ其ノ經營者（普通任員ト稱ス）ノ貸金ニシテ其ノ返還ヲ請求スルニハ經營者ヨリ之ヲ爲スヘキモノトス但シ作百契ト稱スルハ富籤類似ノモノニシテ公安上認容スヘカラサル慣習ナリ

【一八九】洑敷地ノ所有者ニ關スル件

（大正五年五月二日大邱覆審法院民事第二部裁判長照會同　年六月十五日朝樞發第一八〇號政務總監回答）

○要　旨

一　洑ノ敷地ハ常ニ洑所有者ノ所有ナリト謂フコトヲ得ズ

○照　會

一　朝鮮全土ニ於ケル洑ニ關スル古來ヨリノ慣習上洑ノ所有者ハ當然洑敷地ノ所有權ヲ有スルモノナリヤ否ヤ

二　右ニ反シ洑ノ所有者ニシテ洑敷地ノ所有權ヲ有セサル場合アリヤ否ヤ

三　若シ全羅北道地方ニ於ケル洑ノ所有權ニ關スル特別ノ慣習アラハ其慣習

○回　答

一　沢ヲ築造スルニハ水路ニ必要ナル土地ヲ買受ケ又ハ借受ケ若クハ官ノ許可ヲ得テ國有地ヲ使用スル例ナリシヲ以テ沢ノ所有者カ常ニ其ノ敷地ノ所有者ナリト云フコトヲ得ス唯其ノ敷地ヲ買取リタル場合ニ於テノミ所有權ヲ有スルモノトスシ

右ハ全羅北道地方ニ於テモ異ナル所ナシ

【一九〇】婚幣錢返還請求ニ關スル件

（大正五年六月十五日平壤地方法院定州支廳照會同年八月八日朝樞發第二二三號政務總監回答）

○要　旨

一　弟ノ爲ニ女家ニ對シ婚幣金ヲ贈リ女子ガ相當年齡ニ達スルヲ待チ婚姻セシムルコトヲ約シタル後弟死亡シタルトキハ兄ハ婚幣金ノ返還ヲ請求シ得ルヤニ付テハ定マリタル慣習ナシ

○照　會

一　玆ニ甲男（十八歲）ノ兄乙カ婚幣金三十五圓ヲ將來妻トナルヘキモノノ家（妻ト爲ルヘキモノハ當時八歲ノ幼者ニシテ相當年齡ニ至リ結婚式ヲ擧クル約ナリ）ニ贈リ夫トナルヘキ甲男ハ妻ノ家ニ一、二ケ月間起臥シ農事手傳中死亡シタル場合ニ乙ハ右婚幣金返還請求ヲ爲スコトヲ得ルヤ

○回　答

一　將來弟ノ妻トナルヘキ者（當時八年ノ女子）ノ家ニ婚幣錢ヲ贈リ相當年齡ニ至ラハ結婚式ヲ擧クルコトヲ約シ其ノ夫トナルヘキ者女家ニ一・二箇月間起臥シ農事手傳中死亡シタル場合ニ其ノ兄ヨリ婚幣錢返還ノ請求ヲ爲シ得ルヤ否ヤニ付テハ一定ノ慣習ナシ

【一九一】完文ノ字義ニ關スル件

（大正五年七月十一日農商工部長官照會同年八月十六日朝樞發第二二九號中樞院書記官長回答）

○要　旨

一　完文記載ノ四標中「九峰山下」トハ其ノ山ノ下ヲ指セルモノニシテ山ノ全體又ハ中腹等マデヲ謂フモノニ非ズ

○照　會

一　東自九峰山下、至露積峰
西至雪蘿山
南自樓巖下、至男妹峰
北自坊峴、至唐洞峴
（光緒八年壬午十一月　日完文）

○回　答

一　完文記載ノ四標中「九峰山下」トハ其ノ山ノ下ヲ指セルモノニシテ山ノ全體又ハ中腹等マテヲ謂フモノニ非ス

【一九二】墓地及案山ノ所有權ニ關スル件

（大正五年八月十九日高等土地調査委員會委員長照會）
（同　年九月二日朝樞發第二四二號中樞院議長回答）

○要　旨

一　**隆熙以前ニ於テハ墳墓ヲ設ケタル地ガ無主山ナル場合ニ限リ禁養ノ事實ニ因リ其ノ所有權ヲ取得ス案山ニ付テハ此ノ如キ慣習ナシ**

○照　會

一　墓地及案山ノ設定ハ其ノ設定者ニ於テ所有權ヲ取得スル舊慣アリヤ否ヤ

○回　答

一　隆熙以前ニ於テハ墳墓ヲ設ケタル場合ニ其ノ土地カ無主山ナルトキニ限リ禁養ノ事實ニ因リ自然該設墓者ノ所有ニ歸スル慣例ナリシモ案山ニ付テハ此ノ如キ慣習ナシ

【一九三】社還米倉庫敷地ニ關スル件

（大正五年七月二十五日高等土地調査委員會委員長照會）
（同　年九月二日朝樞發第二四三號中樞院議長回答）

○要　旨

一　**隆熙二年一月當時ニ於ケル社還米倉庫ノ敷地ニハ國有・面有又ハ里有ノモノアリ觀察使ハ自由ニ之ヲ處分スルノ權限ヲ有セザリシモノトス**

○照　會

一　隆熙二年一月當時ニ於テ社還米倉庫敷地ノ所有權ハ何人ニ屬シタルヤ又觀察使ハ自由ニ之ヲ處分スルノ權限ヲ有シタルヤ

○回　答

一　隆熙二年一月當時ニ於ケル社還米倉庫ノ敷地ニハ國有ノモノ及面有又ハ里有ノモノアリ區々ニシテ一定セス而シテ觀察使ハ自由ニ之ヲ處分スルノ權限ヲ有セサリシモノトス

【一九四】郡守ノ權限ニ關スル件

（大正五年九月八日高等土地調査委員會委員長照會）
（同年九月二十一日朝樞發第二五八號中樞院議長回答）

○要　旨

一　光武九年頃ニ於テハ郡守ハ官有地又ハ國有地ヲ處分スルノ權限ヲ有セザリシモノトス

○照　會

一　光武九年丙午六月頃ニ於テハ郡守ニ於テ官有地又ハ國有地ヲ賣買讓與又ハ拂下ヲ（單獨行爲ヲ以テ）爲ス權限アリシヤ否ヤ

○回　答

一　光武九年頃ニ於テハ郡守ハ官有地又ハ國有地ノ處分ヲ專行スルコトヲ得サリシモノトス

【一九五】庶子及養子相續ニ關スル件

（大正五年六月十日京城地方法院長照會）
（同年九月二十二日朝樞發第二五九號政務總監回答）

○要　旨

一　庶子ノミヲ有スル戶主養子ヲ爲サズシテ死亡シタルトキハ其ノ庶子ニ於テ相續スルヲ本則トスト雖一部ノ社會ニハ亡戶主ノ妻ガ亡夫ノ爲養子ヲ爲シ相續セシムル慣習存ス

大宗家ニ於テハ門會ハ亡戶主ノ妻ノ意思ニ反シテ養子ヲ選定スルコトヲ得ル慣習アリ

養子ト爲スベキ者ニ付亡戶主ノ妻ト門會ガ意見ヲ異ニスルトキハ亡戶主ノ妻ノ意見ニ從フベキモノトス

二　庶子ノミアリテ既婚ニシテ死亡シ次デ戶主亦死亡シタル場合ニ於テハ亡戶主又ハ亡庶子ノ爲養子ヲ爲スハ慣習上妨ゲザル所ナリ庶子ヲ一代ニ數ヘ其ノ

養子ヲシテ承重相續ヲ爲サシムルト否トハ亡戸主ノ妻及門會ノ意見ニ依ルモノトス

前項ノ場合ニ於テ亡戸主及亡庶子ノ養子ヲ選定スル者ハ其ノ妻及門會ナリ

三　妻ノ死亡後妾ヲ以テ妻トスルコトヲ認メザリシガ近來之ヲ認ムルニ至レリ

妾ガ妻トナリタルトキハ妾タルトキニ生ミタル子ハ父母ノ婚姻ノ日ヨリ嫡子タル身分ヲ取得シ大宗家ト否トニ因リ異ルコトナシ

○照　會

一　庶出ノ男子ノミヲ有シ嫡出ノ男子ナキ父(戸主)カ養子ヲ爲サスシテ死亡シタル場合ニ該庶子ハ當然亡父ヲ相續スルヤ若クハ養子ト爲スヘキ行列者ナキトキニ限リ亡父ヲ相續スル慣習ナリヤ大宗孫家タルト否トニ付異ナル慣習アリヤ

右ノ場合ニ於テ亡父ノ正妻ハ死後養子ヲ爲シ庶子ヲ相續セシメサルコトヲ得ルヤ又門會ハ正妻ノ意思ニ反シテ死後養子ヲ選定シ庶子ヲ相續セシメサルコトヲ得ル慣習アリヤ

二　庶出ノ男子ノミヲ有シ嫡出ノ男子ナキ父(戸主)カ其庶子ニ妻帶セシメタルモ該庶子ハ死亡シ其ノ後父モ亦死亡シタル場合ニ於テ養子ヲ定ムルニ當リテハ亡父ノ死後養子ヲ定ムヘキモノナリヤ若クハ亡庶子ヲ世數ニ算入シテ該亡庶子ノ死後養子ヲ定ムヘキモノナリヤ

右ノ場合ニ於テ養子ヲ選定スルモノハ亡父ノ正妻ナリヤ亡庶子ノ正妻ナリヤ又門會ハ亡父ノ正妻又ハ亡庶子ノ正妻ノ意見ニ反シテ養子ヲ定メ得ル慣習アリヤ

右ノ場合ニ於テ亡父ノ正妻死亡シ亡父ノ妾アルトキハ妾ニ於テ亡父若クハ亡庶子ノ養子ヲ定ムヘキモノナリヤ庶子ノ正妻ニ於テ養子ヲ定ムヘキモノナリヤ又門會ニ於テ亡父ノ妾ノ意思ニ反シテ養子ヲ定メ得ル慣習アリヤ

三　妾ハ正妻死亡後其ノ夫ノ後妻ト爲リ得ル慣習アリヤ若シ之アリトセハ其ノ庶子ハ嫡出子タル身分ヲ取得スル慣習ナルヤ但シ大正四年官通牒第二百四十號發布前ニ於ケル慣習ナリヤ

此ノ場合ニ於テ大宗孫家ナルト否トニ付同一ノ慣習アリヤ

○回　答

一　庶子ノミヲ有シ嫡子ナキ戸主カ養子ヲ爲サスシテ死亡シタル場合ニハ其ノ庶子ニ於テ當然相續ヲ爲スヲ本則トシ養子ト爲スヘキ行列ノ者ナキトキニ限リ相續ヲ爲ス慣習ニ非ス而シテ大宗家ナルト否トニ因リ異ルコトナシ然レトモ亡戸主ノ妻ハ右ノ場合ニ於テ相續ノ爲養子ヲ選定スルコトヲ得ル慣習一部ノ社會ニ存スルヲ以テ斯ル養子アルトキハ庶子ハ相續ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

門會ハ亡戸主ノ妻ノ意見ニ反シテ養子ヲ選定スルコトヲ得サルモ若シ其ノ家カ大宗家ナルトキハ亡戸主ノ妻カ庶子ヲシテ相續セシメントスル意思アルトキト雖モ門會ニ於テ養子ヲ選定スルコトヲ得ル從來ノ慣例ナリ而シテ其ノ養子ト爲スヘキ者ニ付亡戸主ノ妻ト門會トカ意見ヲ異ニスルトキハ亡戸主ノ妻ノ意見ニ從フヘキモノトス

二　庶子ノミヲ有シ嫡子ナキ戸主カ其ノ庶子ニ妻帶セシメタル後該庶子死亡シ其ノ後戸主亦死亡シタル場合ニ於テハ亡戸主又ハ亡庶子ノ養子ヲ爲スハ慣習上妨ケサル所トス而シテ庶子ヲ一代ニ數ヘ其ノ養子ヲシテ承重相續ヲ爲サシムルト否トハ亡戸主ノ妻又ハ門會ノ意見ニ依ルモノトス

右ノ場合ニ於テ亡戸主ノ養子ヲ選定スル者ハ亡戸主ノ妻又ハ門會ナルモ亡庶子ノ養子ヲ選定スル者ハ亡庶子ノ妻又ハ門會ナリトス

三　妾カ妻ノ死亡後妻トナルコトハ之ヲ認メサリシモ近來之ヲ認ムルニ至レリ而シテ妾カ妻トナリタルトキハ庶子ハ其ノ日ヨリ當然嫡子タル身分ヲ取得シ大宗家ト否トニ因リ區別アルコトナシ

【一九六】養子選定ニ關スル件

（大正五年七月三十一日平壤地方法院民事部裁判長照會同年九月二十二日朝福發第二六〇號政務總監回答）

○要旨

一　長男嗣子ナクシテ死亡シタルトキハ其ノ父ニ於テ養子ヲ選定ス

二　前項ノ場合ニ於テ亡長子ノ妻ハ養子ノ選定ニ異議ヲ述ブルコトヲ得ズ

三　右養子選定前父死亡シタル場合ニ於テモ次男ハ兄妻ニ對シ養子ノ選定ヲ請求スル權利ヲ有セズ

四　前項ノ場合ニ於テハ亡長男ノ妻養子ヲ選定ス

○照會

一　朝鮮ニ於ケル一般ノ慣習トシテ長男死亡シ其ノ相續人ナキ場合ニハ親タル者（長男ノ父）其ノ長男ノ養子ヲ選定シ長派ノ祖先及自己ノ祭祀ヲ行ハシムル事ノ權利アリヤ否ヤ

二　右ノ場合ニ於テ長男ノ妻（未亡人）ハ只親（長男ノ父）ノ命令ニ從ヒテ何等ノ異議ナク養子選定ノ事ニ同意スル慣習アリヤ否ヤ

三　右養子ヲ選定スル前ニ長男ノ父又死亡シ長派ノ廢絕ニナリタル場合ニハ其ノ次男ハ親ノ權利ヲ承繼シテ長男ノ妻ニ對シ長兄ノ養子選定ノ事ヲ請求スル權利アルヤ否ヤ

四　右ノ場合ニ於テ長男ノ妻（寡婦）ハ當然養子選定ノ手續ヲ履行シ長派ノ祖先及父母又ハ亡父ノ祭祀ヲ行ハシムル義務アリヤ否ヤ

○回答

一　長男死亡シ奉祀者ナキ場合ニハ其ノ父ニ於テ長男ノ養子ヲ定メ亡長男ノ祭祀ヲ行ハシムル慣例ナリ

二　右ノ場合ニ於テ長男ノ妻ハ其ノ養子選定ニ異議ヲ述フルコトヲ得ス

三　右ノ養子選定前長男ノ父死亡シ絶孫トナリタル場合ニ次男カ亡長男ノ妻ニ對シ養子選定ノ請求ヲ爲ス權利ナシ

四　右ノ場合ニ於テ亡長男ノ妻ハ亡夫ノ養子ヲ選定スヘキモノトス

【一九七】相續及加捧子ニ關スル件

（大正五年八月二十六日平壤覆審法院長代理照會）
（同　年九月二十二日朝福發第二六一號政務總監回答）

○要　旨

一　戸主ノ長男既婚ニシテ子ナクシテ死亡シ次男亦既婚ニシテ一女ヲ遺シテ死亡シ次デ戸主死亡シ長男ノ妻ハ他ニ改嫁シ三男ハ妻子ヲ有シ次男ノ妻子ト同居セル場合ニ於テ次男ノ遺子ニ對スル保護監督ハ次男ノ妻ニ於テスベキモノトス

前項ノ場合ニ於テハ亡長子ニ養子ヲ爲スマデハ其ノ家ハ絶嗣ノ狀態ニ在ルモノトス

二　寡婦ハ一旦實家ニ復歸シタル上ニ非ザレバ再嫁ヲ爲スコトヲ得ズ又其ノ女子ヲ再嫁先ノ家ニ入ルルコトヲ得ス

三　前項ノ女子ガ母ノ再嫁先ノ家族トナリタルトキハ其ノ保護監督ハ母ノ後夫ニ於テ爲スベキモノトス

○照　會

一　戸主甲ニ三男アリ相續開始前長男ハ妻ヲ娶リ子ナクシテ死亡シ次男モ妻ヲ娶リ一女ヲ殘シテ死亡シ次テ戸主死亡シタリ長男ノ妻ハ其ノ後他ニ再嫁シ三男ハ妻子ヲ有シテ現存シ次男ノ妻ハ女兒（當九歲）ト共ニ三男ト同居セリ右女兒ニ對スル保護監督ノ權利義務ハ何人ニ屬スルヤ又甲家ノ相續ハ右三男之ヲ爲スヘキモノナルヤ

二　右次男ノ寡婦カ他ニ再嫁スルニ當リ前記ノ女兒ヲ再嫁先ニ連レ子トスルコトヲ得ルヤ又再嫁及連レ子ニ付右三男若クハ其他ノ者ノ同意ヲ要スルカ但シ右三男ハ女兒ノ最近親尊屬ナリ

三　連レ子ト爲スコトヲ得ルトキハ同女兒ニ對スル保護監督ノ權利義務ハ爾後何人ニ屬スルヤ又其ノ女兒ノ籍ハ何レノ家ニ屬スヘキカ

○回　答

一　戸主(男)ニ三人ノ男子アリ相續開始前長男ハ妻ヲ娶リ子ナクシテ死亡シ次男モ亦妻ヲ娶リ一女ヲ遺シテ死亡シ次テ戸主死亡シタリ長男ノ妻ハ其ノ後他ニ再嫁シ三男ハ妻子ヲ有シ次男ノ妻及其ノ女子(九歲)ト同居セル場合ニ於テ右女子ニ對スル保護監督ハ次男ノ妻之ヲ爲スヘキモノナリ又其家ノ相續ハ長男ニ養子ヲ爲スマデ絶

嗣ノ狀態ニ在ルモノトス

二　次男ノ寡婦ハ一旦實家ニ復歸シタル上ニ非サレハ再嫁ヲ爲スコトヲ得ス而シテ再嫁ノ場合ニ其ノ女子ヲ再嫁先ノ家族ト爲スニハ兩家戸主ノ同意ヲ要ス

三　前項女子カ再嫁先ノ家族トナリタルトキハ其ノ保護監督ハ其ノ生母ノ夫之ヲ爲スヘキモノニシテ其ノ女子ノ家籍ハ入家シタル家ニ在ルヘキコト勿論ナリ

【一九八】妾タリシ者カ正妻トナリ得ルヤ否ヤニ關スル件（大正五年九月十三日平壤地方法院照會同年九月三十日朝樞發第二六八號政務總監回答）

○要旨

一　妾ハ妻ノ離婚後ト雖妻トナルコトヲ得ザリシガ近來妻タルコトヲ得ルニ至レリ

○照會

一　朝鮮ニ於テ妾タリシモノハ右妻離別後ニ於テモ正妻ノ地位ヲ得ヘカラサルノ慣習アリヤ否ヤ

○回答

一　妾タリシ者ハ妻離婚後ト雖モ妻タルコトヲ得サリンカ近來妻タルコトヲ得ルニ至レリ

【一九九】親族會決議ニ關スル件（大正五年九月七日平壤覆審法院民事部裁判長照會同年十月十日朝樞發第二七六號政務總監回答）

○要旨

一　親族會ニハ一門ノ男子ノミ出席議決スルヲ通例トスルモ女子ハ親族會ノ議決ニ加ルコトヲ得

他姓ノ者ハ親族ト雖親族會員タル資格ヲ有セズ

○照會

一　朝鮮ノ慣習上親族會決議ニハ一門ノ男子ノミ加入スル權限アリヤ或ハ女子モ同一ノ權限アリヤ右決議ニ他姓ノ者加入シタル場合ニハ其ノ效力如何

○回答

一　親族會ニハ男子ノミ出席シテ議決スルヲ通例トスルモ女子ハ親族會ノ議決ニ加フルコトヲ得ストノ制限アルニ非ス故ニ親族會員トシテノ資格ニハ男女ノ間ニ區

別ナシ而シテ他姓ノ者ハ親族ト雖親族會員タル資格ナク隨テ他姓ノ加ハリタル決議ハ效力ナキモノトス

【二〇〇】漁基ニ關スル件

（大正五年十月九日高等土地調査委員會委員長照會）
（同　年十一月十八日朝樞發第三一七號中樞院議長回答）

○要　旨

一　韓國時代漁基ノ認許ヲ受ケタル者ガ其ノ附近ニ信地ト稱シ一定地域ノ所有權又ハ使用權ヲ得タル慣習存セズ

○照　會

一　舊韓國政府ヨリ漁基ノ認許ヲ受ケタル者ハ其ノ附近ニ信地ト稱スル一定ノ地域ノ所有權又ハ使用權ヲ當然取得シタルモノナルヤ

二　前項信地ハ漁基ト分離シテ賣買讓渡ヲ爲スコトヲ得タリシヤ

○回　答

一　韓國政府ノ時漁基ノ認許ヲ受ケタル者カ其ノ附近ニ信地ト稱スル一定ノ地域ニ付當然所有權又ハ使用權ヲ得タル慣習存セス

【二〇一】遺產相續ニ關スル件

（大正五年九月二十五日高等法院長照會）
（同　年十一月二十八日朝樞發第三二六號政務總監回答）

○要　旨

一　家族死亡シ債務ノミヲ殘シタル場合ニ於テモ遺產相續人ガ祭祀者ナルトキハ之ヲ承繼ス其ノ他ノ遺產相續人ハ之ヲ承繼スルコトナシ

二　前項ノ場合ニ於テ祭祀者タル遺產相續人ハ相續ヲ拋棄スルコトヲ得ズ

○照　會

一　家族タル甲者死亡シ其ノ遺產相續人タル乙者カ遺產トシテ相續スヘキ何等積極的財產無カリシ場合ニ於テモ乙者ハ甲者ノ消極的財產（負債）ノミヲ相續スヘキモノナルヤ

二　遺產相續人ハ遺產相續ヲ拋棄スルコトヲ得ルヤ若シ拋棄スルコトヲ得ルモノトセハ其ノ期間竝手續

○回　答

一　家族死亡ノ場合ニ於テ遺產相續人カ祭祀者（長男又ハ長孫）ナルトキハ縱令死者カ債務ノミヲ殘シタル場合ト雖之ヲ承繼スル慣習ニシテ其ノ他ノ遺產相續人ハ此ノ

場合ニ其ノ債務ヲ承繼スル慣習ナシ

二　前項ノ祭祀者タル遺産相續人ハ相續ヲ拋棄スルコトヲ得ル慣習存セス

【二〇二】遺産相續ニ關スル件（大正五年十月七日公州地方法院裁判長照會同年十一月三十日朝樞發第三二七號政務總監回答）

○要　旨

一　亡父ノ遺産ヲ相續スベキ次男又ハ三男ト雖分家ヲ爲ス際ニ非ザレバ其ノ分配ヲ請求スルコトヲ得ズ

分家ヲ爲スコトヲ得ル者ハ既婚者ニ限ル但シ庶子ハ未婚者ト雖父ノ死亡後其ノ生母ト共ニ分家ヲ爲スコトヲ得

○照　會

一　朝鮮ニ於テ遺産相續權アル次・三男ニシテ未タ成年ニ達セス若クハ分家婚姻ヲ爲ササル以前ハ祭祀相續人タル長子ニ對シ相續分ノ分配請求ヲ爲シ得サル慣習アリヤ

○回　答

一　朝鮮ニ於テハ亡父ノ遺産ヲ相續スヘキ次男又ハ三男ト雖分家ヲ爲ス際ニ非サレハ遺産ノ分配ヲ請求スルコトヲ得サル慣習ニシテ分家ヲ爲スコトヲ得ル者ハ婚姻ヲ爲シタル者ニ限ル（庶子ハ未婚者ト雖父ノ死後生母ト共ニ分家ヲ爲スコトヲ得）而シテ遺産ノ分配ヲ受クルニ付テハ成年ニ達シタルト否トヲ問フコトナシ

【二〇三】私塾ノ財産ニ關スル件（大正五年十月十九日平壤地方法院新義州支廳裁判長照會同年十二月一日朝樞發第三二九號政務總監回答）

○要　旨

一　私塾ノ維持費ニ充ツル目的ヲ以テ其ノ設立者ガ有志ノ據出ヲ受ケ之ニ依リ購入シタル田土及其ノ他ノ財産ハ經營者ノ所有ニシテ之ヲ財團法人ト認ムル慣習ナシ

○照　會

一　朝鮮内各地ニ現在スル私塾經義齋ノ維持費ニ充ツル目的ヲ以テ設立者カ有志ノ醵出ヲ受ケテ購入シタル田土其ノ他ノ財産ハ慣習上財團法人ト認ムヘキヤ或ハ設立者個人ノ所有ニ屬スルモノナリヤ

○回　答

一　朝鮮内ニ現存スル經義齋ノ維持費ニ充ツル目的ヲ以テ設立者カ有志ノ醵出ヲ受ケテ購入シタル田土其ノ他ノ財産ハ慣習上其ノ經營者ノ所有ト認ムヘキモノナルヘク之ヲ財團法人ト認ムル慣習ナシ

【二〇四】書記廳ノ建物及敷地ノ所有權ニ關スル件

（大正五年十一月二十九日高等土地調査委員會委員長照會
同　年十二月五日朝樞發第三三五號中樞院議長回答）

○要　旨

一、二　各郡ニ在リシ書記廳ノ建物ハ總テ官有財産ニ屬シ之ガ改築修繕等ニ方リ書記等ノ共同出資ヲ受ケタルモノアルモ之ガ爲其ノ性質ニ變動ヲ生ズルコトナシ

三　書記廳ノ敷地ハ總テ官有タリシモノトス

○照　會

一　各郡ニハ元書記廳ト稱スルモノアリタリ右書記廳ハ郡ノ經費ヲ以テ建築シタルモノナリヤ又ハ書記等ノ共同出資ニヨリタルモノナルヤ

二　郡ノ經費ヲ以テ建築シタル場合ニ於テ該廳舍ノ郡ノ公廨トシテ官有財産ニ屬スヘキコト疑ヒノ餘地ナキモ書記等ノ共同出資タル場合ニ於テ之ヲ書記等ノ共有財産ト認メタルモノナルヤ或ハ此ノ場合ニ於テモ尙官有財産トシテ處理シタルモノナルヤ

三　右敷地ハ國有ナルヤ民有ナルヤ

四　右ハ孰レモ實例有之候ハハ御示シ相成度

○回　答

一、二　各郡ニ在リシ書記廳（舊稱作廳）ノ建物ハ總テ官ニ於テ建設シタルモノニシテ公廨ニ屬シ官有財産タルコト論ヲ俟タス而シテ改築修繕等ニ際シ書記等ノ共同出資ニ依リタルコト絶無ニ非サルモ之カ爲ニ官有財産タル點ニハ異動ナカリシモノトス

三　書記廳ノ敷地ハ總テ官有タリシモノトス

四　右ハ朝鮮全體ヲ通シ一モ例外ナカリシモノナルヲ以テ特ニ實例ヲ示サス

【二〇五】養子ニ關スル件

（大正五年十一月十八日釜山地方法院民事部裁判長照會
同　年十二月十一日朝樞發第三四三號政務總監回答）

○要　旨

一　戸主男子ナク妻及女子ヲ遺シテ死亡シタルトキハ養子ヲ爲ス

二　妻養子ヲ爲ス意思ナキトキハ門會ニ於テ養子ヲ選定ス

三　亡戸主ノ創立シタル家ナルトキト雖亦同ジ

○照　會

一　戸主カ男子ナク妻及女子ノミヲ遺シテ死亡シタル場合ニ於テハ祭祀相續人タル養子ヲ爲スコトヲ要スルヤ

二　若シ之ヲ要スルモノトセハ養子ノ選定ヲ爲スヘキ寡婦ニ於テ絶對ニ養子ヲ爲スノ意思ナキコト確定セル場合ニハ門會ニ於テ寡婦ノ意ニ反シテ養子ヲ選定スルコトヲ得ルヤ（寡婦ニ於テ其ノ女子ニ祭祀及遺產相續ヲ爲サシムル意思ヲ以テ養子ヲ拒ム場合ニ於テ差異アリヤ）

三　右各項ニ付數代ノ被祭祀者タル家トノ間ニ差異アリヤ

四　右慣習ハ一般的ノモノナリヤ若シ地方ニヨリ異ルトセハ慶尙南道金海郡ニ於ケル慣習如何

○回　答

一　戸主カ男子ナク妻及女子ノミヲ遺シテ死亡シタル場合ニハ養子ヲ爲スヘキモノトス

二　右ノ場合ニ於テ亡戸主ノ妻カ養子ヲ爲ササル意思ナルトキハ門會ニ於テ養子ヲ選定スルコトヲ得ヘシ妻カ女子ヲシテ祭祀及遺產ヲ相續セシムル意思ヲ有シ養子ヲ爲スコトヲ拒ム場合ニ於テモ差異ナシ

三　上記ノ場合ニ於テ其ノ家カ數代連續シタル家ナルト亡戸主ノ創立シタル家ナルトニ因リ異ナル所ナシ

四　右ノ慣習ハ朝鮮全體ニ同一ナリ

【二〇六】協議離緣ニ關スル件

（大正五年十二月二十五日大邱覆審法院民事第二部裁判長照會）
（同　六年一月三十日朝樞發第一六號政務總監回答）

○要　旨

一　**養子ガ戸主トナリタル後ハ養母ト協議離緣ヲ爲スコトヲ得ズ**

○照　會

一　養子カ戸主トナリタル後ニ於テ養母ト協議上離緣ヲ爲シ得ルヤ否ヤ

例ヘハ養子カ戸主ト爲リタル後養母ト協議上離緣ノ契約ヲ爲シ其ノ養子ハ生家ニ戻リ復籍ヲ爲シ養母ト別居シ居ル場合ニ於テハ其ノ離緣ノ契約ノ效力如何即チ有效ナリヤ無效ナリヤ

○回　答

一　養子カ戸主トナリタル後養母ト協議ノ上離緣ヲ爲シ實家ニ復歸シタリトスルモ其ノ離緣ハ效力ナシ

【二〇七】還穀及社倉ニ關スル件（大正六年一月十八日土木局照會同年一月三十一日朝樞發第一八號中樞院回答）

一　還穀ヲ貯藏シタル倉庫及其附屬建物ハ國有ニシテ維持修繕ハ官ニ於テ支辨ス還穀ヲ社還ト改稱シタル後亦同ジ

○照　會

一　社還條例發布前ニ於テ還穀ヲ格納シタル倉庫及附屬建物ノ所管及建築又ハ其ノ維持修繕ニ關スル工費ノ出資方法ニ　開國五百四年度支部令第三號ヲ以テ還穀ヲ社還ト改稱シ從來ノ還穀ヲ各面里ニ分置シタル際其ノ穀物ヲ格納シタル倉庫其ノ他ノ建物モ還穀ト共ニ各面里ノ管理ニ移シタルモノナルヤ將タ右等建物ハ政府所管ノモノナルヤ

○回　答

一　社還條例發布前還穀ヲ貯藏シタル倉庫及其ノ附屬建物ハ皆國有ニシテ其ノ建築及維持修繕等ノ費用モ勿論官ニ於テ支辨シタルモノトス而シテ開國五百四年度支部令第三號ノ發布後ニ於テモ單ニ還穀ヲ社還ト改稱シタルニ止マリ其ノ倉庫及附屬建物ノ國有タルコトハ依然變更ナキモノトス

【二〇八】舍音ノ訴訟提起ニ關スル件（大正六年二月十日公州地方法院瑞山支廳照會同年二月二十七日朝樞發第五二號政務總監回答）

一　舍音ガ自己ノ名ニ於テ地主ノ爲メニ訴訟ヲナス慣習ナシ

○照　會

一　朝鮮ニ於テ舍音ハ賭租ノ支拂ヲ怠リシ小作人ニ對シ地主ノ爲ニ自己ノ名義ヲ以テ自ラ訴訟當事者ト爲リ訴ヲ提起シ支拂ヲ求メ得ヘキ慣習ノ存否

○回　答

一　舍音ハ賭租ノ支拂ヲ怠リシ小作人ニ對シ地主ノ爲ニ自己ノ名ヲ以テ自ラ訴訟ノ當事者ト爲リ訴ヲ提起シ支拂ヲ請求シ得ル慣習存セス

【二〇九】兩班ノ宗家ニ於ケル養嗣子ニ關スル件（大正六年二月二十日平壤地方法院民事部裁判長照會同年三月二十八日朝樞發第七三號政務總監回答）

○要　旨

一　庶子ヲ養子ト爲スニ付テノ承嫡ノ手續ナシ啓聞立案等ノ手續ハ養子ノ效力ニハ關係ナシ

○照　會

一　距今三十餘年前朝鮮ニ於テ文簸武官家(兩班)ノ男戶主甲死亡シ相續人ナク其實弟乙丙アリテ其乙ニ庶子三人ヲ有シ外ニ乙丙共ニ嫡子ナキニ依リ其乙ノ長庶子ヲ以テ宗家タル甲ノ養子トスル場合ニハ先ツ其承嫡ノ手續ヲ履ミ其事由ヲ居道觀察使ニ呈狀シ觀察使ハ禮曹ニ報告シ禮曹判書ハ之ヲ啓聞シ允許ヲ得タル上立案ヲ作成シ下附スル慣習アリシヤ右承嫡啓聞立案ノ手續ナキニ於テハ絕對ニ庶子ヲ宗家ノ養子トスルコトヲ得サル慣習ナリシヤ

○回　答

一　今ヨリ三十餘年前ニハ兩班家ニ於テ庶子ヲ養子ト爲スニ付特ニ承嫡ノ手續存セス承嫡トハ庶子ヲシテ祭祀相續ヲ爲サシムルノ謂ニシテ特ニ承嫡ノ手續ナルモノアリシニ非ス其ノ他啓聞立案等ノ手續ヲ履ミタルト否トハ養子ノ效力ニ關係ナカリシモノトス

【二一〇】契約書ノ解釋ニ關スル件

(大正六年四月六日大塚參事官照會)
(同年四月十三日朝樞發第八七號中樞院回答)

○要　旨

一　還退ハ賣主還退文記ヲ作成シ舊文記ヲ添ヘテ買主ニ交付スルヲ普通トス

○照　會

一　契約書ニ關シ

(イ)　買戻約款付賣買ナリヤ

(ロ)　質ノ性質ヲ有スル典當權ノ設定ナリヤ

(ハ)　五年間ニ於ケル收穫物ノ賣買ナリヤ

(ニ)　以上ノ何レニモ屬セサル契約ナリトセハ如何ナル性質ノ契約ナリヤ

契　約　證

一金九拾圓也

一畓八斗落三石十斗賭租也

所在　彦州面大峙面旀坪

右本寺所有畓을限五個年還退하기로右金九拾圓에權賣이되若期限內라도還退을亦可함
但移作을不得함
再　此契約證을二通을作하야雙方에留置함
大正四年陰十月二十三日

畓主奉恩寺　御中

錢主　金今甫㊞

○回　答

一　本契約書ニハ還退權賣ノ文字アリテ一見買戻約款附賣買契約ナルカ如キモ從來ノ還退ハ普通左記文例ノ如ク賣主ニ於テ證人連署ノ還退文記一通ヲ作成シ之ニ文券ヲ添付シ（若シ舊文券ナキトキハ其ノ旨ヲ還退文記ニ附記ス）買主ニ交付スルヲ以テ所有權移轉ノ要件ト爲セリ然ルニ本契約ノ如ク證人連署ナキ證書二通ヲ作成シ相互ニ所持セル如キハ土地ノ還退賣買ニハ其ノ例コレナシ又移作許否ノ事項ヲ還退文記中ニ記載シアル例モ未タ聞カサル所ナリ

（以下文記例略）

【二一一】僧尼ノ財産相續ニ關スル件

（大正六年一月九日公州地方法院民事合議部裁判長照會
同　年五月十四日朝福發第一〇九號政務總監回答）

○要　旨

一　僧尼死亡ノトキハ遺産ヲ以テ葬式費用ヲ支辨シ殘餘ハ徒弟之ヲ承繼ス
徒弟數人アルトキハ最上位ノモノ承繼シタル後他ノ徒弟ニ分配ス分配率ニ付テハ一定ノ慣習ナシ
徒弟ノ順位ハ得度ノ前後ニ依ル
遺言ヲ以テ財産ノ一部ヲ佛糧又ハ祭位トシテ寺ニ寄附スルコトアリ其ノ財産ハ僧尼ノ死亡ニ因リ寺ノ所有ニ歸ス
最上位ノ徒弟ハ承繼シタル財産ノ一部ヲ寺ニ寄附スルコトアリ
遺産ヲ承繼スベキ徒弟ナキトキハ祭位トシテ寺ニ歸屬ス

○照　會

一　朝鮮ノ慣習上僧侶カ死亡シタルトキハ其ノ一個人ノ所有タリシ財産ハ普通民法上ノ慣習ニ從ヒ其子孫又ハ近親者ニ於

テ之ヲ相續スヘキモノナリヤ將タ弟子(上佐)ニ於テ之ヲ相續スヘキモノナリヤ卽チ慣習上僧俗間ニ差異アリヤ否ヤ

二 若シ弟子(上佐)ニ於テ之ヲ相續スル慣習ナリトスレハ弟子數人アルトキハ其ノ順位ハ弟子トナリタル時ノ前後ニ依リ定ムルヤ將タ年齡若クハ學德ニヨリテ定ムルヤ否ヤ

三 弟子二人中恩師弟子(恩師上佐ト云フテ初メテ師ヨリ得度ヲ受ケ剃髮シタルモノヲ指稱ス)ト重剃弟子(重剃上佐ト云ツテ先ニ他ノ僧尼ヲ師トシ之ニ從ヒ得度ヲ受ケ剃髮シタルモノヲ指稱ス)トアルトキハ相續順位ハ孰レカ先ニナルヘキカ

四 右慣習上僧(男僧)尼(女僧)間ニ區別アリトセハ其區別

○回　答

一 僧尼死亡ノ場合ニ於テハ先ツ其ノ遺產中ヨリ葬式ノ費用ヲ支辨シ殘餘財產ハ其ノ徒弟(上佐ト稱ス)ニ於テ之ヲ承繼シ若シ徒弟數人アルトキハ最上位ニアルモノ一應其ノ全部ヲ承繼シ次位以下ノ徒弟ニ對シ其ノ幾分ヲ分配スルヲ例トシ其ノ額ニ付テハ一定ノ標準アルコトナシ而シテ徒弟ノ順位ハ得度ノ順序ニ依リテ定マリ其ノ徒弟カ他ノ師僧ヨリ受ケタル得度ノ前後ハ敢テ問ハサルモノトス然レトモ死亡シタル僧尼カ遺言ヲ以テ其ノ遺產中ヨリ葬式費用ヲ支辨シタル殘餘ノ全部又ハ幾分ヲ佛糧(之ヲ佛供養ノ資ニ充ツ)又ハ祭位(之ヲ自己ノ祭祀ノ料ニ充テシム)トシテ其ノ寺ニ寄附スヘキ意思ヲ表示シタルトキハ徒弟中最上位ニ在ル者ニ於テ其ノ遺言ヲ執行シ其ノ遺產ノ所有權ハ遺言者ノ死亡ト同時ニ其ノ寺ニ移ルモノトス又時トシテハ死亡者ノ遺言ナキニ係ハラス上佐ニ於テ死者ノ遺產中佛糧トシテ其ノ幾分ヲ寺ニ寄附スルコトアリ此ノ場合ニ於テ徒弟數人アルトキハ最上位ニ在ル上佐カ一應遺產ノ全部ヲ承繼シ然ル後佛糧トシテ寺ニ寄附シタル部分ヲ除キ其ノ殘餘ヲ徒弟間ニ分配スルモノトス

遺產ヲ承繼スヘキ徒弟ナキ場合ニ於テハ其ノ遺產中ヨリ葬式ノ費用ヲ支辨シ殘餘ハ全部其ノ寺ニ歸屬シ死者ノ祭位トシテ保存セラルルモノトス

【二一二】僧侶ノ財產相續ニ關スル件

(大正六年四月十二日咸興地方法院北青支廳照會)
(同　年五月十五日朝福發第一一六號政務總監回答)

○要　旨

一 僧侶還俗スルトキハ先師ヨリ承繼シタル財產ハ上佐之ヲ承繼ス

○照　會

一 朝鮮ノ慣習上甲禪師カ死亡シ其ノ上佐タル乙カ禪師トナリテ甲禪師ノ私有財產ヲ承繼シタル後退俗シ乙ノ上佐タル丙

カ禪師トナリシ場合ニ於テ乙禪師カ甲禪師ヨリ承繼セシ私有財産ハ丙禪師ニ於テ承繼スヘキヤ否ヤ

○回　答

一　僧侶還俗ノ場合ニ於テ先師ヨリ承繼シタル財産ハ其ノ上佐（問ノ場合ニ於テ丙禪師）之ヲ承繼スルヲ慣例トス

【二一三】王室ト人民トノ間ニ於ケル債權ノ强制執行ニ關スル件

（大正六年三月二日京城地方法院長照會同年五月十八日朝樞發第一二一號政務總監回答）

○要　旨

一　甲午改革前ハ王室ノ財産ハ一司七宮ニ於テ管理シ王ノ私財ハ閣監廳ニ於テ保管ス後嗽玉軒ニ於テモ之ヲ保管シタリ

王ノ私財ハ多クハ人民ノ進獻ニヨリ生ズ

王室財産所屬ノ債權ノ執行ハ內需司·七宮ノ次知ヨリ其ノ旨ノ文牒ヲ王ニ呈シ王ハ之ヲ戶曹ニ下シ戶曹ハ債務者居住ノ地方官ニ照會シテ督促セシメ債務者應ゼザルトキハ其ノ財産ヲ差押ヘテ賣却シ代金ヲ以テ辨濟ニ充ツ又內需司·七宮ヨリ直接地方官廳下吏ニ照會シ右ノ方法ヲ採ルコトアリ

王ノ私財所屬ノ債權ノ執行ハ捕盜廳又ハ觀察使王ノ內命ヲ承ケ地方官ヲシテ前記ノ方法ヲ採ラシム

人民ノ王ニ對スル債權ノ取立ハ關係官廳ニ請求スル外ニハ方法ナシ

○照　會

一　舊韓國君主ト人民トノ間ニ生シタル債權其ノ他私權ノ强制執行方法ニ關スル明治二十一、二年以降ノ慣習如何

ニ　舊韓國ニ於テ其ノ當時皇室財産ノ外ニ君主ノ私有財産ナルモノアリシヤ若シアリトセハ其ノ區別ノ標準如何

○回　答

一　甲午改革前（明治二十一、二年頃以後）ニ於テハ王室ノ財産ト王ノ私財トヲ區別シ王室ノ財産ハ一司·七宮（內需司·壽進宮·明禮宮·於義宮·龍洞宮·毓祥宮·宣禧宮·景祐宮）ニ於テ之ヲ管理シ王ノ私財ハ閣監廳ニ於テ之ヲ保管シ李太王三十五、六年頃（明治三十一、二年）ヨリ嗽玉軒ニ於テモ亦之ヲ保管シタリ而シテ王ノ私財ハ多ク人民ノ進獻ニ因リ生シタルモノトス

王室財産ニ屬スル債權ノ執行ハ內需司·七宮ノ次知ヨリ債權ノ取立ヲ爲スヘキ旨ノ書面（文牒）ヲ王ニ呈シ王ハ之ヲ戶曹ニ下シ戶曹ハ之ヲ債務者居住ノ地方官ニ照會（行

關)シテ督促セシメ若シ債務者カ應セサルトキハ其ノ財産ヲ差押(收家)ヘテ之ヲ賣却シ其ノ代金ヲ債權ノ辨濟ニ充テ又ハ內需司・七宮ヨリ直接ニ債務者居住ノ地方官廳下吏ニ照會シ所轄地方官ニ於テ右ト同一ノ方法ニ依リ債權ノ執行ヲ爲シタリ又王ノ私財ニ屬スル債權ノ執行ハ捕盜廳又ハ觀察使ニ於テ王ノ內命ヲ承ケ債務者居住ノ地方官ヲシテ前記ト同一ノ方法ニ依リ債權ノ執行ヲ爲サシメタリ之ニ反シ人民カ王ニ對シ債權ヲ有スル場合ニ在リテハ人民ハ其ノ關係官廳ニ對シ債務ノ履行ヲ請求スルニ止マリ他ニ方法ナカリシモノトス

【二一四】寡婦ノ改嫁及親權喪失ニ關スル件

(大正六年四月二十三日光州地方法院長興支廳照會)
(同 年五月二十四日朝樞發第一二七號政務總監回答)

○要旨

一 改嫁トハ有夫ノ女ノ重婚ヲ謂フ寡婦ガ人ノ妾トナリタルトキモ通俗ニハ改嫁ト稱ス

二 寡婦タル母著シク不行跡ニシテ戶主タル子ノ財產ヲ危クスルトキハ門會ハ其ノ管理ヲ制限シ管理人ヲ選定スルコトヲ得

○照會

一 朝鮮ニ於テ寡婦カ妾トシテ他家ヘ入リタル場合モ尙ホ改嫁ト稱スル慣習アルヤ否ヤ

二 朝鮮ニ於テ寡婦タル母カ著シキ不行跡ヲ爲シ延ヒテ戶主タル子ノ財產ヲ危クシタル場合ニ於テ親族協議ノ上之ニ干涉ヲ爲スコトアリト慣習調查報告書ニ記載アリ此ノ場合ニハ親族會(門會)員ヲ召集シ同會ニ於テ決議シ未成年者ノ後見人ヲ選任シ得ル慣習アルヤ否ヤ

○回答

一 改嫁トハ有夫ノ女カ重婚シタル場合ヲ指スモノナルモ寡婦カ人ノ妾トナリタル場合ニモ亦通俗ニ之ヲ改嫁ト稱ス

二 寡婦タル母カ著シキ不行跡ヲ爲シ延テ戶主タル子ノ財產ヲ危クシタルトキハ門會ニ於テ其ノ管理ヲ制限シ親族中ヨリ管理者ヲ選定スルコトヲ得ル慣例アリ

【二一五】宮城寺刹等ノ廢址ニ存スル塔碑等ニ關スル件

(大正六年五月十八日總務局長照會)
(同 年五月二十九日朝樞發第一三二號中樞院書記官長回答)

○要旨

一　動産不動産ノ區別ヲ明ニシタルハ最近ノコトニ屬ス

二　宮殿・城樓・寺刹等ノ廢址ニ在ル塔碑・佛像・幢竿・石燈等ハ國有ニ屬シ先占取得ヲ許サズ土地ト共ニ土地所有者ノ有ニ歸スルコトナシ

○照　會

一　動產及不動產ノ區別ヲ認メ其ノ所有權取得ノ原因ヲ異ニスル場合アリヤ

二　前項ノ區別アリトセハ宮殿、城樓及寺刹等ノ廢址ニ存スル塔碑、佛像、幢竿、石燈等ノ所有權ハ何レノ取得原因ニ從フヘキモノナリヤ例ヘハ其ノ物件所在地カ既ニ久シキ變遷ヲ經テ山野田畑又ハ宅地ト爲リ私有又ハ洞里有ニ歸セシ場合ニ於テハ其ノ所有權ハ不動產トシテ國ニ歸スヘキヤ動產トシテ所有ノ意思ヲ以テ占有スル者ニ屬スヘキヤ又ハ前項ノ物件ハ民法第二百四十二條ノ如ク不動產ノ從トシテ附合シタル物トシ不動產所有者ニ屬スヘキヤ

○回　答

一　朝鮮ニ於テ動產不動產ノ區別ヲ認ムルニ至リシハ近ク十數年來ノコトニシテ其ノ以前ニ於テハ此ノ如キ區別存セス隨テ動產不動產ノ區別ニ依リ其ノ取得ノ原因ヲ異ニスル如キ確然タル慣習ナカリシモノトス

宮殿・城柵・寺刹等ノ廢址ニ存スル塔碑・佛像・幢竿・石燈等ハ國有ト視ル慣習ニシテ縱令其ノ物件ノ所在地カ年所ヲ經テ山野田畑若クハ宅地ト爲リ私有又ハ里有ニ歸シタル場合ニ於テモ塔碑其ノ他ノ金石物ハ依然之ヲ國有ト認メ其ノ先占取得ヲ許サス又其ノ物件カ土地ト共ニ土地所有者ノ有ニ歸スルモノト認メス

【二一六】節目完文等ノ效力ニ關スル件

（大正六年四月十日平壤地方法院寧邊支廳照會同年六月十二日朝福發第一四三號政務總監回答）

○要　旨

一、二　韓國時代ニ於テハ郡守・府使又ハ觀察使ハ土地ノ彊界又ハ所有ニ關スル爭ヲ決シ完文又ハ節目ヲ付與ス

完文・節目ハ事實ヲ調査シテ之ヲ付與スルヲ本則トスト雖一方ノ申出ノミニ依リテ付與シタルコトモアリ

完文・節目ハ何人ニモ對抗シ得タリ

三、四　觀察使ガ上司ノ命ニ依リ府使ガ付與シタル節目ト相反スル節目ヲ付與シタルトキハ之ヲ有效トシ前ノ節目ハ其ノ效力ヲ失フ

○照　會

一　舊韓國政府時代ニ於テ所有權又ハ境界ニ爭アル土地ニ付郡守又ハ府使若クハ觀察使ハ標界又ハ所有權ノ確定ヲ請願者

ノ申出ノミヲ採用シ節目又ハ完文ナルモノヲ付與シ來リシ各權能ヲ有シタリヤ

二　前項節目又ハ完文ハ慣習上所有權又ハ標界ヲ確定シ何人ニモ對抗シ得ヘキ效力ヲ認メタルモノナリヤ

三　府使ト隣接郡守立會ノ上爭アル土地ニ付請願者及相手方ヲ取調ヘタル上標界又ハ所有權ヲ認メタル節目ナルモノヲ付與シタル後十數年ヲ經テ更ニ同一ノ土地ニ付巡察使(觀察使)ニ於テ他ノ請願者ノ申出ニヨリ相手方ヲ調査セス且從來同一土地ニ關シ府使・郡守ノ節目ノ如キモノノ存否ヲモ調査セス先ニ存在セル節目ノ趣旨ト全然反對ノ趣旨ナル完文ヲ付與スルカ如キ場合アリシヤ

四　節目・完文カ何人ニモ對抗シ得ヘキ效力ヲ有スルヤ又前項ノ如ク利害相反スル前後二回ノ節目・完文存スル場合ニ前後何レヲ以テ其ノ效力ヲ認ムヘキ慣習ナリヤ

○回　答

一、二　韓國政府ノ時ニ於テハ郡守・府使又ハ觀察使ハ爭アル土地ノ疆界又ハ所有者ヲ定ムルニ付キ完文又ハ節目ヲ付與スルコトアリ本則トシテハ事實ヲ調査シタル上之ヲ付與スヘキモノナリシモ事實明白ナル場合ニハ單ニ一方ノ申出ノミニ依リ之ヲ付與シタルコトアリ此ノ如キ場合ニ於テモ其ノ處分ハ敢テ違法ト認メサリシモノトス而シテ完文又ハ節目ヲ以テ所有權又ハ疆界ヲ定メタルトキハ何人ニモ對抗シ得タルコト勿論トス

三、四　觀察使カ上司ノ命ニ依リ先ニ府使カ付與セシ節目ト趣旨相反スル節目ヲ付與シタルトキハ其ノ事實如何ヲ問ハス之ヲ有效ト視ル從來ノ慣例ナリ而シテ前ニ府使ノ付與シタル節目カ隣接郡守ト立會ヒ請願者及相手方ヲ取調ヘタル上其ノ疆界又ハ所有權ヲ認メ後ノ節目カ請願者ノ申出ノミニヨリ相手方ヲ調査セス又其ノ土地ニ關シ既ニ府使又ハ郡守ノ付與シタル節目アルコトヲモ調査セスシテ付與シタルモノナルトニ因リ其ノ效力ニ異ナル所ナク此ノ如ク前後ノ完文又ハ節目ノ定ムル所相反スル場合ニ於テハ後ノ節目ハ前ノ節目ニ依リ效力ヲ失ヒタルモノトス

【二一七】姻婚ノ成立ニ關スル件

（大正六年四月二十日平壤地方法院照會
同年六月十二日朝樞發第一四四號政務總監回答）

○要　旨

一　婚姻ノ式ハ四禮便覽ニ依レリト雖地方ニ因リ又ハ家ニ因リ多少ノ差異アリ普通ハ女家ニ於テ奠雁ノ禮ヲ行ヒ終テ壻禮ヲ行フ地方ニ依リテハ壻禮ヲ行ハザルコトアリ

○照　會

一　朝鮮人間ニ於ケル婚姻ハ婚式ヲ以テ其ノ成立要件ト爲スノ慣習アリヤ若シ然リトセハ如何ナル式ヲ擧行スルヲ以テ相當トナスヘキカ

二　右慣習ハ咸鏡南道永興郡地方ニ於テモ同一ナリヤ

○回　答

一　朝鮮人間ニ於テハ通常婚姻ノ式ヲ擧クルヲ以テ婚姻成立スルモノトセリ、其ノ方式ニ付テハ大典會通ニ朱熹ノ家禮ニ依ルヘキモノトシ實際ニ於テハ家禮ヲ增減シタル四禮便覽ニ依レリト雖地方ニ因リ又家ニ因リ多少ノ差異ナシトセス普通ニ行ハルル所ハ女家ニ於テ先ツ奠鴈ノ禮ヲ行ヒ終テ卷禮ヲ行フ卽チ婚姻ハ此ノ時ニ成立スルモノトス然レトモ地方ニ因リ卷禮ヲ行ハサルコトアリ此等ノ地方ニ於テハ奠鴈ノ禮ヲ行ヒタル時ヲ以テ婚姻成立ス而シテ咸鏡南道永興地方ハ之ニ屬セリ

【二一八】婚姻ノ成立ニ關スル件

（大正六年五月二十六日釜山地方法院照會同年六月十二日朝樞發第一四五號政務總監回答）

○要　旨

一　婚姻ニハ父母ノ同意ヲ要ス父ナキトキハ母ノ同意ヲ以テ足ル年齡ニ依テ異ルコトナシ

二　婚姻ハ通常婚姻ノ式ヲ擧ケルニ依テ成立ス

○照　會

一　慶尙南道梁山郡及金海郡地方ニ於テ婚姻ノ成立要件（寡女ノ再嫁ノ場合ヲ除外ス）トシテ父母アル者ハ必ス其ノ父母ノ同意ヲ必要トスル慣習アリヤ

二　若シアリトスレハ年齡ノ如何ヲ問ハス其ノ同意ヲ要スルヤ

三　右ノ場合ニ於テ夫タルト妻タルトニヨリ相違ノ點アリヤ

四　夫タル者ニ母ノミ存スル場合ハ其ノ夫ハ母ノ承諾ノミ得レハ足レリヤ

五　父母ノ承諾アレハ結婚ノ式ヲ擧クルヲ要セサルヤ

○回　答

一　朝鮮ニ於テハ子カ婚姻ヲ爲スニハ父母ノ同意ヲ必要トシ母ノミ存スル場合ニハ其ノ同意ノミヲ以テ足ル而シテ其ノ同意ヲ要スルハ年齡ニ關セス又男女ニ因リ異ナルコトナシ

二　婚姻成立ノ爲ニハ父母ノ同意ノ外通常婚姻ノ式ヲ擧クルモノトス

三　右ハ慶尙南道梁山郡及金海郡地方ニモ異リタル慣習存セス

【二一九】庶子ノ親權者ニ關スル件

（大正六年六月六日京城覆審法院民事第一部裁判長照會）
（同年六月二十六日朝樞發第一五六號政務總監回答）

○要　旨

一　庶子ノ嫡母及生母其ノ家籍ヲ同ジクスルトキハ嫡母親權ヲ行フ嫡母遠隔ノ地ニ在リテ事實上親權ヲ行フコト能ハザルトキハ生母之ヲ行フ

○照　會

一　未成年ノ庶子ニ嫡母及生母アリテ共ニ一家籍内ニ在ルモ嫡母ハ多年十數里ヲ隔ツル場所ニ居住シ更ニ歸家セス單ニ民籍ヲ同フスルニ過キサル場合ニ於ケル右庶子ノ親權者ハ嫡母ナリヤ將又生母ナリヤ

二　嫡母カ再嫁シ若ハ家籍ヲ異ニスル場合ノ外庶子ニ對スル親權ヲ喪失セサル慣習ナリトセハ前項ノ如キ事實上親權ヲ行使スルコト能ハサル場合ニ於テハ未成年ノ庶子カ有スル財產ノ管理處分ハ何人ニ於テ之ヲ行フ慣習ナリヤ

○回　答

一　未成年ノ庶子ニ嫡母及生母アリ共ニ同一家籍ニ在ルトキハ其ノ庶子ニ對シ親權ヲ行フ者ハ嫡母ナルモ若シ嫡母カ多年遠隔ノ地ニ住シ更ニ歸家セス事實上親權ヲ行使スル能ハサル場合ニ於テハ生母親權ヲ行フ慣習ナリ

【二二〇】都中除名者ノ持分ニ關スル件

（大正六年五月八日京城地方法院長代理照會）
（同年六月二十七日朝樞發第一五七號政務總監回答）

○要　旨

一　布廛都家ハ麻布販賣業者ノ團體ノ會合スル場所ニシテ其ノ團體ヲ布廛都中ト稱ス
都中ノ財產ハ之ヲ組織スル各員ノ共有ニ屬スト雖除名シタル場合ニ持分ヲ拂戻ス慣習ナシ

○照　會

一　布廛都家ニ於テ決議ニ因リ組合員ヲ除名セルトキハ當時其ノ組合員カ有セシ持分權ニ對スル其ノ價額ヲ拂戻スヘキ慣習ナルヤ將又當然其ノ持分權ヲ喪失スル慣習ナルヤ

○回　答

一　布廛都家ト稱スルハ麻布販賣業者ノ團體カ會合スル場所ニシテ其ノ團體ヲ布廛都中ト稱スル而シテ都中ニ建物其ノ他ノ財產アル場合ハ都中ヲ組織スル各員ノ共有

ニ屬スルモ其ノ一人又ハ數人カ都中ノ決議ニ依リ除名セラレタル場合ニ持分ノ拂戻ヲ受クル慣例ナシ

【二二二】僧侶ノ財産相續及上佐トナル法式ニ關スル件

（大正六年六月二十二日釜山地方法院照會）
（同　年八月十五日朝樞發第一九四號政務總監回答）

○要　旨

一　僧侶ノ遺産ハ遺言アルトキハ死亡ト同時ニ受遺者ニ移ル
　遺言ナキトキハ葬式費用ヲ支辨シタル殘餘ハ上佐之ヲ承繼シ次上佐以下ノ徒弟ニ分配ス分配率ニ付テハ一定ノ慣習ナシ
　遺言ナキトキト雖上佐ハ遺産ノ一部ヲ佛糧トシテ寺ニ寄附スルコトアリ
二　上佐トナルニハ得度ヲ受クル外別段ノ方式ナシ

○照　會

一　僧侶ノ財産ハ其ノ上佐ニ於テ全部相續スル慣習アリヤ
二　上佐ト爲スニ付キテハ特別ノ形式ヲ要スルヤ

○回　答

一　僧侶ノ遺産ハ遺言アル場合ハ上佐中最上位ニアル者其ノ遺言ヲ執行シ遺産ノ所有權ハ遺言者ノ死亡ト同時ニ受遺者ニ移ルモノトス遺言ナキ場合ハ最上位ニ在ル上佐ニ於テ一應遺産全部ヲ承繼シ其ノ中ヨリ葬式ノ費用ヲ支辨シ次上佐以下ノ上佐ニ對シ殘餘財産ノ幾分ヲ分配スルヲ例トス而シテ其ノ額ニ付テハ一定ノ標準アルコトナシ又時トシテハ遺言ナキニカカハラス上佐ニ於テ遺産中ヨリ佛糧(之ヲ佛供養ノ資ニ充ツ)トシテ其ノ幾分ヲ寺ニ寄附スルコトアリ此ノ場合ニ於テハ上佐數人アルトキハ最上位ニ在ル者一應遺産ノ全部ヲ承繼シ然ル後佛糧トシテ寺ニ寄附シタル部分ヲ除キ其ノ殘餘ヲ上佐間ニ分配スルモノトス

二　上佐トナルニハ得度ヲ受クル外別段ノ方式ナシ

【二二三】嫡子ノ否認ニ關スル件

（大正六年七月六日大邱覆審法院民事第一部裁判長照會）
（同　年八月二十日朝樞發第一九六號政務總監回答）

○要　旨

一、二　夫ハ妻が婚姻中ニ懐胎シタル子ト雖自己ノ子ナルコトヲ否認スルコトヲ得

三、四　父母ノ婚姻中ニ生レタル子ガ父ニ對シ父ノ子ニ非ザルコトヲ主張シ得ルヤニ付テハ慣習ナシ

○照　會

一　大正六年六月二十二日發第一、一六二號政務總監宛慣習問合中

(三)ハ子(其ノ子ハ父母ノ婚姻中ニ懐胎シタルモノナルコトヲ前提トス)カ實父ナリト主張スル者ニ對シ實父ニ非スト主張スル權利ヲ有スルヤ否ヤノ質問ニシテ其ノ(イ)ハ子ヨリ父ニ對シ母カ他ノ男子ト姦通シテ生レタルモノナリトノ證據ヲ擧ケ父ノ嫡出子ニ非ス、換言スレハ實子ニ非スト主張スルコトヲ得ルヤ否ヤ而シテ(ロ)ハ(イ)ノ反對ニ父ヨリ子ニ對シテ嫡出子ナルコトヲ確定セントシテ裁判上ノ請求ヲ爲シタル場合ニ子ハ之ニ對シテ母カ他ノ男子ト姦通シテ生レタルモノナリトノ理由ニ因リ父ノ嫡出子ナルコトヲ否認スルコトヲ得ルヤ否ヤヲ問ヒタルモノニシテ要スルニ(イ)ハ子カ原告トナリ父カ被告ナル場合(ロ)ハ父カ原告トナリ子カ被告トナル場合ナリ以上(イ)(ロ)ノ場合ニ於テ父母ノ婚姻中ニ懐胎シタル子ナルコトハ明カナレトモ子ノ主張スル如ク他ノ男子ト姦通シテ生レタルコト證據上明白ナルトキハ父ノ嫡出子ニ非スト宣言スルコトヲ得ル慣習アリヤ此慣習ノ有無ニ付疑ヲ存ス

○回　答

一、二　夫ハ妻カ婚姻中ニ懐胎シタル子ト雖モ自己ノ子ナルコトヲ否認スルコトヲ得ヘシ但其ノ否認權ヲ喪失スル場合ニ付テハ慣習ノ見ルヘキモノナシ

三、四　父母ノ婚姻中ニ生レタル子カ父ニ對シ母ノ姦通ノ事實ヲ擧ケテ父ノ子ニ非サルコトヲ主張シ得ルヤ否ヤニ付テハ慣習ノ見ルヘキモノナシ隨テ其ノ時期及權利ヲ喪失スル場合ニ付慣習存セス

父カ自己ノ嫡子ナルコトヲ確定セントスル請求ニ對シ子ヨリ前記事實ヲ擧ケテ之ヲ爭ヒ得ルヤ否ヤニ付テモ亦慣習ノ見ルヘキモノナシ

妻カ婚姻中ニ懐胎シタル子ハ夫ノ子ト推定スル慣習ハ之ニ反スル事實ヲ擧ケテ否認ヲ爲スニ妨ナキコト勿論ナリ

【一二三】遺産相續ニ關スル件

（大正六年八月八日安東領事館照會）
（同年八月二十四日朝樞發第一九八號政務總監回答）

○要　旨

一　家族タル長男ノ遺産ハ妻及長女アルトキト雖戸主タル父之ヲ承繼ス

○照　會

一　戸主甲ナル者長男乙カ支那安東縣ニ於テ官有地(借地權)ヲ買受ケタリ然ルニ其後乙ハ死亡シ乙ニハ長女丙(滿十三才

先妻ノ子）妻丁（後妻滿十九才）アリ
右ノ場合ニ於テ乙ノ遺產相續權ハ甲丙丁何レカ先ニ在リヤ

○回　答

一　家族タル長男死亡シ其ノ妻、長女及戶主タル父アル場合ニ於テハ死者ノ遺產ハ其ノ父ニ於テ承繼スル慣例ナリ

【二二四】舊韓國民ノ支那歸化ニ關スル件

（大正六年十月九日總務局長照會）
（同　年十月十二日朝樞發第二二四號書記官長回答）

○要　旨

一　韓國時代ニ於テハ支那ニ歸化スルニ付テ何等ノ法令ナク又歸化ヲ認メタル實例ナシ

○照　會

一　朝鮮併合前ニ於テ韓國民ノ支那ニ歸化スル事ニ關スル何等カノ法規存シタルヤ
ニ　其ノ當時韓國民ノ支那ニ歸化スルヲ正面ヨリ又ハ暗默ノ內ニ認可セル實例

○回　答

一　朝鮮併合前ニ於テハ韓國民ノ支那ニ歸化スルニ付何等ノ法令存セス又韓國民ノ支那ニ歸化スルヲ認メタル實例明ナラス

【二二五】家族ノ保護者ニ關スル件

（大正六年九月四日公州地方法院照會）
（同　年十月二十日朝樞發第二二九號政務總監回答）

○要　旨

一　孫ニ親權者ナキトキハ戶主タル祖父ハ當然ニ後見人トナル

○照　會

一　朝鮮人間ニ於テ親權者ナキ場合ニ戶主タル祖父ハ戶主タル資格ニ於テ當然家族タル孫ノ護後人（後見人ニ相當ス）トナルヘキ慣習

○回　答

一　家族タル孫ニ親權者ナキ場合ニ於テハ戶主タル祖父ハ當然其ノ後見人トナルヘキモノトス

【二二六】僧侶ノ遺産相續ニ關スル件

（大正六年九月四日釜山地方法院照會）
（同年十月二十日朝樞發第二三〇號政務總監回答）

○要旨

一　僧侶ノ遺産ハ實子アルトキト雖上佐ニ於テ相續ス

二　右ノ相續權ハ僧籍ニ上佐ト記載セルト民籍ニ養子若ハ徒弟養子トシテ記載スルトニ依テ影響ナシ

○照會

一　僧侶ノ財産ハ其ノ上佐カ相續スヘキモノトセハ例令僧侶ニ實子アリトスルモ其ノ實子ハ相續權ナキモノナルヤ

二　上佐トナルニ付テハ得度ヲ受クルノ外別段ノ形式ナシトセハ僧籍ニ上佐ト記載スルト否ト又民籍上養子若ハ徒弟養子トシテ記載スルト否トハ上佐ノ財産相續權ニ何等ノ影響ナキヤ

三　上佐カ僧侶ノ財産ヲ相續スル慣習ハ慶尙南北道ヲ通シテ行ハレ居ルヤ否ヤ

○回答

一　僧侶ノ遺産ニ付テハ假令實子アルトキト雖モ上佐ニ於テ相續スル慣例ナリ

二　右上佐ノ財産相續權ハ僧籍ニ上佐ト記載シタルト否ト又民籍ニ養子若ハ徒弟養子トシテ記載シタルト否トハ三分ノ一、二人以上アルトキハ二分ノ一ヲ其ノ員數ニ應ジテ平分スル例トス

三　以上ハ朝鮮各道ヲ通シ異ナル所ナシ

【二二七】遺産相續ニ關スル件

（大正六年九月十八日平壤覆審法院長照會）
（同年十月二十日朝樞發第二三一號政務總監回答）

○要旨

一　祭祀相續人ニ對スル財産相續人ノ遺産分配請求權ハ分家ヲ爲スニ非ザレバ行使スルコトヲ得ズ

二　遺産分配ハ財産相續人一人ナルトキハ三分ノ一、二人以上アルトキハ二分ノ一ヲ其ノ員數ニ應ジテ平分スルヲ例トス

三　遺産ノ分配ハ現物ヲ以テスルヲ普通トスルモ換價ノ方法ニ依ルコトヲ得

遺産分配ハ分配ノ時ニ於ケル現存額ヲ限度トシ前記ノ割合ニ依ル

○照會

一　從來朝鮮ニ於テ戶主死亡シ嫡庶男數人アル場合ニ於テ遺産全部ハ一日祭祀相續人ノ所有ニ歸シ其他ノ嫡庶男ハ同遺産ニ付キ祭祀相續人ヲシテ相當ナル相續分ノ分配ヲ爲サシムル權利ヲ有スルニ過キサリシモノトスル慣習上其ノ請求權

行使ノ時期ハ限定セラレサルヤ

二　相續人カ分配ノ相當ナルト否トハ如何ナル標準ニヨリテ定マルヘキモノナリヤ例ヘハ祭祀相續人ノ任意ニヨルヤ相續當時ノ遺產ノ分量ニ應シ差異アルヘキヤ分配ハ現物ニ限ルヘキヤ又相續當時ノ遺產ノ全部又ハ一部カ請求當時既ニ祭祀相續人ノ財產ニ屬セサリシトキハ如何ニスヘキヤ等ノ諸點

○回　答

一　祭祀相續人ニ對スル財產相續人ノ遺產分配請求權ハ其ノ行使ノ時期ニ付慣習上終期ノ定限ナシト雖財產相續人カ分家ヲ爲スニ非サレハ之ヲ請求スルコトヲ得サル慣例トス

二　遺產分配ハ財產相續人一人ノミナルトキハ三分ノ一、二人以上ナルトキハ二分ノ一ヲ其ノ員數ニ應シ平等ニ分配スル慣例ニシテ祭祀相續人之ヲ定メ假令其ノ割合ニ多少ノ差異アルモ之カ爲異議ヲ唱フルカ如キコトナシ

三　遺產ノ分配ハ現物ヲ以テスルヲ普通トスルモ現物ヲ以テ分配スルコト能ハサル場合ニハ換價ノ方法ニ依ルコトアリ

相續開始當時ノ遺產ノ全部又ハ一部カ分配ノ時既ニ祭祀相續人ノ財產ニ屬セサル場合ニ於テモ分配ノ時ニ於ケル現存額ヲ限度トシテ前記ノ標準ニ據リ分配スル慣例ナリ

【二二八】影堂及其祭位土ニ關スル件

（大正六年九月十八日大邱覆審法院民事第二部裁判長照會）
（同　年十月二十日朝樞發第二三二號政務總監回答）

○要　旨

一　影堂トハ死者ノ畫像ヲ祀レル建物ヲ謂フ

二　地方儒林又ハ子孫ノ經營セル影堂ノ祭位土ハ其ノ經營者ノ所有トス寺刹ニ屬スル影堂ノ祭位土ハ寺刹ノ所有トス

○照　會

一　朝鮮ニ於ケル影堂ナルモノノ性質如何

管下人民カ郡守及觀察使等ノ遺德ト治蹟ヲ追慕尊崇シ建築物ヲ設ケ之ニ其位牌ヲ安置シ其子孫ト地方儒林トニ於テ祭祀シ來リシモノハ影堂ト稱シ得ヘキヤ

影堂祭位土ノ性質如何

影堂祭位土ハ地方儒林及被祭祀者一門ノ共有ト認ムル可キモノナルカ或ハ一種公共的財產ト認メ之カ管理處分ニ付キテハ隆熙四年學部令鄕校財產管理規程ヲ準用スルヲ相當トス可キモノナルヤ

祭位土ノ寄附者カ其子孫ナルト地方儒林ナルトニヨリ其ノ性質ニ差異アリヤ

○回　答

一　朝鮮ニ於テ影堂ト稱スルハ死者ノ畫像ヲ祀レル建物ニシテ郡守又ハ觀察使ノ遺德ヲ追慕シ其ノ位牌ヲ祀レル建物ハ之ヲ影堂ト稱スルコトナシ

二　影堂ハ地方儒林ノ經營セルモノアリ或ハ子孫ノ經營セルモノアリ又寺刹ニ屬スルモノアリ地方儒林及子孫ノ經營セル影堂ノ祭位土ハ其ノ經營者ノ所有ニシテ又寺刹ニ屬スル影堂ノ祭位土ハ寺刹ノ所有ナリ

而シテ其ノ寄附者ノ如何ニ因リ所有關係ニ影響ナシ

【二二九】後見人選定ニ關スル件

（大正六年八月十八日公州地方法院忠州支廳照會
同　年十一月二十一日朝樞發第二六六號政務總監回答）

○要　旨

一　女子ハ後見人トナルコトヲ得ズ

二　後見人ハ被後見人ノ財産ヲ管理シ處分スル權限ヲ有ス親族ノ同意ヲ要セズ

三　門會ガ後見人ニ對シ包括的財産ノ處分ヲ認容スル慣習ナシ

○照　會

一　幼年者タル戶主甲アル外亡乂ノ妾タル庶母乙及甲ノ兄嫂丙ノ三人ノ一家アリ而シテ幼年者甲ノ爲ニ兄嫂丙ヲ後見人ト爲サントス此ノ場合後見人選定ノ權アル親族ハ寸等ノ遠近ヲ問ハサルヤ將又他姓ノモノモ之ニ加ヘルコトヲ得ルヤ其ノ親族ノ範圍如何

二　前項親族ハ幾人ニテモ可ナルヤ最少數ニ付自ラ制限ノ存スルヤ

三　後見人ハ財産ノ管理行爲ニ付テノミ專斷權アリテ處分行爲ニ付テハ親族ノ同意ヲ要スルヤ

四　前項同意ヲ要ストセハ曩ニ後見人ヲ選定シタル親族全員ノ同意ヲ要スルヤ將又其ノ餘ノ親族ノ同意ニテモ可ナルヤ

五　親族會ハ包括的ニ後見人ニ財産處分權ヲ認容スルコトアルヤ

○回　答

一　朝鮮ノ慣習ニ於テハ女子ヲ後見人ト爲スコトヲ認メス故ニ幼年戶主ノ庶母及嫂ヲ後見人ニ選定スルコトヲ得ス

二　後見人ハ被後見人ノ財産ヲ管理シ及處分ヲ爲ス權限ヲ有シ之ニ付親族ノ同意ヲ要スルカ如キ慣習ナシ

三　門會カ後見人ニ對シ包括的財産ノ處分ヲ認容スルカ如キ慣習存セス

【二三〇】朝鮮人ト外國人トノ通婚ニ關スル件

（大正六年八月三十日京城地方法院照會）
（同　年十一月二十一日朝樞發第二六七號政務總監回答）

○要　旨

一　**韓國時代ニ於テ外國人トノ婚姻ヲ認メタル事例詳ナラズ**

○照　會

一　舊韓國（特ニ光武年間）政府ハ韓國人ノ男女カ外國人（特ニ支那人）ト婚姻スルコトヲ許可シタル慣例アリヤ
二　許可シタル慣例ナシトスルモ其ノ婚姻ヲ默認シ正式ノ夫婦トシテ取扱ヲ爲シタル慣例アリヤ
三　許可又ハ默認シタル婚姻ハ一定ノ方式ヲ履行シタルモノニ限リタルヤ否ヤ
四　若シ一定ノ方式ヲ要セサリシトセハ何等婚姻ノ式ヲ擧ケス事實上夫婦トシテ同棲シ四隣以テ夫婦ナリト認メ得ル關係アリトセハ正式ノ夫婦トシテ取扱ヲ爲シタル慣習アリヤ

○回　答

一　舊韓國政府カ韓國人ト外國人（特ニ支那人）トノ婚姻ヲ認メタル事例詳ナラス

【二三一】親權喪失ニ關スル件

（大正六年十一月十三日大邱覆審法院民事第一部裁判長照會）
（同　年十二月七日朝樞發第二八一號政務總監回答）

○要　旨

一　**親權喪失ヲ認ムル慣習ナシ**
二　**母カ子ノ財産ヲ管理スル場合ニハ著シキ不行跡アリテ財産ヲ危クスル虞アルトキハ親族會ハ管理ヲ爲サシメザルコトヲ得**

○照　會

一　朝鮮ニ於テ裁判所其他ノ官署ハ親權（子ノ監護及財産管理）ノ喪失ヲ宣言スルコトヲ得ル慣習アリシヤ、アリトセハ其ノ原因及手續
二　親權者ニ對シ子ノ財産ノ管理ヲ爲サシメサルコトヲ親族會ニ於テ議決シ又ハ裁判所其他ノ官署ニ於テ宣言スルコトヲ得ルノ朝鮮慣習アルヤ否ヤ
若シ斯ル慣習アリトセハ其決議又ハ宣言ヲ得ルニ付テノ原因竝手續及其決議又ハ宣言ノ效力

○回　答

一　朝鮮ニ於テハ親權喪失ヲ認ムル慣習ナシ

二　母カ子ノ財産ヲ管理スル場合ニ於テ著シキ不行跡アリ財産ヲ危クスル虞アルトキハ親族會ハ其ノ管理ヲ爲サシメス他人ヲシテ代リテ管理ヲ爲サシムルコトヲ得ヘシ

【二三二】青文記ノ效力ニ關スル件

（大正六年十一月九日高等土地調査委員會照會）
（同　年十二月十一日朝樞發第二八三號中樞院議長回答）

○要　旨

一　家契ハ開國五百二年始メテ京城ニ於テ發給シ漸次各開港地及開市地ニ及ブ地ニ及ブ敷地ガ家屋ノ所有者ニ屬セザルトキハ此ノ限リニ在ラズ

二　家契ハ家屋賣買ノトキニ發給シ所有ニ付テノ認證ナリト雖家契ノ效力ハ敷地ニ及ブ敷地ガ家屋ノ所有者ニ屬セザルトキハ此ノ限リニ在ラズ

三　官有空垈ニ許可ヲ得テ家屋ヲ建築シタル者ハ敷地ノ所有權ヲ取得ス

○照　會

一　本青文記ハ如何ナル規定ニ基キ發給セラレタルモノナルヤ又當時ノ郡守ハ青文記ヲ發給スル權限アリシヤ

二　家契ハ土地ニ其ノ效力ヲ及ホセシモノナリシヤ

三　官有空垈ナルコト明ナリト雖モ人民ニ於テ家屋ヲ建設セハ其ノ土地ノ所有權ヲ認メラルル慣習アリシヤ、若シアリトセハ何等ノ形式及條件ナク何人ト雖モ勝手ニ造家スルコトヲ得シヤ

○回　答

一　家契ハ開國五百二年始メテ京城ニ於テ發給シ漸次各開港地及開市地等ニ於テ發給セリ大邱ニ於テハ光武九年七月ヨリ郡守ノ名ヲ以テ之ヲ發給シ其ノ形式ハ本件青文記ト全ク同一ナリ

二　家契ハ家屋賣買ノ場合ニ發給スルモノト雖當初ハ一般家屋所有者ニ對シ之ヲ發給シタリ而シテ其ノ性質ハ家屋ノ賣買(又ハ所有)ニ付官ニ於テ之ヲ認證スルモノナリト雖慣習上家屋ト其ノ敷地トノ所有者カ同一ナルトキハ特約ヲ以テ敷地ヲ留保セサル限リ敷地モ亦家屋ト共ニ賣買シタルモノト看做セシヲ以テ此ノ場合ニハ家契ノ效力其ノ敷地ニ及フ之ニ反シ其ノ敷地カ家屋ノ所有者ニ屬セサル場合ニ於テハ家契ノ效力敷地ニ及ハサリシモノトス

三　官有空垈ニ家屋ヲ建造シタル場合ニ付テハ甲午改革ノ前ニ於テハ其ノ家屋ノ建造カ官ノ許可ヲ受ケタルモノナルトキハ其ノ敷地ハ自然其ノ者ノ所有ニ歸シタルモ擅ニ家屋ヲ建造シタルモノナルトキハ然ラス又人民ハ官有空垈ニ自由ニ家屋ヲ

建造スルコトヲ得タル慣習存セス

【二三三】養子緣組取消請求ニ關スル件

（大正六年十一月八日平壤地方法院民事部裁判長照會）
（同　年十二月十二日朝樞發第二八四號政務總監回答）

○要　旨

一　養母養子ト姦淫スルトキハ叔父ヨリ緣組ノ取消ヲ請求スルコトヲ得ル慣習ナシ

○照　會

一　朝鮮人ノ養母養子間ニ於テ姦淫ノ事實アル場合ニ養子ノ最高尊族親タル叔父ヨリ右養子緣組ノ取消ヲ訴求シ得ヘキ慣習存在スルヤ

ニ　前項ノ慣習アリトセハ養子ノ尊族親タル叔父カ兄弟二人アル場合ニ其內孰レノ一人ヨリモ訴求シ得ヘキモノナルヤ將タ兄一人ノミニ限ラルルヤ殊ニ其兄カ養子ノ實父タル關係アル場合ニ於テハ弟ヨリ訴求シ得ヘキ慣習アルヤ

○回　答

一　問ノ如キ場合ニ養子ノ叔父ヨリ養子緣組ノ取消ヲ訴求スルコトヲ得ル慣例ナシ

【二三四】重婚ニ關スル件

（大正六年十一月二十一日京城覆審法院刑事部裁判長照會）
（同　年十二月十二日朝樞發第二八五號政務總監回答）

○要　旨

一　妻アル男子又ハ夫アル女子ガ重ネテ婚姻シタルトキハ無效トス

○照　會

一　朝鮮慣習上妻アル男子重ネテ他女ト婚姻ヲ爲シタルトキ其婚姻ハ當然無效ナリヤ將タ取消シ得ヘキニ止マルヤ

○回　答

一　朝鮮ニ於テハ妻アル男子又ハ夫アル女子カ重ネテ婚姻ヲ爲シタルトキハ其ノ婚姻ハ之ヲ無效トスル慣例ナリ

【二三五】郡守ノ權限ニ關スル件

（大正六年十月二十九日大邱覆審法院民事第一部裁判長照會）
（同　年十二月十八日朝樞發第二九四號政務總監回答）

○要　旨

一　郡守ハ廳舍其他官有物修繕ノ費用ヲ支辨スル爲メ烽燧ノ基地ヲ賣却スル權

限ナシ

○照　會

一　舊韓國光武三年八月十二日前後ニ於ケル郡守ハ廳舍其ノ他官有物修繕費用支辨ノ必要ニ因リ烽燧臺ノ基地ヲ人民ニ賣却其ノ他處分スル權限ヲ有セシヤ

二　右權限アリシトセハ其處分ニ付テハ別紙甲第一號證ノ如キ形式ニ依リシヤ否ヤ

○回　答

一　光武三年頃ニ於テハ郡守ハ廳舍其ノ他官有物修繕ノ費用ヲ支辨スル爲烽燧ノ基地ニ付テハ之ヲ人民ニ賣却其ノ他ノ處分ヲ爲ス權限ヲ有セサリシモノトス

【二三六】遺産相續ニ關スル件

（大正六年十一月二十一日京城地方法院民事第一部裁判長照會）
（同七年一月二十一日朝樞發第一八號政務總監回答）

○要　旨

一　祭祀相續人タル嫡長子ガ亡父ノ遺産ヲ分配セザルトキハ他ノ嫡庶子ハ分家ニ際シ之ヲ請求スルコトヲ得

庶子ノ分配額ハ嫡子ヨリ少キヲ例トス

○照　會

一　亡父ノ遺産ニ付嫡長子タル祭祀相續人ニ對シ相續分ノ分配ヲ受クル權利アル他ノ嫡庶子ハ嫡長子カ相續分ヲ決定セサル場合ニ於テハ永久ニ其ノ權利ヲ行使スルコト能ハサルモノナリヤ

二　嫡長子カ遺産ノ分與ヲ欲セサルカ爲數年間相續分ヲ決定セサル場合ニ於テハ他ノ嫡庶子ハ自ラ相當ノ相續分ヲ指定シ其ノ權利ノ確定又ハ遺産ノ分割ヲ要求シ得ルノ慣例ナキヤ

三　祭祀相續人以外ノ嫡庶子ハ嫡子二庶子一ノ割合ニ依リ遺産ノ分配ヲ受クヘキ慣例アリヤ

○回　答

一　亡父ノ遺産ニ付祭祀相續人タル嫡長子カ遺産ノ分配ヲ爲ササルトキハ他ノ嫡庶子ハ分家ノ際其ノ分配ヲ請求スルコトヲ得ヘシ而シテ其ノ分配額ハ庶子ハ嫡子ヨリ少キヲ慣例トスルモ其ノ割合ニ付確タル定率ナシ

【二三七】堌水稅ニ關スル件

（大正六年十二月三日平壤覆審法院民事部裁判長照會）
（同七年一月二十一日朝樞發第一九號政務總監回答）

○要　旨

一　堌又ハ畓ノ所有者ニ變更アルトキハ水稅ニ關スル權利義務ハ當然ニ移轉ス

○照　會

一　蒙利畜所有者カ築垌者又ハ垌ノ所有者ニ對シ水稅支拂ヲ約束シタル後垌又ハ畜ノ所有權カ他人ニ移轉シタル場合

（一）　垌ノ新所有者ハ當然右約束ニ基キ水稅取立ヲ爲シ得ル慣習アリヤ

（二）　畜ノ新所有者ハ當然右約束ニ基キ水稅支拂ヲ爲スヘキ慣習アリヤ

○回　答

一　築垌者又ハ垌ノ所有者ニ對シ蒙利畜ノ所有者ヨリ水稅ヲ支拂フヘキ約定アル場合ニ於テハ垌又ハ畜ノ所有者ニ變更アルモ新ニ垌又ハ畜ノ所有者トナリタルモノ當然其ノ權利義務ヲ承繼スル慣習ナリ

【二三八】次養子ニ關スル件

（大正六年十二月四日光州地方法院全州支廳裁判長照會）
（同　七年二月十九日朝福發第五七號政務總監回答）

○要　旨

一　戸主タル次養子ガ子ナクシテ死亡シ其ノ家ニ養母及養祖母在ラザルトキハ更ニ養子ヲ爲ス迄次養子ノ妻戸主ト爲リ遺産ノ全部ヲ相續ス

二　前項ノ場合ニ於テ養母又ハ養祖母アリテ戸主ト爲ルトキハ前戸主タリシ次養子ガ先ニ相續シタル財産ノミヲ相續シ次養子ノ將來シタル財産ハ其ノ妻之ヲ繼承ス

○照　會

一　戸主タリシ次養子男子ナクシテ死亡シ其ノ家ニ養母ノ母或ハ養母アラサルトキハ次養子ノ妻ハ戸主トナリ遺産ヲ相續シ得ルヤ

二　次養子ハ其戸主タリシ時代ニ特有財産ヲ所有シ得ル慣習アリヤ（例ヘハ次養子カ其實家ヨリ自己ニ贈與ヲ受ケタル不動產ヲ其特有財產トスルカ如キ）

若シ特有財產ヲ有スル慣習アリトセハ其戸主タリシ次養子男子ナクシテ死亡シ其家ニ養母ノ母アリテ同人カ戸主トナリ遺產ヲ相續スヘキ場合ニ於テ右次養子ノ特有財產ハ養母ノ母相續ヲ爲サスシテ次養子ノ妻ニ於テ相續スル慣習アリヤ

○回　答

一　戸主タリシ次養子男子ナクシテ死亡シ其ノ家ニ養母及養祖母在ラサルトキハ更ニ養子ヲ爲スマテ次養子ノ妻戸主トナリ亡次養子カ將來シタル財產及戸主トナリタル際相續シタル財產ヲ併セテ相續ス

二　次養子カ戸主タル場合ニハ其ノ將來シタル財產ト戸主トナリタル際相續シタル財產トノ間ニ慣習上之カ區分ヲ認ム故ニ次養子死亡シ其ノ家ニ養母又ハ養祖母アリテ戸主トナル場合ニハ其次養子カ將來シタル財產ハ其ノ妻ニ於テ之ヲ繼承シ戸

主トナリタル養母又ハ養祖母ニ於テ繼承セス

【二三九】耕食者ノ權利ニ關スル件

（大正七年一月九日高等法院長照會）
（同　年二月二十三日朝福發第六二號政務總監回答）

○要　旨

一　平安北道博川郡德安面地方ニハ泥生地ヲ畓ト爲シテ耕作スルタメ貸借ヲ爲ス慣習アリ其ノ貸借期間ハ三年乃至六年ヲ通例トシ借主ノ權利ハ物權的效力ヲ有シ該土地所有權ノ讓受人ニ對抗シ得ルモノトス

○照　會

一　明治四十年頃本安北道博川郡德安面地方ニ於テ土地所有者トノ間ニ契約ヲ締結シ泥生地ヲ防塞シテ畓ト爲シ六年間耕食スルノ權利ヲ取得シタル者アリ右ノ如キ耕食者ノ權利ハ朝鮮古來ノ慣習ニ於テ物權的效力ヲ認メタルモノナリヤ單ニ債權的效力ヲ有スルニ過キサリシヤ

二　前項防塞契約ニ因ル耕食期間內ニ土地所有者カ其ノ畓ノ所有權ヲ第三者ニ讓渡シタルトキハ耕食者ハ買受人タル第三者ニ對シテモ防塞契約ニ依リ取得シタル耕食スルノ權利ヲ對抗シ得タル慣習アリヤ

○回　答

一　平安北道博川郡德安面地方ニハ泥生地ヲ畓ト爲シ之ヲ耕作スルタメ貸借ヲ爲ス慣習アリ其ノ期間ハ契約ヲ以テ定メ三年乃至六年ナルヲ通例トス而シテ借主ノ權利ハ物權的效力ヲ有シ貸借ノ期間內ニ土地所有者カ其ノ所有權ヲ第三者ニ讓渡シタルトキト雖借主ハ其ノ權利ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得ヘシ

【二四〇】養子ニ關スル件

（大正七年二月五日大邱覆審法院民事第一部裁判長照會）
（同　年五月二十一日朝福發第一三五號政務總監回答）

○要　旨

一　戶主甲男ノ死亡ニ因リ其ノ子乙戶主ト爲リタルモ子ナクシテ死亡シ其ノ妻他ニ再嫁シタル場合ニ於テ甲ノ妻ガ甲ノ弟ノ子丙ヲ養子ト爲スハ普通ノ養子ニシテ次養子ニ非ズ

二　前項ノ場合ニ於テ乙ノ妻が再嫁セザリシトキハ丙ハ次養子ナリ
前項ノ養子丙死亡シ子ナキ場合乙及丙ノ妻在ルトキニ於テモ甲ノ妻戶主ト爲リ財産ヲ承繼ス

三　前項ノ場合ニ於テ其ノ家ニ丙ノ妻ノミ在ルトキハ丙ノ妻戸主ト爲リ財産ヲ承繼ス

○照　會

一　甲男戸主死亡シ其子乙男相續シ且婚姻シタルモ乙男ニハ子(男女トモ)無クシテ死亡シ而シテ乙男ノ妻ハ他ニ再嫁シ其家ヲ去リタリ依テ甲ノ妻ハ甲ノ弟ノ子丙ヲ迎ヘテ甲男ノ養子トセリ

右養子ハ朝鮮慣習上普通ノ養子ナリヤ將タ次養子ト稱スヘキモノナリヤ

二　右ノ養子丙ハ養子ト爲リタル後婚姻シタルモ是亦男女ノ子ナクシテ死亡シタル場合丙カ

イ、普通ノ養子ナルトキ

ロ、次養子ナルトキ

ニ區別シ甲家ノ戸主ト爲リ財産ヲ承繼スル者ハ甲ノ妻ナルヤ丙ノ妻ナルヤ將タ又乙ノ妻(再嫁セスシテ其家ニ在リトセハ)ナリヤ

三　前記ノ如キ場合ニ其家ニハ丙ノ妻ノミ在リテ甲乙等ノ妻又ハ尊屬親モ在ラサルトキハ丙ノ妻ハ丙カ普通ノ養子ナリシトキハ勿論次養子ナリシトキト雖モ其ノ家ノ戸主ト爲リ財産ヲ承繼スヘキモノナリヤ又ハ丙カ次養子ナリシトキハ丙ノ死亡ト同時ニ夫ノ養家(甲家)ヲ去リテ丙ノ生家ニ復歸シ甲家ノ財産ニ付テハ管理其他何等ノ權利ヲモ有セサルモノナルヤ若ハ財産ニ付テハ何等ノ權利ヲ有セサルモ甲家ノ家族トシテ其家ニ留マルヘキモノナリヤ

○回　答

一　戸主甲男ノ死亡ニ因リ其子乙男戸主トナリ且婚姻ヲ爲シタルモ子ナクシテ死亡シ其ノ妻他ニ再嫁シタル場合ニ於テ甲ノ妻カ甲ノ弟ノ子丙ヲ養子ト爲シタルトキハ其ノ養子ハ慣習上普通ノ養子ニシテ次養子ニ非ス

二　前項ノ養子丙死亡シ子ナキ場合ニ於テハ其ノ家ニ乙ノ妻及丙ノ妻アルトキト雖甲ノ妻ニ於テ戸主トナリ財産ヲ承繼ス而シテ丙カ次養子タル場合(乙ノ妻カ再嫁セサルトキハ丙次養子タリ)モ亦之ニ異ラス

三　前項ノ場合ニ於テ其ノ家ニ丙ノ妻ノミ在リテ甲ノ妻及乙ノ妻竝ニ其ノ他ノ尊屬親在ラサルトキハ丙ノ妻戸主トナリ財産ヲ承繼ス而シテ丙カ次養子タル場合ニ於テモ亦乙ノ養子ヲ爲スニ至ルマテ丙ノ妻ニ於テ戸主トナリ財産ヲ承繼スルモノトス

【二四一】洑ノ所有權竝水稅徵收權ノ讓渡ニ關スル件

（大正七年三月二十日海州地方法院照會）
（同　年六月二十一日朝福發第一五八號政務總監回答）

○要　旨

一　本幹及數個ノ支線ヨリ成レル洑ノ所有者ハ支線ヲ本幹ヨリ分割シテ賣渡ス

コトヲ得

二　水稅ヲ收ムル權利ハ蒙利畓ノ面積ニ據リ分割シテ數人ニ讓渡スコトヲ得

三　洑ノ支線ノ賣渡ハ物權的效力ヲ生ジ工作物タル洑ノ所有權ヲ移轉スルモ水稅ヲ收ムル權利ハ債權ニ過ギザルヲ以テ物權的效力ヲ生ゼズ

○照　會

一　數個ノ小洑ヨリ成レル大洑ノ所有者(築洑者卽洑用水料徵收權者)ハ其數個ノ小洑(用水權)ヲ數人ニ分割シテ賣渡スコトヲ得ルヤ

(別紙略圖(イ)ヲ大洑トシ(ロ)(ハ)(ニ)(ホ)ヲ小洑ト爲シ而シテ(ロ)(ハ)(ニ)(ホ)ノ洑水ハ總テ(イ)洑ヨリ流レ來ルモノニシテ別途ニヨリ引水スル能ハサルモノト假定ス)

二　築洑者ハ洑水ヲ畓ニ引用シテ利益ヲ享クル畓ノ所有者ヨリ一定ノ水稅ヲ徵收スル權利ヲ有スル處今其洑水引用畓ヲ五百石落ト假定セムニ該築洑者ハ其中畓三百石落ニ對スル洑用水權(水稅徵收權)ハ甲ニ其殘畓ニ對スル用水權ヲ乙ニ讓渡スルコトヲ得ルヤ

三　以上二場合ノ物權的移轉ハ慣習上許サルヘキモノナリヤ

○回　答

一　本幹及數個ノ支線ヨリ成レル洑ノ所有者ハ其ノ支線ヲ數人ニ分割シテ賣渡スコトヲ得

二　洑ノ所有者ハ水稅ヲ收ムル權利ヲ蒙利畓ノ面積ニ據リ數人ニ分割シテ讓渡スコトヲ得

三　右一ノ場合ニ於テハ工作物タル洑ノ所有權ヲ移轉スルモノナルヲ以テ物權的效力ヲ生スルモ二ノ場合ハ水稅ヲ收ムル債權ニ過キサルヲ以テ物權的效力ヲ生セス

【二四二】子ノ特有財産ニ關スル件

（大正七年四月二十四日高等法院長照會
同　年六月二十四日朝福發第一六二號政務總監回答）

○要　旨

一　**從前ノ慣習ハ戶主タル父ト同居スル子ガ獨立ノ生計ヲ立テザル場合ト雖相當ノ年齡ニ達シタル後ハ其ノ特有財産ニ對シ父ノ管理收益權ヲ認メズ**

○照　會

一　朝鮮ニ於テ戶主タル父ト同居スル子ニシテ未タ獨立ノ生計ヲ立テサルモ相當ノ年齡ニ達シタル場合ニ父ハ其子ノ特有財產ニ對シ管理收益ヲ爲ス權利ヲ有スル慣習アリヤ

二　前例ノ場合ニ子ノ債務者カ債務ノ辨濟ヲ父ニ對シテ爲シ父ニ於テ之ヲ受領シタルトキハ其辨濟ハ子ニ對シテ爲シタルト同一ノ效力ヲ有スルモノト認ムル慣習アリヤ

○回　答

一　朝鮮ノ慣習ニ於テハ戸主タル父ト同居スル子カ獨立ノ生計ヲ立テサル場合ト雖相當ノ年齢ニ達シタル後ハ其ノ特有財産ニ對シ父ニ於テ管理收益ヲ爲スコトヲ認メス隨テ子ノ債務者カ父ニ對シテ爲シタル辨濟ハ子ニ對シテ之ヲ爲シタルト同一ノ效力ヲ有セス

【二四三】後見竝遺産相續ニ關スル件

（大正七年四月十七日公州地方法院江景支廳照會
同　年六月二十四日朝樞發第一六三號政務總監回答）

○要　旨

一　近來實際ノ必要上ヨリ後見人ト爲ルベキ適當ノ男子ナキ場合ニハ曾祖母・祖母ノ如キハ女ト雖後見人ト爲ルコトアリ

二　戸主ノ弟(未婚)死亡シ其ノ家ニ嫡母及生母アル場合死者ノ遺産ハ生母ニ於テ相續スル慣習ナリ

三　家族タル未成年者ニ父母ナキトキハ戸主法定代理人トシテ未成年者ノ財産ヲ管理スル慣習アリ

右ノ場合ニ於テ戸主ガ女子タルトキト雖親族ト協議スルヲ要スル慣習ナシ

○照　會

一　朝鮮人ニシテ一族一門中ニ男子存在セルコト判明セサル場合ニ於テ親權者ナキ未成年者タル戸主ノ後見人(保護者)ハ如何ニシテ選定スヘキモノナルヤ

但シ近親者中ニハ女子アリ

二　別紙寫ノ如キ戸籍面アリ戸主ノ弟間容カ死亡シタル場合ニ於テ右遺産土地ハ戸主金順容ニ於テ相續スヘキヤ將タ庶母李在新ニ於テ相續スヘキモノナリヤ

三　朝鮮人ノ後見人ヲ定ムル場合ハ未成年者又ハ精神病者カ戸主タル場合ニ限ル慣習ナルカ如シ然ラハ未成年者カ家族ニシテ親權ヲ行フ父母ナキ場合ハ其ノ未成年者ノ所有財産ハ何人ニ於テ管理スヘキモノナリヤ此ノ場合ニ於テハ戸主ニ於テ其ノ財産ヲ管理收益ヲ爲ス慣習（慣習調査報告書第百四十二第二項參照）ナルカ如キモ尙家族ノ特有財産ナリト雖モ戸主ニ於テ自由ニ處分シ得ル慣習（同報告書第百二十一參照）アルカ如シ果シテ然ラハ右戸主カ未成年者タル家族ノ特有財産ニ對シ管理收益ヲ爲スハ未成年者タル家族ノ爲メニナスニ非ラサルヲ以テ未成年者タル戸主ノ後見人ト同一視スルヲ得ス、サレハ右家族タル未成年者ノ所有財産ヲ處分セントスル場合ニ於テハ戸主トシテ登記申請ヲ爲スヘキモノナリヤ否ヤ

ロ、　前問ノ如ク家族ノ特有財産ナリト雖モ戸主ニ於テ自由ニ處分シ得ル慣習ナリトセハ戸主タル以上ハ女子（本問ノ場合戸主ハ家族タル未成年者ノ祖母）ナリト雖モ單獨ニテ處分シ得ルヤ又ハ未成年者タル家族ノ伯叔父ニ協議ヲ爲シ其ノ補助ヲ受クル慣習ナリヤ

ハ、右ノ場合ニ於テ未成年者ノ伯叔父ニ協議シ補助ヲ受クヘキ慣習ナリトセハ右未成年者ノ所有財産ヲ未成年者ノ叔父ニ所有權ヲ移轉セントスル場合他ニ伯叔父ナキ場合ハ門會ノ協議ヲ要スヘキ慣習ナリヤ本問ノ場合ハ戸主ハ女子ナリト雖モ未成年者ノ爲メニ處分スルニ非ラスシテ戸主トシテ家族ノ財産ヲ處分スヘキモノナルニ付門會等ノ協議ヲ要セサルモノト思料スルモ果シテ如何

○回　答

一　從前ニ於テハ女子ハ後見人トナルコトヲ得サリシモ近來實際ノ必要上ヨリ後見人トナルヘキ適當ノ男子ナキ場合ニハ曾祖母・祖母ノ如キハ女子ト雖後見人トナルコトアリ

二　別紙戸籍ノ場合ニ於テ戸主ノ弟間容死亡シタルトキハ其ノ遺産ハ生母タル李在新之ヲ承繼ス

三　イ、家族タル未成年者ニ父母ナキトキハ戸主(通例其ノ兄)慣習上代理人トシテ未成年者ノ財産ヲ管理ス隨テ登記ノ申請ニ付テハ法定代理人トシテ之ヲ爲スモノトス

ロ・ハ、右ノ場合ニ於テ戸主カ女子タルトキト雖家族タル未成年者ノ財産ヲ管理スルニ付他ノ親族ト協議ヲ爲スコトヲ要スル慣習存セス

本籍	事由	事由	事由	事由
忠清南道論山郡連山面梧山里八番地				大正四年參月八日午後七時忠清南道論山郡連山面梧山里壹統七戸ニ於テ死亡

戸主		身位	母		身位	庶母		身位	弟		
本	光山	前戸主	金享洙	父	趙東勝	父	李錫疇	父	金享洙	父	李在新
戸主トナリタル原因及其年月日				母	南熙	母	吳氏	母	李在新	母	李在新
父	金享洙	出生別	長男	姓名	趙新村	姓名	李在新	姓名	間容	姓名	間容
母	趙新村	長男		生年月日	明治四年拾月拾日	生年月日	明治參年貳月四日	生年月日	明治四拾貳年貳月參日	生年月日	明治四拾貳年貳月參日
姓名	金順容										
生年月日	明治參拾參年五月拾五日										

戸主		身位	母		身位	庶母		身位	弟		
本	光山	前戸主	金享洙	父	趙東勝	父	李錫疇	父	金享洙	父	李在新
戸主トナリタル原因及其年月日				母	南熙	母	吳氏	母	李在新	母	李在新
父	金享洙	出生別	長男	姓名	趙新村	姓名	李在新	姓名	間容	姓名	間容
母	趙新村	長男		生年月日	明治四年拾月拾日	生年月日	明治參年貳月四日	生年月日	明治四拾貳年貳月參日	生年月日	明治四拾貳年貳月參日
姓名	金順容										
生年月日	明治參拾參年五月拾五日										

【二四四】平壤關帝廟ニ關スル件

（大正七年七月二日平壤覆審法院民事部裁判長照會）
（同年九月十九日朝樞發第二二三號政務總監回答）

○要旨

一　平壤關帝廟ハ創立ノ頃ヨリ獨立シテ財產ヲ所有シ來レリ

○照會

一　平壤ノ關帝廟（一名平壤西廟）ハ古來ヨリ獨立シテ財產ヲ所有シ來リタルモノナリヤ否ヤ

○回答

一　平壤關帝廟（一名平壤西廟）ハ創立ノ頃ヨリ獨立シテ財產ヲ所有シ來レリ

【二四五】舍音ニ關スル件

（大正七年九月十七日大邱覆審法院民事第一部裁判長照會）
（同年十二月十一日朝樞發第二八四號政務總監回答）

○要旨

一　舍音ハ地主ニ代リテ小作地ヲ管理シ小作契約ヲ爲シ小作料ノ取立ヲ爲スヲ其ノ本來ノ事務トス

二　舍音ハ特約ナキ限リ未收入又ハ取立不能ノ小作料ニ付地主ニ對シ其ノ責ニ任ゼズ

三　舍音ガ地主ノ爲ニ其ノ承諾ヲ得テ取立テタル小作籾ヲ貸付利殖スル場合其ノ未收若ハ回收不能ニ付責ニ任ゼズ

四　舍音ノ身元保證ニ付テハ慣習ノ見ルベキモノナシ

五　春季又ハ夏秋ニ於テ穀類ヲ借受ケ秋季收穫ノ後元利ヲ返濟スル場合其ノ利息ヲ長利ト稱ス

長利ハ元本ト同種ノ物ヲ以テシ利率ハ普通五割トス

○照會

一　舍音本來ノ事務及其義務ノ範圍如何

二　舍音ハ未收若ハ取立不能ノ小作料ニ付テモ地主ニ對シテハ一定ノ時期ニ之ヲ給付スヘキ慣習アリヤ

三　舍音カ其取立テタル小作籾又ハ麥等ヲ豫メ地主ノ包括的承諾ヲ得テ隨意ニ借主・利率・數額ヲ定メ貸付利殖シタル場合ニ舍音ハ其貸付ケタル籾又ハ麥等ニ付未收又ハ回收不能ノ分アルモ地主ニ對シ當然責ニ任スヘキ慣習存スルヤ

右ノ場合ニ舍音ハ當然ノ責任ナシトスルモ舍音カ小作料取立前豫メ地主ニ對シ任置票若ハ封置票ト稱スル證書ヲ差入レタル時ハ未收又ハ回收不能ノ分ニ付テモ地主ニ支拂ヲ爲スヘキ義務アリヤ、若シアリトセハ舍音トシテノ義務ナル

ヤ或ハ舍音タル資格ヲ離レ一ノ新ナル特別義務ヲ負擔シタルモノナルヤ

四　舍音ノ身元保證人ハ第二第三ノ場合ニ於テ舍音カ小作人ヨリ未收又ハ取立不能ニ屬スル小作籾及小作料ノ借受人ヨリ未收又ハ回收不能ニ屬スル小作料ニ付テモ保證責任アリヤ

五　長利ノ意義如何

○回　答

一　舍音ハ地主ニ代リテ小作地ヲ管理シ小作契約ヲ爲シ小作料ノ取立ヲ爲スヲ其ノ本來ノ事務トス而シテ取立テタル小作料ハ之ヲ地主ニ引渡スヘキコト勿論ニシテ此等ハ舍音ノ事務ノ範圍ニ屬スルト同時ニ地主ニ對スル義務ナリトス

二　舍音ハ未收入又ハ取立不能ノ小作料ニ付地主ニ對シ其ノ責ニ任セサル慣習ナルモ地主トノ特約ニ因リ之カ責ニ任スルコトアリ

三　舍音カ豫メ地主ノ承諾ヲ得テ其ノ取立テタル小作籾又ハ麥等ヲ隨意ニ貸付利殖シタル場合ニ於テ其貸付カ地主ノタメニシタルモノナルトキハ未收若ハ回收不能ノ分アルモ地主ニ對シ其ノ責ニ任スヘキ慣習存セス然レトモ其ノ貸付カ自己ノタメニシタルモノナルトキハ舍音ハ當然其ノ責ニ任スヘキ慣習ニシテ小作料取立前豫メ地主ニ對シ任置票(若ハ封置票)ヲ差入レタル場合ニ於テモ同一ナリ而シテ此等

ノ場合ニ於ケル舍音ノ責任ハ舍音本來ノ義務ノ範圍ニ屬セス

四　舍音ノ身元保證ニ付テハ未タ慣習ノ見ルヘキモノナシ

五　春季又ハ夏季ニ於テ穀類ヲ借受ケ秋季收穫ノ後元利ヲ返濟スル場合ニ於テ其ノ利息ヲ長利ト稱ス返濟ハ元本ト同種ノ物ヲ以テシ利率ハ普通五割トス

【二四六】 洑稅ノ支拂ニ關スル件

(大正七年十一月一日京城地方法院照會
同　年十二月十四日朝樞發第二八九號政務總監回答)

○要　旨

一　洑稅ノ支拂ハ特約アル場合ノ外洑主ノ住所ガ洑所在地ヲ距ルコト三里以內ナルトキハ洑主ノ住所ニ於テ爲シ、三里以上ナルトキハ洑主ノ指定シタル洑所在地附近ノ場所ニ於テ爲スヲ例トス

○照　會

一　朝鮮ニ於ケル洑ノ所有者カ其洑ノ所在地ト異ナル他ノ地方ニ住所ヲ有スル時ハ其洑水ヲ使用スル者等ハ其洑稅ヲ洑ノ所有者ノ住所地ニ持參ノ上履行スルノ慣習アリヤ若ハ洑ノ所有者カ其洑水ヲ使用スル者等ノ住所地ニ赴キ其洑稅ヲ取

立ツルノ慣習アリヤ否ヤ

ニ　前段ノ慣習アリトセハ其洑カ轉輾シテ數人間ニ譲渡サレタル場合ニモ最後ノ洑ノ所有者ノ住所地ヲ洑稅ノ履行地トスルノ慣習ナリヤ

例ハ黄海道延白郡ニアル洑ヲ京城府ニ住所ヲ有スル者カ之ヲ買受ケタリトセハ其洑水ヲ使用スル延白郡ニ居住スル者等ハ其洑稅ヲ洑ノ所有者ノ住所地タル京城府ニ持參ノ上履行スルノ慣習ノ有無

○回　答

一　洑ノ所有者カ其ノ洑ノ所在地ト異ナル地方ニ住所ヲ有スル場合ニ於テ洑稅ノ支拂ハ特約アル場合ノ外洑ノ所在地ヲ距ルコト三里以内ナルトキハ洑所有者ノ住所ニ於テシ三里以上ナルトキハ洑所有者又ハ其代人洑所在地ノ部落ニ臨ミ若ハ其ノ附近ノ場所ヲ指定シテ支拂ヲ受クルヲ例トシ其ノ洑カ他人ニ譲渡サレタル場合ニ於テモ異ルコトナシ

【二四七】賭地權ニ關スル件

（大正七年五月一日平壤地方法院民事部裁判長照會／同　八年二月六日朝樞發第四七號政務總監回答）

○要　旨

一　平安南道大同郡地方ニ元賭地（原賭地）及轉賭地ト稱スル小作慣習アリ

元賭地ノ慣行ハ南串面ノミニ存シ小作契約ヲ爲ス際小作人ヨリ地主ニ對シ協定シタル金額ヲ無利息ニテ寄託シ其ノ金額ノ多小ニ依リ小作料ヲ約定スルモノニシテ小作人ハ地主ノ承諾ヲ得ルニ非ザレバ其ノ權利ヲ譲渡スルコトヲ得ザルモノナリ

轉賭地ノ慣行ハ南串面及大同江面ニ存シ河川沿岸ノ土地ニ付小作人ガ地主ト協議ノ上勞力ヲ供シテ堤防ヲ築クニ因テ其ノ小作權ヲ得タルヲ通例トシ小作料ノ割合ハ比較的ニ少クシテ小作人ハ地主ノ承諾ヲ得ズシテ其ノ權利ヲ譲渡スコトヲ得又地主ノ特定承繼人ニ對抗スルコトヲ得ルモノナリ

○照　會

一　朝鮮ニハ他人ノ所有土地ノ耕作者ニ原賭地權、轉賭地權ナル權利ヲ有スルコトヲ認ムル慣習アリヤ之ヲ認ムトセハ其ノ各權利ノ取得原因、性質、效力、殊ニ其ノ各權利ハ其ノ權利者ニ於テ地主ノ承諾ヲ得ス隨意ニ之ヲ譲渡スルコトヲ得ルヤ又其ノ譲渡ハ譲受人ヨリ當然地主ニ對抗シ得ヘキヤ

○回　答

一　平安南道大同郡地方ニ元賭地（原賭地トモ稱ス）及轉賭地ト稱スル小作慣習アリ元賭地ノ慣行ハ南串面ニノミ存シ小作契約ヲ爲ス際小作人ヨリ地主ニ對シ協定シタ

ル金額ヲ無利息ニテ寄託シ其ノ金額ノ多少ニ依リ小作料ヲ約定スルモノニシテ小作料ハ毎年秋收後ニ之ヲ支拂フモノトス而シテ契約ノ際地主ヨリ賭地票ヲ小作人ニ交付シ小作人ヨリ支定票ヲ地主ニ差入ルルヲ例トシ右寄託金ハ契約終了ノ際地主ヨリ小作人ニ返還スヘキモノニシテ若シ小作人カ小作料ヲ支拂ハサルトキハ地主ハ右寄託金ヲ小作料ニ充當スルコトヲ得又小作人ハ地主ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ小作權ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得ス小作人カ適法ニ小作權ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ寄託金ノ返還ヲ受クル權利ハ當然之ヲ包含スルモノトス而シテ地主カ其ノ土地ヲ他人ニ讓渡シタルトキハ地主ヨリ小作人ニ支定票ヲ返還シ小作人ヨリ賭地票ヲ返還セシメ讓受人ト小作人トノ間ニ賭地票及支定票ノ授受ヲ爲スヲ例トシ此ノ場合ニ於テハ讓渡人ハ寄託金返還ノ義務ヲ免レ讓受人ニ於テ負擔スル慣習ナリ

轉賭地ノ慣行ハ南串面及大同江面ニ存シ河川沿岸ノ土地ニ付小作人カ地主ト協議ノ上勞力ヲ供シテ堤防ヲ築キ仍テ其ノ小作權ヲ得タルヲ通例トシ小作料ハ一般ノ小作ニ比シ其ノ割合少キモノトス而シテ小作人ハ地主ノ承諾ヲ得スシテ其ノ權利ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得ヘク讓受人ハ當然之ヲ以テ地主ニ對抗スルコトヲ得ヘシ

又地主カ其ノ土地ヲ他人ニ讓渡シタル場合ニ於テハ小作人ハ其ノ權利ヲ讓受人ニ對抗スルコトヲ得ヘシ

【二四八】他人ノ空地ニ於ケル家屋建設ニ關スル件

（大正八年四月一日京城地方法院照會）
（同　年四月三十日朝樞發第一一三號政務總監回答）

○要　旨

一　從前家屋建設ノ爲田畓ノ如キ空地ノ貸渡ヲ求メラルルトキハ土地所有者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ザル慣習存セシモ今存セズ

○照　會

一　朝鮮ノ慣習トシテ他人ノ所有ニ係ル田、畓等ニ人ノ住居スル家屋ヲ建築スルモ田、畓ノ所有者ハ之ヲ拒ムコトヲ得サルモノナリヤ

二　右ノ建築家屋ニ對シテハ田、畓ノ所有者ハ其ノ土地ニ付賃料トシテ永久的ニ一定ノ賭租ヲ取立ツル權利アルモ其ノ家屋ノ取拂ヲ請求スル權利ナキモノナリヤ

○回　答

一　従前ニ於テハ家屋建設ノ爲田畓ノ如キ空地ノ貸渡ヲ求メラルルトキハ土地所有者ハ已ムコトヲ得サル事情アル場合ノ外之ヲ拒ムコトヲ得サルモノトシ其ノ求メニ應スルヲ例トセシモ此ノ慣習ハ今存セス

【二四九】親權ニ關スル件（大正八年二月二十六日平壤覆審法院長照會）（同　年六月三日朝樞發第一四八號政務總監回答）

○要　旨

一　**從前妻ガ夫ノ死後再嫁シタル場合如何ナル事由存スルモ先夫ノ家ニ入ルコトヲ得ザリシヲ以テ先夫ノ子ノ親權者又ハ後見人ト爲ルコトヲ得ザリシモノナリ**

○照　會

一　夫婦間ニ一子アリ夫死亡後寡婦ハ他ニ改嫁シタルモ改嫁先ノ夫死亡セシ場合ニ於テ右寡婦ハ一旦實家ニ復歸シ若ハ復歸セスシテ再ヒ家族トシテ先夫ノ家ニ入リ先夫ノ相續人タル右一子ノ親權者又ハ後見人ト爲ルコトヲ得ルカ若シ爲リ得ルモノトセハ入家其ノ他ニハ如何ナル手續ヲ要スルカ又何人ノ同意ヲ要スルカ

備考　右ハ先夫ノ父母若ハ其ノ一方カ現ニ生存シ先夫ノ家ニ在リ且相續人タル一子ハ尚幼者ナル場合トス

○回　答

一　妻カ夫ノ死後再嫁ヲ爲シ再嫁先ノ夫死亡シタル場合ニ於テ實家ニ復籍スルコトヲ得ルハ勿論ナルモ復籍ヲ爲シ又ハ爲サスシテ先夫ノ家ニ家族トナルコトハ從來慣習ノ認メサル所ナリシモ民籍法施行後先夫ノ家ニ入ルヲ認メタル場合アリ而シテ再嫁シタル者ハ慣習上如何ナル場合ニ於テモ先夫ノ子ノ親權者又ハ後見人トナルコトヲ得ス

【二五〇】遺産相續ニ關スル件（大正八年二月二十六日光州地方法院民事合議部裁判長照會）（同　年六月三十日朝樞發第一六九號政務總監回答）

○要　旨

一　**妾ト爲リテ甲男乙女ヲ擧ゲタル後實家ニ復籍シテ死亡シタル女ノ遺産ハ實家ノ父父ナキトキハ戸主之ヲ承繼スル慣習ナリ**

前項ノ甲男ガ父家ヨリ分家シ生母ト同居セルトキハ家籍ヲ同フセルト否トニ拘ラズ甲男ニ於テ生母ノ遺産ヲ承繼スル慣習ナリ

○照　會

一　某家ノ女第一甲家ノ妾トナリテ一女ヲ擧ケタル後夫妾關係ヲ絕チ第二乙家ノ妾トナリテ一女ヲ擧ケタル後夫妾關係ヲ絕チ第三丙家ノ妾トナリテ一女ヲ擧ケタル後夫妾關係ヲ絕チ復籍ノ上他所ニ居住中死亡シテ多クノ財產ヲ遺セリ該遺產ニ對シ甲乙丙各家ニ於テ擧ケタル子女ハ其各家ニ在ル時ハ平等ニ遺產相續ヲ爲シ得ヘキ慣習ナリヤ若シ順位或ハ差別アレハ其順位若ハ差別ノ慣習如何

二　前項ニ示シタル甲家ノ女ハ現ニ他家ノ妾ト爲リ乙家ノ男ハ右生母ノ居所ニ分家シ生母ト同居スルモ生母ノ民籍ハ依然トシテ尙乙家男ノ分家ニ由リ創立シタル家ニ入ラサル前ニ死亡シ其遺產アル場合ニ於テ右各子女ノ遺產相續權如何

三　前項ニ示シタルカ如ク乙家ノ男分家シテ生母ト同居シ生母ヲ其家族トシテ入籍セシメタル場合ニ於ケル右各子女ノ遺產相續權如何

○回　答

一　甲ノ妾トナリ一女ヲ擧ケ更ニ乙ノ妾トナリテ一男ヲ擧ケ又丙ノ妾トナリテ一女ヲ擧ケ後實家ニ復籍シテ死亡シタル者ノ財產ハ實家ノ父之ヲ承繼シ父ナキトキハ戶主之ヲ承繼スル慣習ナリ

前項乙ノ男カ生母ノ居所ニ分家ヲ爲シ生母ト同居中生母死亡シタル場合ニ於テハ其ノ遺產ハ生母ノ民籍カ未タ其ノ分家ニ入ラサルトキト雖家ヲ同シフスル者ト認メ乙ノ男ニ於テ之ヲ相續スル慣習ナリ

前項生母カ分家ノ民籍ニ入リタル後死亡シタル場合ニ於テハ其ノ遺產ハ同シク乙ノ男ニ於テ承繼スルモノトス

【二五一】養子選定ニ關スル件

（大正八年十月十八日京城地方法院鐵原支廳照會）
（同　年十月二十九日朝樞發第二五一號政務總監回答）

○要　旨

一　女戶主ノ承諾ヲ得ズ單ニ門會ノミノ決議ニ依リテ養子ヲ選定スルコトハ慣習ノ認メザル所ナリ

○照　會

一　父甲母乙ノ間ニ一子(男)丙アリテ他ニ家族ナシ甲死亡シタルニ因リ丙ハ祭祀相續ヲ爲シテ戶主トナリ其遺產ヲ承繼セリ然ルニ丙ハ其後未婚ノ儘死亡シ乙ハ養子ヲ定メスシテ自ラ戶主トナリ丙ノ遺產ヲ承繼セリ

右ノ如キ場合ニ於テ女戶主乙ノ承諾ヲ得ス單ニ門會ノミノ議決ヲ以テ養子ヲ選定シ甲ノ祭祀相續ヲ爲サシムル慣習アリヤ

二　右ノ如キ慣習アリトセハ該養子ハ一旦女戶主乙ノ承繼シタル丙ノ遺產ヲモ併セテ取得スル權利アリヤ否ヤ

○回　答

一　女戶主ノ承諾ヲ得ス單ニ門會ノミノ決議ニ因リテ養子ヲ選定シ祭祀相續ヲ爲サシムルコトハ慣習ノ認メサル所ナリ

【二五二】養子緣組ニ關スル件

（大正八年十月二十五日平壤地方法院民事部裁判長照會）
（同　年十一月二十四日朝樞發第二六八號政務總監回答）

○要　旨

一　養子ハ同本同姓ノ者タルヲ要シ本貫異ルトキハ同姓ノ一族分岐シタル問柄ニ於テモ養子タルヲ得ザル慣習ナリ

○照　會

一　同一金姓ナルモ一ハ金海ノ金姓一ハ原州ノ金姓ナルトキハ其間養子緣組ヲ爲スコトヲ得サル慣習アリヤ
二　元ト同一ノ金姓ニシテ右ノ如ク岐レタル場合ニモ其間前同一ノ慣習アリヤ

○回　答

一　朝鮮ノ慣習ニ於テハ養子ハ同本ノ同姓ノ間ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得ヘク金海ノ金姓中ニハ原州ノ金姓ト同シク新羅ノ敬順王ヨリ出テタルモノアルモ同本ノ同姓ニ非サルヲ以テ互ニ養子ヲ爲スコトヲ得ス而シテ同姓ノ一族カ分岐シテ本貫ヲ異ニスルニ至リタルトキト雖亦異ルコトナシ

【二五三】遺産相續ニ關スル件

（大正八年十二月十七日大邱地方法院民事部裁判長照會）
（同　九年一月十九日朝樞發第一五號政務總監回答）

○要　旨

一　男戸主死亡シタル場合ニ於ケル遺産ハ一旦長子之ヲ承繼シタル後次子以下ニ分配ヲ爲スモノトス
二　遺産ノ分配ヲ受クベキ者ハ相續開始當時被相續人ノ家籍ニ在ル者ニ限ル
三　遺産ノ分配ハ次子以下ガ分家ヲ爲ス場合ニ行フヲ例トス
四　遺産ヲ相續スベキ者二人以上アル場合ニ於テハ嫡長子略其ノ二分ノ一ヲ取リ其ノ餘ヲ他ノ者ニ平等ニ分與スル慣習ナリ但シ庶子ハ嫡子ニ比シ其ノ割合ヲ減ズルヲ例トス
五　遺産ノ分配ヲ受クベキ衆子ハ長子ニ對シ其ノ分配ヲ請求スルコトヲ得ルモ分配ヲ受クベキ動産不動産等ヲ指定スル權ナシ
遺産ノ共有ヲ認ムル慣習ナシ

○照　會

一　戸主タル男子死亡シ遺子タル男子數人アル場合ニ於テ戸主權ヲ繼承スヘキ長子ハ遺產ノ全部ヲ繼承シタル後次子以下ニ對シ其幾分ヲ分與スヘキモノナルヤ

二　長子ヨリ分與ヲ爲スヘキモノトセハ其分與ヲ受クヘキモノハ前戸主死亡當時同一家籍ニ在ルモノノミニ限ルヤ將タ死亡前分家シタルモノモ包含スルヤ

三　分家シタルモ均シク分與ヲ受クヘキモノナリトセハ其分家當時又ハ其後ニ於テ前戸主ヨリ財產ノ分與ヲ受ケタルモノモ包含スルヤ

四　長子ヨリ分與ヲ爲スハ繼承後直チニ爲スヘキモノナルヤ將タ次子以下ニ於テ分家ヲ爲ストキニテ可ナルヤ

五　分與ヲ爲ス割合ハ次子以下ハ長子ノ半額ナルヤ又庶子ハ嫡子ノ半額ナルヤ

六　長子カ故ナク分與ヲ爲ササルトキハ次子以下ノモノハ如何ナル方法ニ依リ其請求權ヲ行使スヘキモノナルヤ或ハ自ラ分與ヲ受クルニ相當スル動、不動產ヲ指定シテ其所有權ノ移轉ヲ請求スルコトヲ得ルヤ或ハ遺產全部ニ付キ自ラ分與ヲ受ケルニ相當スル共有權ヲ得セシムルコトヲ請求スルコトヲ得ルヤ

○回　答

一　男戸主死亡シタル場合ニ於ケル遺產ハ一旦長子ニ於テ全部之ヲ承繼シ後次子以下ニ對シ分配ヲ爲スモノトス

二　遺產ノ分配ヲ受クヘキ者ハ相續開始當時被相續人ノ家籍ニ在ル者ニ限ル

三　遺產ノ分配ハ次子以下カ分家ヲ爲ス場合ニ行フヲ例トス

四　遺產ヲ相續スヘキ者二人以上アル場合ニ於テハ嫡長子略ホ其ノ二分ノ一ヲ相續シ其ノ他ノ者殘餘ヲ平等ニ相續スル慣習ナリ但庶子ハ嫡子ニ比シ幾分其ノ割合ヲ減スルヲ例トス

五　長子カ遺產ノ分配ヲ爲ササルトキハ他ノ嫡庶子ハ其ノ分配ヲ請求スルコトヲ得ルモ自ラ分配セラルヘキ動產、不動產等ヲ指定シテ請求スルコトヲ得ス又遺產ノ共有權ヲ認ムル慣習ナシ

【二五四】生牛賣買仲介ニ關スル件

（大正八年十一月十七日釜山地方法院居昌支廳照會）
（同　九年一月二十一日朝福發第一六號政務總監回答）

○要　旨

一　慶尙南道居昌地方ノ市場ニ於ケル生牛ノ賣買ニ付仲介人ガ依託ヲ受クルトキハ生牛ノ保管ハ當然仲介人ニ屬ストノ慣習ナシ

○照　會

一　市場ニ於ケル生牛賣買ノ仲介人（仲介人タルモノハ人數一定シアリテ資上高ニ應シ一定ノ手數料ヲ受クルモノナリ）

ハ賣主ヨリ生牛賣買ノ依頼アルト同時ニ該生牛ハ仲介人ノ保管ニ屬スヘキモノナルヤ果シテ然ラハ買主アリテ該牛ヲ同人ニ引渡スマテ或ハ終ニ買主ナクシテ賣主タル依頼人ニ引渡スマテノ間該牛ヲ窃取セラレ又ハ該牛カ逃亡シ行衛不明トナリタルトキハ仲介人ニ於テ之レカ損害賠償ノ責任ヲ負フヘキモノナルヤ或ハ仲介人ノ保管ニ歸セス依然賣主タル依頼人ノ保管スヘキモノナルヤ

○回　答

一　慶尚南道居昌地方ノ市場ニ於テハ生牛ノ賣買ニ付キ賣主ヨリ仲介人ニ依託ヲ爲スト同時ニ其生牛カ仲介人ノ保管ニ屬スルカ如キ慣習ナク其賣買ヲ了リ之ヲ買主ニ引渡スマテ賣主ノ保管ニ在ルモノナルヲ以テ逸走ノ場合ニ於テ仲介人カ其責任ヲ負フカ如キ慣習ナシ

【二五五】次養子ニ關スル件

（大正八年十一月二十五日光州地方法院全州支廳照會）
（同　九年二月四日朝樞發第二五號政務總監回答）

○要　旨

一　戸主甲男死亡シ其ノ子乙男戸主ト爲リ婚姻後子ナクシテ死亡シタル爲甲ノ妻ニ於テ丙男ヲ次養子ト爲シタルニ丙亦子ナクシテ死亡シ丙ノ妻ニ於テ遺産ヲ相續シタル場合ニ於テ乙ノ從弟丁ヲ甲ノ次養子ト爲スコトヲ得ザルモ之ヲ甲ノ養子ト爲シ祭祀ヲ相續セシムルコトハ慣習ノ認ムル所ナリ

○照　會

一　甲男戸主死亡シ其子乙男戸主トナリ婚姻後乙男子ナクシテ死亡シ乙男ノ妻丙ヲ次養子トナシタルニ丙男モ亦子ナクシテ死亡シ其家ニ甲男乙男ノ妻在ラサルニ付丙男ノ妻ニ於テ遺産ヲ相續シタリ（此點大正七年五月二十一日貴官ノ御通牒ニヨリ明確ナリ）此場合乙男ノ養子ヲ定ムルニ當リ其一門中乙男ノ子ノ列ニアル男子アラサルニ於テハ門會ニ於テ甲男ノ兄弟行ニ在ルモノノ子例ヘハ乙男ノ從弟丁ヲ次養子トナスコトヲ得ルヤ

二　前項ノ場合丁ヲ次養子ト爲スコト能ハストセハ右丁ヲ養子ト定メタル時期ハ乙男ノ妻再嫁シタル時ナルヲ以テ丁ヲ普通ノ養子トシテ祭祀相續權ヲ取得セシムルコトヲ得サルカ

三　前二項孰レモ之ヲ否定スヘキモノトセハ第一項後段ノ場合ノ如ク一門中乙男ノ養子ト爲スヘキ子若ハ孫ニ當ル可キ適格者アラサル時ハ門會ニ於テ昭穆ノ序ヲ顧ミルコトナクシテ乙男ノ近親中ヨリ養子ヲ定ムルコトヲ得ルヤ

○回　答

一　戸主甲男死亡シ其ノ子乙男戸主トナリ婚姻後子ナクシテ死亡シタル爲乙ノ妻カ再嫁スルニ先チ甲ノ妻ニ於テ丙男ヲ次養子ト爲シタルニ丙亦子ナクシテ死亡シ其ノ家ニ甲ノ妻及乙ノ妻（再嫁）共ニ在ラサルニヨリ丙ノ妻ニ於テ遺産ヲ相續シタル場合ニ於テ甲ノ兄弟ノ行列ニ在ル者ノ子例ヘハ乙ノ從弟丁ヲ甲ノ次養子ト爲スハ慣習ノ認メサル所ナルモ之ヲ甲ノ養子ト爲シ祭祀ヲ相續セシムルコトハ慣習上妨ケサル所ナリ

【二五六】遺産相續ニ關スル件（大正八年十二月二日平壤覆審法院長照會）（同九年三月五日朝樞發第四八九號政務總監回答）

○要　旨

一　女戸主甲死亡シ相續人ナキ爲絕家ト爲リタル場合ニ於ケル遺産ハ其ノ家ノ親族協議ノ上歸屬者ヲ定ムル慣習ナリ

○照　會

一　女戸主甲死亡シ相續人ナキ爲メ絕家トナリ甲ノ親族トシテハ左記四名ノ外一人モ生存者ナシ甲ノ遺産ハ左記一、二ニ揭ケタル女子ニ之カ相續權アリヤ若シアラハ其ノ割合ハ如何ニ定マルヘキカ又若シ生存親族カ一、二ニ揭ケタル女子ノミナル場合ハ如何

（一）甲ノ亡父ノ妹カ婚嫁先ノ夫トノ間ニ擧ケタル女子（他ニ婚嫁シ夫アリ）二名

（二）甲ノ亡父ノ兄（甲ト家ヲ異ニス）カ其ノ妻トノ間ニ擧ケタル女（未婚獨身）一名

（三）甲ノ亡父ノ從弟若ハ再從弟ニ當ル者（甲ト家ヲ異ニス）カ其ノ妻トノ間ニ擧ケタル男一名

○回　答

一　女戸主甲死亡シ相續人ナキ爲絕家トナリタル場合ニ於ケル遺産ハ其ノ家ノ親族協議ノ上歸屬者ヲ定ムル慣習ニシテ縱令亡女戸主ノ從姉妹・再從弟・三從弟又ハ外從姉妹等アリト雖之ヲ相續スルコトヲ得ス

【二五七】土地ノ還退賣買ニ關スル件（大正九年一月二十三日京城覆審法院民事第二部裁判長照會）（同　年四月二十七日朝樞發第八六號政務總監回答）

○要　旨

一　咸鏡北道明川地方ニ於テハ還退ノ特約ヲ附シテ土地ノ賣買ヲ爲ス場合ニハ特ニ原價ニ依ルカ時價ニ依ルカヲ定ムルヲ通例トス

ニ　加錢還退又ハ加文還退ト謂フハ時價ニ依リ還退スル趣旨ナリ

○照　會

一　咸鏡北道明川郡地方ニ於テ土地ノ還退賣買ニ付キ特ニ買戻ノ價格ヲ約シ又ハ買戻當時ノ時價ニ據ルヘキコトヲ約スル慣習アリヤ

ニ　還退文記ニ「加文還退」又ハ「加錢還退」ノ文句ヲ記載セル場合「加文」「若ハ「加錢」トアルハ賣買原價ノ意ナリヤ將タ買戻當時ノ時價ヲ意味スルモノナリヤ

○回　答

一　咸鏡北道明川地方ニ於テハ還退ノ特約ヲ附シテ土地ノ賣買ヲ爲ス場合ニハ契約ノ際原價ニテ還退ヲ爲スカ時價ニテ還退ヲ爲スカヲ約スルヲ通例トス

二　文記ニ「加錢還退」又ハ「加文還退」ト記載シタル場合ハ時價ニ依リ還退ヲ爲ス旨ヲ約シタルモノト解スヘキナリ

【二五八】交互計算ニ關スル件

（大正九年二月三日高等法院長代理照會）
（同年四月二十八日朝樞發第八四號政務總監回答）

○要旨

一　交互計算ニ於ケル期間内ノ商取引ヨリ生ズル債權債務ニハ取引アリタル日ヨリ利息ヲ附スベキモノトス

二　前項ノ利息ハ特約ナキトキハ月一分五厘トス

三　交互計算ノ殘額ハ支拂ナキトキハ當然次期ノ計算ニ組入ルルモノトス

四　前三項ノ慣習ハ客主又ハ旅閣ヲ業トスル商人間ニノミ行ハルルモノナリ

○照會

一　商人間ニ交互計算ノ約束ヲ爲シタルトキハ期間内ノ取引ヨリ生スル債務ニ付テハ取引ヲ附スル慣習アリヤ

如上ノ慣習ハ特殊ノ商人間ニ限リ存スルヤ

二　如上ノ慣習アリトセハ當事者間ニ特約ナキトキハ其利率ハ幾何ナリヤ

三　商人間ニ於テ交互計算ノ約束アル場合ニ相殺計算ニ因テ生シタル殘額ニ付支拂ナキトキハ其殘額ハ當然次期ノ計算ニ組入ルル慣習アリヤ

如上ノ慣習ハ商人ノ種類ノ如何ニ因リ區別アリヤ

○回答

一　交互計算ノ契約ヲ爲ストキハ期間内ノ商取引ヨリ生スル債權債務ニ付テハ取引アリタル日ヨリ利息ヲ附ス

二　前項ノ利息ハ當事者間ニ特約ナキトキハ其ノ殘額ハ當然次期ノ計算ニ組入ルルモノトス

三　交互計算ノ殘額ニ付支拂ナキトキハ其殘額ハ當然次期ノ計算ニ組入ルルモノトス

右一乃至三ハ客主又ハ旅閣ヲ業トスル商人間ニ於テ行ハルル慣習ニシテ一般商人間ニハ行ハレス

【二五九】洑水使用ニ對スル水稅支拂ニ關スル件

（大正九年四月六日京城覆審法院民事第二部裁判長照會）
（同年五月十二日朝樞發第九〇號政務總監回答）

○要　旨

一　**洑所有權ノ讓受人ハ前主ガ洑水使用者ニ對シ有セシ權利義務ヲ承繼スル慣習ナルヲ以テ洑水使用者ハ當然新洑主ニ對シ前洑主トノ間ニ約定セシ水稅ヲ支拂フベキモノトス**

○照　會

一　洑ノ所有者ト洑水利用者間ニ洑水利用者ヨリ水稅ヲ支拂フヘキ約束アリシ場合ニ洑所有者カ第三者ニ其洑ノ所有權ヲ讓渡シタルトキハ新所有者ト洑水利用者トノ間ニ特ニ約束ヲ結ハサルモ洑水利用者ハ洑ノ新所有者ニ對シテ前主トノ關係ト同一ノ洑水稅ヲ當然ニ支拂フヘキ慣習存在スルヤ

○回　答

一　洑水使用者ヨリ洑所有者ニ對シ水稅ヲ支拂フヘキ約定アル場合ニ於テ洑所有者カ其洑ノ所有權ヲ第三者ニ讓渡シタルトキハ讓受人ハ前所有者カ洑水使用者ニ對シ有セシ權利義務ヲ承繼スル慣習ナルヲ以テ洑ノ新所有者ト洑水使用者トノ間ニ特約ヲ爲ササル場合ニ於テモ洑水使用者ハ當然洑ノ新所有者ニ對シ前所有者トノ間ニ於テ約定シタル水稅ヲ支拂フヘキ慣習アリ

【二六〇】後見人ノ權限ニ關スル件

（大正九年四月十二日大邱覆審法院民事第一部裁判長照會）
（同　年六月十日朝福發第一〇二號政務總監回答）

○要　旨

一　**後見人ハ被後見人ノ財產ヲ無償讓渡シ又ハ負擔附贈與ヲ爲スコトヲ得ズトノ慣習存セズ**

○照　會

一　後見人ヵ無能力者ノ財產ニ關シ無償讓渡若ハ負擔附贈與等ノ法律行爲ヲ爲スコトヲ得サルノ慣習アリヤ

○回　答

一　後見人ヵ被後見人ノ財產ニ關シ無償讓渡又ハ負擔附贈與ヲ爲スコトヲ得サル慣習存セス

【二六一】門會ノ決議ノ效力ニ關スル件

（大正九年二月十七日大邱覆審法院民事第一部裁判長照會）
（同　年七月七日朝福發第四九三號政務總監回答）

○要　旨

一　門中共有ノ財産ヲ處分シ又ハ其ノ管理ノ方法ヲ定ムル爲門長又ハ有司ヨリ各共有者ニ適式ナル門會招集ノ通知ヲ爲シタル上出席者ノミニ依リテ爲シタル決議ハ闕席者ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

二　門中共有ノ不動産ヲ共有者ノ一人ノ所有名義ト爲セル場合ニ門會ニ於テ之ヲ他ノ者ノ所有名義ニ改ムルコトヲ議決シ出席者ノ一人ヲシテ前名義人ニ通知シタルトキハ其ノ名義變更ハ慣習上有效ナリ

○照　會

一　朝鮮ニ於テ門中共有財産ヲ處分シ若ハ管理スヘキ場合ニ於テ門長又ハ有司カ各共有者ニ對シ門會ノ決議事項ヲ示シテ一定ノ日時ニ一定ノ場所ニ集會スヘキ旨通知シタルニ全員出席セス其一部ノミ出席シタル場合ニ其出席者ノ全員ノ一致若ハ其多數決ニヨリ處分又ハ管理ノ方法ヲ決議シ其效力ヲ闕席者ニ對シテ及ホスコトヲ得ル慣習アリヤ

右ノ場合ニ於テ闕席者カ決議後直チニ異議ヲ唱ヘス又ハ其決議ヲ承認シタル時ハ右決議ヲ有效トナスヘキ慣習アリヤ

二　一門共有者ヨリ共有者ノ一人ニ共有不動産ヲ信託シテ其者ノ單獨所有名義トナシ置キタル場合ニ其後ニ至リ門會出席員ノ多數決ヲ以テ他ノ共有者ニ信託スルコト及出席シタル者ノ一人ニ對シ以前ノ受信者ニ對スル信託解除ノ通知方ヲ委任スルコトヲ決議シ其受任者ニ於テ該通知ヲ爲シタル場合ニ其信託契約ノ解除及新ナル信託契約ヲ有效ナリトスル慣習アリヤ

○回　答

一　門中共有ノ財産ヲ處分シ又ハ其ノ管理ノ方法ヲ定ムル爲門長又ハ有司カ各共有者ニ對シ門會ノ議決事項ヲ示シテ一定ノ日時ニ一定ノ場所ニ集會スヘキ旨通知シタルニ其ノ一部ノミ出席シテ爲シタル決議ハ闕席者ニ對シテモ其ノ效力ヲ及ホスコトヲ得ヘシ闕席者カ議決後直ニ異議ヲ述ヘ又ハ其ノ決議ヲ承認セサルトキト雖決議ノ效力ニ影響ナシ

二　門中共有ノ不動産ヲ共有者ノ一人ノ所有名義トナセル場合ニ門會ニ於テ其ノ不動産ヲ共有者ノ他ノ一人ノ所有名義ニ改ムルコト及之ヲ前ノ所有名義人ニ通知スヘキコトヲ門會ニ出席シタル一人ニ委託スルコトヲ議決シ受託者カ其通知ヲナシタルトキハ其名義ノ變更ハ慣習上有效ナリ

【二六二】妾ノ遺産相續ニ關スル件

（大正九年四月七日大邱覆審法院民事第二部裁判長照會）
（同　年六月二十四日朝樞發第一〇九號政務總監回答）

○要　旨

一　父家ヨリ分家シタル庶子男ハ同居セル實家復籍ノ生母死亡シタル場合其ノ遺産ヲ相續スル慣習ナリ

二　前項ノ場合相續ヲ拋棄シ得ル慣習ナシ

三　妾ノ遺産ハ子ガ夫ニ先チ之ヲ承繼スル慣習ナルモ其ノ子ハ妾死亡當時ノ夫トノ間ニ生レタル者ナルコトヲ要ス

○照　會

一　某女カ其生母ノ連子トシテ生母ノ後夫ノ家(民籍)ニ入リ第一ニ甲家ノ妾トナリテ一女ヲ擧ケタル後夫妾關係ヲ絕チ第二ニ乙家ノ妾トナリテ一男ヲ擧ケタル後夫妾關係ヲ絕チ第三ニ丙家ノ妾トナリテ一女ヲ擧ケタル後夫妾關係ヲ絕チ甲家丙家ニテ擧ケラレタル二女ハ孰モ某女ト同シク同女ノ生母ノ後夫ノ家(民籍)ニ入リテ家族トナレリ而シテ甲家ニテ擧ケラレタル女ハ他家ノ妾トナリ丙家ニテ擧ケラレタル女ハ某女ト共ニ乙家ニテ擧ケラレタル甲ノ乙家ヨリ分家シタル地ニ同男ト同居中(分家民籍ニ入ラス)某女ハ死亡シ多クノ遺産アリ

右ノ場合朝鮮慣習法上遺産相續權利者ハ何人ナリヤ數人ナリトセハ各自ノ相續分又某女カ他日右男ノ分家ノ民籍ニ入ルヘキモノナリトセハ權利者ニ變更アリヤ

二　朝鮮慣習上前項ノ場合乙家ニ生マレタル一男ニモ遺産相續權アリトセハ其一男ハ甲丙家ニ於テ生マレタル二女ニ對シテ遺産相續權ノ拋棄ヲ爲スコトヲ得ルヤ若シ拋棄シ得ルモノトセハ一男ハ二女ニ對シテ拋棄ノ意思ヲ表示スレハ足ルヤ又ハ何等カノ方式アリヤ

三　某妾死亡ノ時夫アリテ妾ニ子ナキトキハ夫ハ妾ノ遺産ヲ相續スヘキ朝鮮慣習ナルコトハ慣習調査書ニモ明示シアルニ依リ某妾死亡ノ時夫アリ又妾ニ子アルトキハ妾ノ遺産ハ子ニ於テ相續スヘキモノトノ反面解釋ハ慣習法上認メラルル處ナルヤ若シ然リトセハ其子ハ男女ヲ區別セサルカ又妾死亡當時ノ夫トノ間ニ生レタル子ニアラサルモ可ナルヤ

例ヘハ某妾ハ

一、甲男ノ妾ト爲リ一女ヲ生ミ

二、乙男ノ妾ト爲リ一女ヲ擧ケ

三、丙男ノ妾ト爲リ子ヲ生マスシテ死亡シタルトキハ丙夫ハ妾ノ遺産ヲ相續スル權利ナシト認メテ可ナルヤ

○回　答

一　某女カ生母ノ連子トシテ生母ノ後夫ノ家ニ入リタル後甲ノ妾トナリテ一女ヲ生ミ更ニ乙ノ妾トナリテ一男ヲ生ミ又丙ノ妾トナリテ一女ヲ生ミタル後再ヒ生母ノ後夫ノ家ニ入リ丙家ニテ生ミタル女ト共ニ乙ノ男ノ分家シタル家ニ同居中死亡シタルトキハ其ノ遺産ハ其ノ同居セル男之ヲ相續スル慣習ナリ而シテ某女カ他日同居セル男ノ家ニ入ルヘキ場合ニ於テモ異ルコトナシ

二　前項乙ノ男ハ甲又ハ丙ノ女ニ對シ相續權ノ拋棄ヲ爲スコトヲ得ル慣習存セス

三　妾死亡ノ時夫アリ又子アルトキハ妾ノ遺産ハ子(男子)ニ於テ承繼スル慣習ナルモ其ノ子ハ妾死亡當時ノ夫トノ間ニ生レタル者ナルコトヲ要ス

【二六三】祭祀相續人ノ廢除ニ關スル件

(大正九年五月十二日光州地方法院民事合議部裁判長照會)
(同　年七月七日朝樞發第四九四號政務總監回答)

○要　旨

一　祭祀相續人タルベキ長子ガ暗愚・病弱等ノ爲家政ヲ執ルコト能ハザル場合ニ於テモ之ヲ廢除シテ次子以下ノ者ヲシテ祭祀相續ヲ爲サシムルコトヲ得ズ

○照　會

一　當院管内全羅南道麗水郡三山面巨文島ニ於テハ祭祀相續人タル可キ長子カ暗愚病弱等ニシテ家政ヲ執ル能ハサル事由アルトキハ勿論何等ノ事由ナキ場合ト雖被相續人ノ意思ニ從ヒ之ヲ排除シ末子ヲシテ祭祀相續ヲ爲サシムル慣習存在セシヤ

注意　同島ニ於テハ健在セル長子ヲ差措キ末子相續ヲ爲セシ家十數戸アリト云フ

○回　答

一　朝鮮ノ慣習ニ於テハ祭祀相續人タルヘキ長子カ暗愚・病弱等ノ爲家政ヲ執ル能ハサルコトヲ理由トシ被相續人ノ意思ヲ以テ之ヲ廢除シ次子以下ノ者ヲシテ祭祀相續ヲ爲サシムルコトヲ得ス而シテ全羅南道麗水郡三山面巨文島ニ於テハ之ニ反スル事例ナキニ非サルモ素ヨリ慣習ノ認メサル所ナリ

【二六四】離婚ニ關スル件

(大正九年六月二十一日大邱地方法院民事部裁判長照會)
(同　年七月二十一日朝樞發第五一二號政務總監回答)

○要　旨

一　夫婦ノ一方惡疾アリ又ハ生殖器不具ナル場合之ヲ理由トシテ相手方ヨリ離婚ヲ求メ得ル慣習ナシ

二　夫婦ノ一方ニ婚姻前ヨリ惡疾アリ又ハ生殖器不具ナル場合ニ於テ婚姻ノ當時相手方ガ之ヲ知リタリトセバ婚姻ヲ爲サザリシナルベシト認メラルル場合ニ於テモ其ノ婚姻ヲ無效トスル慣習ナシ

夫婦ノ一方ガ惡疾又ハ不具ヲ隱蔽シテ婚姻ヲ爲シタル場合ニ於テ相手方ヨリ詐欺ヲ理由トシテ婚姻ノ取消ヲ求メ得ルヤ否ニ付テハ慣習存セズ

○照　會

一　朝鮮ニ於テ配偶者ノ一方ノ生殖器不具ノ故ヲ以テ其相手方ヨリ離婚ノ訴ヲ提起シ得ルヤ

二　朝鮮ニ於テ配偶者ノ一方カ癩病等ノ惡疾ノ故ヲ以テ其相手方ヨリ離婚ノ訴ヲ提起シ得ルヤ若シ得ルトセハ其惡疾ノ範圍如何

三　若シ以上ノ各場合ニ於テ離婚ノ訴ヲ提起シ得ストスルモ婚姻前ヨリ配偶者ノ一方ニ生殖器ノ不具又ハ惡疾アリ婚姻當時相手方ニ於テ之ヲ知リタリトセハ婚姻ヲ爲ス意思ナカリシ場合ニ於テハ婚姻無效確認ノ訴ヲ提起シ得ルヤ又配偶者ノ一方ヨリ斯カル事實ヲ故ラ隱蔽シテ婚姻シタル場合ニ於テハ詐欺ニ基ク婚姻ナリトシテ之カ取消ノ訴ヲ提起シ得ルヤ

○回　答

一　夫婦ノ一方ニ癩病其ノ他ノ惡疾アリ又ハ生殖器不具ナル場合ニ於テ他ノ一方ヨリ之ヲ理由トシテ離婚ヲ求ムルコトヲ得ル慣習ナシ

二　夫婦ノ一方ニ婚姻前ヨリ惡疾アリ又ハ生殖器不具ナル場合ニ於テ婚姻ノ當時他ノ一方カ之ヲ知リタリトセハ婚姻ヲ爲ス意思ナカリシ場合ト雖其ノ婚姻ヲ無效トスル慣習ナク又夫婦ノ一方カ此ノ如キ事實ヲ故ラニ隱蔽シテ婚姻ヲ爲シタル場合ニ於テモ他ノ一方ヨリ詐欺ニ基ク婚姻ナリトシテ其取消ヲ求ムルコトヲ得ルヤ否ヤニ付テハ慣習存セス

【二六五】妻ノ姓名及其ノ夫ノ宅號ニ關スル件

（大正九年七月十三日大邱覆審法院刑事第二部照會）
（同年九月七日朝福發第五〇八號政務總監回答）

○要　旨

一　婚姻ニ因リ夫家ニ入リタル妻ハ其ノ本姓ヲ用ウル慣習ナルモ從前夫ノ死後夫ノ姓ヲ冠シテ何召史ト稱シタルコトアリ

二　妻ガ生家所在ノ里名ヲ自己ノ名トシテ使用スル慣習ナシ

三　妻ノ生家ノ所在里名ニ宅字ヲ附シテ他人ヨリ其ノ夫ヲ呼ブコトアリ之ヲ宅號ト稱ス宅號ハ時トシテ自ラ之ヲ使用スルコトアリ

○照　會

一　妻ハ婚姻後ト雖夫ノ死亡前ニ於テハ依然トシテ自己ノ生家（實家）ノ姓ヲ稱シ夫家ノ姓ヲ冒スコトナキヲ慣習トスルヤ尙又妻ハ夫ノ死亡後ハ必ス夫家ノ姓ヲ冒スヲ慣習トスルヤ

二　妻ハ夫ノ生存中ニ於テモ夫ノ死亡後ニ於テモ自己ノ實家ノ所在洞里名ヲ自己ノ名トシテ之ヲ使用スル慣習アリヤ

三　他人カ夫ヲ呼フニ其ノ妻ノ實家所在洞里名ヲ以テシ之ヲ宅號ト稱スル慣習アル如シ右宅號ナルモノハ夫カ自ラ自己ヲ稱スルニ使用スル慣習アリヤ

○回　答

一　婚姻ニ依リ夫ノ家ニ入リタル妻ハ夫ノ生前ト死後トヲ問ハス其ノ本姓ヲ用フル慣習ナルモ従前ニハ夫ノ死後何(姓)召史ト稱シ此ノ場合ニ夫ノ姓ヲ冠シタルコトアリタリ

二　妻ハ夫ノ生前ト死後トヲ問ハス自己ノ生家ノ所在里名ヲ以テ自己ノ名トシテ使用スル慣習ナシ但夫ノ親族又ハ近隣ノ者カ之ヲ呼フニ其ノ生家ノ所在里名ヲ以テスルコトアリ自己モ亦之ヲ用フルコトナシトセス

三　妻ノ生家ノ所在里名ニ宅ノ字ヲ附シテ他人カ其夫ヲ呼フコトアリ之ヲ宅號ト稱スル而シテ宅號ハ時トシテ自ラ之ヲ使用スルコトアリ

【二六六】離緣ニ關スル件

（大正九年七月二十二日高等法院長照會同年十月二十三日朝福發第五一六號政務總監回答）

○要　旨

一　長男ノ爲ニ死後養子ヲ爲シタル父ハ相當ノ原因存スルトキ之ヲ離緣スルコトヲ得

○照　會

一　朝鮮人ナル甲(戶主)カ自己ノ長男乙(既婚者)ノ死亡後ニ丙ナル者ヲ乙ノ養子ト爲シタル場合ニ於テ丙ニ罷養スヘキ原因アルトキハ甲ハ丙ヲ離緣スルヲ得ル慣習アリヤ

○回　答

一　朝鮮人甲ナル者(戶主)其ノ長男乙(既婚者)ノ死亡後ニ丙ヲ乙ノ養子ト爲シタル場合ニ於テ丙ニ罷養スヘキ原因アルトキハ甲ハ丙ヲ離緣スルコトヲ得ヘシ

【二六七】相續ニ關スル件

（大正九年九月十日間島總領事代理領事照會同年十一月二十六日朝福發第五八二號政務總監回答）

○要　旨

一　妾ノミヲ有スル既婚男戶主子ナク且緣組ノ意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ親族會養子ヲ選定スルコトヲ得

前項ノ養子ハ戶主ノ死亡ニ因リ戶主ト爲リ其ノ遺產ヲ承繼スル慣習ナリ

○照　會

一　朝鮮ノ慣習ニ於テ民籍ニ登錄シアル妾ノ他ニ家族ヲ有セサル戶主カ瀕死ノ際親族會議ニ於テ選定シタル養子カ戶主死亡ニ依リ朝鮮定例ニ從ヒ披髮喪服埋葬祭奠ノ禮式ヲ行ヒタリ此ノ場合家督、遺產ノ相續ハ養子ニアラスシテ妾ナリヤ

但シ養子ハ未タ民籍登錄ノ手續ヲ爲サス

○回　答

一　他ニ家族ヲ有セス其ノ家ニ妾ノミアル戶主男(既婚者)カ養子ヲ定メス養子選定ノ意思表示不能ノ狀態ニ在ル場合ニ於テ親族會議ヲ開キ選定シタル養子ハ戶主ノ死亡ニ因リ戶主トナリ且其遺產ヲ承繼スル慣習ナリ而シテ養子カ其家ノ民籍ニ入レルト否トニ因リテ異ナルコトナシ

【二六八】海濱及海上ノ所有權竝漁業權ニ關スル件

（大正九年十一月二十五日外事課長照會）
（同　年十二月七日朝樞秘第四六號中樞院書記官長回答）

○要　旨

一　舊韓國時代沿海土地ノ所有者ガ接續セル海濱又ハ海上ノ所有權ヲ有シタル慣習ナシ

二　沿海土地ノ所有者ガ當然地先海面ニ於ケル漁業權ヲ取得スト云フ慣習ナシ

○照　會

一　沿海ノ土地ノ所有者ハ海濱及海上ノ所有權ヲ有スル韓國ノ舊慣アリヤ

二　前記ノ土地所有者ハ人民ナルカ若シ人民ナレハ私權上ニ前記ノ制限アリシカ又國有ノ土地ノ移轉ニ前記ノ權利附隨スルヤ

三　沿海ノ土地ノ所有者ハ地先漁業權ヲモ有スル韓國ノ慣例アリヤ

四　別紙文記ノ眞疑(別紙ハ御回答ト同時ニ御返戻ヲ乞フ)

○回　答

一、二　韓國ノ時沿海ノ土地所有者カ其ノ土地ニ接續スル海濱又ハ海上ノ所有權ヲ有シタル慣習ナシ

右ハ人民カ土地ヲ所有スル場合トニ因リ異ナルコトナシ隨テ人民ヨリ其ノ土地ノ所有權ヲ移轉シタル場合ト國家カ其ノ土地ノ所有權ヲ移轉シタル場合トニ因リ異ナルコトナシ

三　沿海ノ土地所有者カ其ノ土地ヲ所有スル場合トニ因リ異ナルコトナシ又ハ海上ノ所有權ヲ伴隨スルカ如キコトナシ

四　別紙文記寫ハ眞僞不明ナリ

【二六九】祭位土ニ關スル件（大正九年十二月二十七日海州地方法院民事部裁判長照會同十年二月十五日朝樞發第三號政務總監回答）

一　宗中共有ノ祭位土ニ付テハ慣習上各共有者ノ分割請求權ヲ認メズ

ニ　祭位土ノ持分ハ他ニ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス

○照會

一　朝鮮人一門共同ノ祖先祭祀ノ用ニ供スル位土ニシテ宗中ノ共有財產ニ屬スルモノニ付テハ各共有者ハ永久ニ分割ヲ請求シ得サル慣習ノ有無

ニ　前項ノ共有財產ニ付テハ各共有者ハ他ノ共有者ノ同意ヲ得ルニアラサレハ其持分權ヲ他ニ讓渡シ得サル慣習ノ有無

他ニ讓渡シ得サル慣習アリタル場合ニ共有者ノ一人カ他ノ共有者ノ同意ヲ得スシテ其持分ヲ他ニ讓渡シタル時ハ他ノ共有者ハ讓受人ニ對シ其讓渡ノ無效ヲ主張シ得ル慣習ノ有無

○回答

一　宗中共有ノ祭位土ニ付テハ慣習上各共有者ノ分割請求權ヲ認メス

ニ　前項ノ位土ニ付テハ持分ヲ他ニ讓渡スコトヲ得ス隨テ共有者ノ一人カ爲シタル持分ノ讓渡ハ其ノ效力ヲ生セス

【二七〇】收養子ニ關スル件（大正九年十二月六日大邱地方法院民事部裁判長照會同十年二月二十一日朝樞發第四九號政務總監回答）

一　收養女ト收養父トノ間ニハ親子ノ關係ヲ生ゼズ從テ收養女ノ婚姻ニ付キ收養父ノ同意ヲ必要トスル慣習ナシ

○照會

一　十二歲ナル女子カ親族ニアラサル他人ニ收養子女トシテ入籍シ居リ十五歲ノ時養父ノ命ニ依リ妓生嫁業ヲ爲セリ其後收養子女ハ十八歲ニ達シ他ニ婚嫁セムトスルモ收養父ハ之ヲ承諾セサル場合ニ收養子女ハ一方的ノ意思表示ニ依リ收養父子關係ヲ解消シ得ル慣習アリヤ

○回答

一　收養女ト收養父トノ間ニハ親子ノ關係ヲ生セス隨テ特ニ親子ノ關係ヲ絕ツ必要ナシ又收養女ノ婚姻ニ付キ收養父ノ同意ヲ必要トスル慣習存セス

【二七一】完文ニ關スル件（大正九年十月十九日殖產局長照會同十年三月一日朝樞第九九號中樞院書記官長回答）

○要　旨

一、二　封山ハ總テ國有ニ屬シ寺刹ノ所有ニ屬スルモノナシ

三　封山ハ郡守ニ於テ任意ニ設廢スルコトヲ得ザリシモノナリ

○照　會

一　慶尙南道梁山郡所在舊圓寂山封山ニ對シ內院庵住持ヨリ林野調査ノ際寺有トシテ申告シ其ノ證據トシテ別紙文記四通ヲ提出致候處果シテ正當ノモノニ候哉御取調ノ上何分ノ義御回示煩度及御依賴候也

二　追テ本封山ハ今ヨリ約百七十年前當該郡守ニ於テ一旦廢止シ其後再ヒ東萊水營ノ封山トシテ養護スルニ至レル事實アルカ如クニ候處郡守等ニ於テ任意ニ封山ノ存廢ヲ爲シ得タルモノニ候哉併テ御回示煩度申添候

○回　答

一　封山ハ總テ國有ニ屬シ寺刹ノ所有ニ屬スルモノナシ隨テ圓寂山カ若シ封山ナルトキハ當然國有タルヘキモノニシテ寺有ト認ムルコトヲ得ス

二　添附ノ完文其ノ他ノ書類ニ據レハ寺刹ニ於テ永年禁養セシ事實ヲ認メ得ヘク隨テ慣習上寺刹ハ其ノ禁養ニ因リ山林ノ所有權ヲ取得スヘキモノナルモ封山ニ付テハ前項ニ記ス如ク私有ヲ許ササルヲ以テ依然國有タルコト勿論ナリ

三　封山ハ郡守ニ於テ任意ニ設廢スルコトヲ得サリシモノナリ

【二七二】併合前韓國ニ於テ法人格認許ノ有無ニ關スル件（大正十年三月四日外事課長照會同年三月九日朝樞第一一一號中樞院書記官長回答）

○要　旨

一　舊韓國時代外國法人ノ所有權ヲ認メタリ

二　舊韓國時代自然人ニ非ズシテ所有權ノ主體タルコトヲ認メタルモノ少カラズ

○照　會

一　併合前ニ外國法人ノ所有權ヲ認メタルカ

二　併合前ニ韓國ニ於テ法人ヲ認メ其ノ所有權ヲ認メタルカ

○回　答

一　併合前韓國ニ於テハ外國法人ノ所有權ヲ認メタリ

二　併合前韓國ニ於テハ自然人ニ非スシテ所有權ノ主體タルコトヲ認メタルモノ少カラス

【二七三】書院ノ財産ニ關スル件

（大正十年一月二十五日平壤覆審法院長照會、同年三月十四日朝樞第四八號政務總監回答）

○要旨

一　書院ハ慣習上財産ノ主體トシテ認メラレタリ

○照會

一　黃海道延白郡銀川面瀛川里所在文會書院（元ト白川文會書院）カ從前ヨリ韓國ニ於テ獨立シテ土地其ノ他ノ財産ヲ所有シタル慣行アリヤ

○回答

一　朝鮮ニ於ケル書院ハ慣習上財産ノ主體トシテ認メラレ而シテ黃海道延白郡ノ白川書院ハ賜額書院トシテ存立セシモノナリ隨テ財産ヲ所有スル資格アリシモノトス

【二七四】洑ノ修築費ニ關スル件

（大正十年二月二十三日京城地方法院原州支廳照會、同年三月二十九日朝樞第一〇二號政務總監回答）

○要旨

一　蒙利者ヨリ洑主ニ對シ水稅ヲ支拂フ場合ニ於テハ蒙利者ガ洑修築ノ費用ヲ負擔スル慣習ナシ

○照會

一　洑主甲ト水稅ヲ負擔シ居ル蒙利者主乙トノ間ニ於ケル洑修築費用ノ負擔ニ關シ左ノ慣習ノ有無

洑修築費用ハ全部甲ニ於テ負擔スヘキヤ

又乙ニ於テ全部若クハ幾部ヲ負擔スヘキヤ

右慣習ニシテ地方ニ依リ異ナルトキハ其區別セラレタシ

○回答

一　蒙利者ヨリ洑主ニ對シ水稅ヲ支拂フ場合ニ於テハ蒙利者ガ洑修築ノ費用ヲ負擔スヘキ慣習ナシ

右ハ各地方同樣ナリ

【二七五】立旨及墓地ニ關スル件

（大正十年五月九日殖產局長照會、同年八月二十九日朝樞第二三五號中樞院書記官長回答）